
日医特定健康診査システム

ORCA PROJECT

運用マニュアル

(Version 1.2.8 対応)

1.2.8 版

2010 年 05 月 28 日

目次

前書き	6
日本医師会総合政策研究機構ORCAプロジェクトについて.....	7
登録商標および製品名に関して.....	8
ソフトウェアライセンス.....	9
はじめに	10
マニュアルの構成.....	11
本ソフトウェアの概要.....	12
本ソフトウェアが提供する機能.....	13
本ソフトウェアの構成.....	16
本ソフトウェアの動作要件.....	17
本ソフトウェアで扱う電子的交換のためのファイルについて.....	19
1. 概要	20
1. 1. 最初にお読みください.....	20
1. 1. 1. はじめに.....	20
1. 1. 2. 留意事項.....	20
1. 1. 3. 注意事項.....	20
1. 2. 最初に行うこと.....	21
1. 2. 1. ソフトウェアのインストール.....	21
1. 2. 2. 利用目的の確認.....	21
1. 2. 3. 初期設定の実行.....	21
2. 特定健診ソフトウェアの利用.....	22
2. 1. ソフトウェアの起動とログイン.....	22
2. 1. 1. ソフトウェアの起動	22
2. 1. 2. ログイン.....	23
2. 2. メインメニュー.....	26
2. 2. 1. メインメニュー.....	26
2. 3. マスタメンテナンスメニュー.....	28
2. 3. 1. マスタメンテナンスメニュー.....	28
2. 4. システムメンテナンスメニュー.....	30
2. 4. 1. システムメンテナンスメニュー.....	30
2. 5. 受診券入力（個人情報登録）	31
2. 5. 1. 受診券入力（個人情報登録）画面.....	31
2. 5. 2. 入力票印刷.....	41
2. 5. 3. 受診券入力における注意事項.....	42
2. 6. 健診・問診結果入力.....	43
2. 6. 1. 健診・問診結果データ一覧画面.....	43
2. 6. 2. 受診者検索.....	45
2. 6. 3. 結果入力.....	46
2. 6. 4. 入力ウィンドウの表示.....	47
2. 7. メタボリックシンドローム判定・階層化画面.....	51
2. 7. 1. メタボリックシンドローム判定・階層化画面	51

2.7.2. メタボリックシンドローム判定について.....	53
2.7.3. 健診・問診結果データ表示.....	53
2.7.4. 通知表印刷について.....	54
2.8. 日次処理（請求）.....	57
2.8.1 日次処理（請求）画面.....	57
2.8.2. 請求対象検索.....	58
2.8.3. 請求処理.....	58
2.8.4. 請求データ編集.....	59
2.8.5. 請求・決済の処理に関する注意点.....	60
2.9. 月次処理（請求確定/HL7 出力）.....	61
2.9.1 月次処理（請求確定/HL7 出力）画面.....	61
2.9.2. 請求・HL7 出力対象検索.....	62
2.9.3. 請求確定.....	63
2.9.4. HL7 出力.....	64
2.9.5. Zipファイル名命名規則.....	64
2.9.6. HL7 データ容量について.....	64
2.10. 健診項目マスタメンテナンス.....	65
2.10.1. 健診項目マスタメンテナンス画面.....	65
2.10.2. 健診項目の編集.....	67
2.10.3. CSVファイルについて.....	68
2.11. 保険者情報メンテナンス.....	69
2.11.1. 保険者情報メンテナンス画面.....	69
2.11.2. 保険者追加.....	70
2.11.3. 保険者編集.....	73
2.11.4. 保険者削除.....	76
2.11.5. CSVファイルについて.....	76
2.12. 健診パターンメンテナンス.....	78
2.12.1. 健診パターンメンテナンス画面.....	78
2.12.2. 健診パターン追加.....	80
2.12.3. 健診パターン編集.....	81
2.12.4. 健診パターン複製.....	82
2.12.5. 健診パターン削除.....	83
2.12.6. CSVファイルについて.....	84
2.13. 支払代行情報メンテナンス.....	85
2.13.1. 支払代行情報メンテナンス画面.....	85
2.13.2. 支払代行機関追加.....	86
2.13.3. 支払代行機関情報編集.....	87
2.13.4. 支払代行機関削除.....	88
2.13.5. CSVファイルについて.....	88
2.14. 機関情報メンテナンス.....	89
2.14.1. 機関情報メンテナンス画面.....	89
2.15. 経年管理メンテナンス.....	92
2.16. 所見マスタメンテナンス.....	93
2.16.1. 所見マスタメンテナンス画面.....	93
2.16.2. 所見種別追加.....	94

2. 16. 3. 所見編集.....	95
2. 16. 4. 所見追加.....	97
2. 16. 5. 所見追加・編集時の注意点.....	98
2. 16. 6. 所見削除.....	98
2. 16. 7. CSVファイルについて.....	99
2. 17. ユーザビリティメンテナンス.....	100
2. 17. 1. ユーザビリティメンテナンス画面.....	100
2. 18. システム利用者メンテナンス.....	108
2. 18. 1. システム利用者メンテナンス画面.....	108
2. 18. 2. システム利用者追加.....	109
2. 18. 3. システム利用者削除.....	110
2. 19. バックアップ&復元.....	112
2. 19. 1. バックアップ&復元画面.....	112
2. 19. 2. 健診機関DBバックアップ.....	114
2. 19. 3. 健診機関DB復元.....	115
2. 19. 4. バックアップ済みDBの削除.....	116
3. システム管理ソフトウェアの利用.....	117
3. 1. ソフトウェアの起動とログイン.....	117
3. 1. 1 ソフトウェアの起動.....	117
3. 1. 2. ログイン.....	118
3. 2. システム管理者用メンテナンスメニュー.....	119
3. 2. 1 システム管理者メニュー.....	119
3. 3. 健診機関情報メンテナンス.....	120
3. 3. 1. 健診機関追加.....	122
3. 3. 2. 日医標準レセプトソフトとの連携.....	125
3. 3. 3. 健診機関情報変更.....	125
3. 3. 4. 健診機関削除.....	125
3. 4. システム管理ユーザ情報メンテナンス.....	126
3. 4. 1. システム管理ユーザ追加.....	127
3. 4. 2. システム管理ユーザ情報変更.....	128
3. 4. 3. システム管理ユーザ削除.....	128
3. 5. システムDBバックアップ.....	130
3. 5. 1. システムDBバックアップ画面.....	130
3. 5. 2. システムDBバックアップ.....	131
3. 5. 3. システムDBの復元.....	132
3. 5. 4. バックアップ済みDBの削除.....	133
3. 6. 「ソフトウェアは既に起動されています。」と表示される場合の対応.....	134
4. 入力の手略.....	136
4. 1. ショートカットキー.....	136
4. 1. 1. ファンクションキー.....	136
4. 1. 2. 数字キー.....	141
4. 1. 3. 英字キー.....	142
4. 1. 4. 特殊キー.....	143
5. システム管理者権限と一般ユーザ権限.....	144
5. 1. システム管理者.....	144

5.1.1. システム管理者でログインした場合.....	144
5.2. 一般ユーザ.....	147
5.2.1. 一般ユーザでログインした場合.....	147
6. アップデート（オンラインアップデート、オフラインアップデート）	149
6.1. オンラインアップデート.....	149
6.1.1. アップデートソフトウェアの起動.....	149
6.1.2. アップデートソフトウェア画面.....	149
6.1.3. プロキシ設定画面.....	150
6.1.4. アップデートソフトウェア実行手順.....	151
6.2. オフラインアップデート.....	153
6.2.1 オフラインアップデート手順	153
6.3. 管理ソフトウェアのアップデート.....	156
6.3.1. ソフトウェアの起動.....	156
6.4. 健診ソフトウェアのアップデート.....	157
6.4.1. ソフトウェアの起動.....	157

前書き

特定健康診査について

平成 20 年 4 月から、医療保険者（国保・被用者保険）が、満 40～74 歳の加入者（被保険者・被扶養者）を対象として、特定健康診査等実施計画に定めた内容に基づき計画的に実施する、内臓脂肪型肥満（通称：メタボリックシンドローム）に着目した検査項目での健康診査を、「特定健康診査（以下：特定健診）」という。

〈高齢者の医療の確保に関する法律〉

第二十条

保険者は、特定健康診査等実施計画に基づき、厚生労働省令で定めるところにより、四十歳以上の加入者に対し、特定健康診査を行うものとする。ただし、加入者が特定健康診査に相当する健康診査を受け、その結果を証明する書面の提出を受けたとき、又は第二十六条第二項の規定により特定健康診査に関する記録の送付を受けたときは、この限りでない。

※参照

特定健康診査・特定家保健指導の円滑な実施に向け手引き

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshho/iryouseido01/info03d.html>

健診データの電子的管理の整備に関するホームページ

<http://tokuteikenshin.jp/>

日本医師会総合政策研究機構ORCAプロジェクトについて

日本医師会総合政策研究機構 ORCA (Online Receipt Computer Advantage) プロジェクト (以下: ORCA プロジェクト) は、誰もが自由に利用できる医療情報のネットワークを形成し、日本の医療現場の事務作業の効率化とコスト軽減を目指すと同時に国民に高度で良質な医療を提供することを目標とする日本医師会主導の医療現場 IT 化プロジェクトです。

プロジェクトで開発したソフトウェアおよびデータベースは無償で提供しています。

本ソフトウェアは ORCA プロジェクトの一環で開発されています。

※参照

日本医師会総合政策研究機構 ORCA 公式 WEB サイト

<http://www.orca.med.or.jp/>

登録商標および製品名に関して

本文書ならびに関連文書で用いられている登録商標および製品名は以下のとおりです。

AMD、AMD ロゴ、Athlon、AthlonXP、AthlonMP、Athlon64、Duron ならびにその組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。

Acrobat および Acrobat Reader は、アドビシステムズ、Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

Debian は Software in the Public Interest, Inc. の登録商標です。

Firebird は Firebird Foundation Incorporated. の登録商標です。

Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Inside Pentium、Xeon、Celeron、Pentium4、Pentium III ならびにその組み合わせはアメリカ合衆国および他の国におけるインテルコーポレーションおよび子会社の登録商標または商標です。

Java 及びすべての Java 関連の商標及びロゴは、米国及びその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

JDK は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Microsoft は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の登録商標です。

Windows は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の登録商標です。

Windows XP は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

Eclipse は、開発ツールプロバイダのオープンコミュニティである Eclipse Foundation, Inc. により構築された開発ツール統合のためのオープンプラットフォームです。

その他、記載の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアライセンス

本ソフトウェアは、日医オープンソース使用許諾契約（第 1.0 版）の下に配布されます。

※参照

日医オープンソース使用許諾契約（第 1.0 版）

<http://www.orca.med.or.jp/orca/sengen/license.html>

本ソフトウェアを用いて、患者の医療情報および個人情報を取り扱う場合は、法令上の義務に従った上、利用者の責任において行っていただきますようお願いいたします。

本ソフトウェアおよび媒体を問わずこれに付属する全ての文書の内容や情報および構成は予告なく変更・改訂される場合があります。

※参照

個人情報の保護に関する法律

<http://law.e-gov.go.jp/htmldata/H15/H15H0057.html>

医療分野における個人情報保護について

<http://www.kantei.go.jp/jp/it/privacy/houseika/dai3/3siryous2.html>

医療情報システムの安全管理に関するガイドライン 第2版（平成19年3月）

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/03/s0301-12.html>

はじめに

本書について

概要

本書は、本ソフトウェアを運用および保守する上で必要な情報について説明したものです。本ソフトウェアの構成と、これらのソフトウェアで実現可能なことについて説明しています。

対象読者

本書は、特定健診にかかわる各種医療機関ならびに関連機関において、本ソフトウェアの運用保守を行うエンジニア、およびそれを利用する利用者の方を対象としています。

すべての読者が、Microsoft Windows または UNIX オペレーティングシステム、GUI アプリケーションの基本操作についての知識があることを前提にしています。

書体の規則

本書では、以下の書体の規則を使用します。

- ・ *斜体*は、外部資料ならびに WEB サイト URL などの引用に使用します。
- ・ **太字**は、強調に使用します。
- ・ 「home-dir」は、本ソフトウェアがインストールされたディレクトリを表します。デフォルトでは、このディレクトリは LINUX では「/usr/loca/NITTOKU」、WindowsXP では「C:\Program Files\NITTOKU」、WindowsVista では「C:\NITTOKU」です。

マニュアルの構成

本ソフトウェアのマニュアルは、本ソフトウェアに関する全般的な情報と、サポートされている利用方法や特定健康診査システムの構成方法を記載しています。本ソフトウェアには、次の資料が付属しています。

インストール・ガイド

この資料は、本ソフトウェアのセットアップの説明と、関連するソフトウェアのインストール手順を記載してあります。

初期設定マニュアル

この資料は、インストール後に各種マスタ等の初期設定に関しての説明と、使い始めるまでの基本設定に関してを記載してあります。

※インストール後は必ず初期設定マニュアルを参照して、マスタ等の初期設定を行ってください。

運用マニュアル（特定健診ソフトウェア・システム管理ソフトウェア・アップデートソフトウェア）

この資料は、本ソフトウェアの運用に関するマニュアルです。この資料には、本ソフトウェアを運用する上での注意点と、システム利用者向けの本ソフトウェアの利用のための情報を記載してあります。

請求関連の操作・解説マニュアル

この資料は、本ソフトウェアで請求処理における単価の設定および請求処理の手順から HL7 出力までを記載してあります。

本ソフトウェアの概要

本ソフトウェアは、2008年4月より実施された特定健康診査において、健診時に入力される受診者・健診医療機関・医療保険者等の情報を、データ受診者（保険者等、請求・報告先）へ送信するためのファイルアーカイブである「HL7（HL7CDAR2）」へ変換するソフトウェアです。

本ソフトウェアは、主に日医標準レセプトソフトを利用する健診実施機関を対象として想定して開発されています。

また、本ソフトウェアは ORCA プロジェクトの一環でオープンソースソフトウェアとすることを目標として開発されています。

本ソフトウェアが提供する機能

受診者情報登録

○ 受診者情報登録

健診を受診する個人の情報を手入力で登録する機能

〈扱われる情報一覧〉

受診券情報（整理番号、交付日、有効期限）、保険者情報（保険者番号、名称、電話番号）、支払代行機関情報（支払代行機関番号、名称、電話番号）、契約取りまとめ機関名、被保険者証情報（被保険者証等記号、被保険者証等番号、氏名（カナ）、氏名（漢字）、氏名（通称）、生年月日、性別）、受診者住所等（郵便番号、住所、自宅電話番号、携帯番号、FAX 番号、電子メール、携帯電子メール）、窓口負担情報（種別、本人負担割合）

健診結果データの入力

○ 健診項目入力票出力（検査結果）

検査結果を本ソフトウェアにおいて入力するために、あらかじめ検査項目の記入用シートを出力する機能

○ 健診項目入力票出力（質問票）

受診者が記入する「標準的な質問票」を本ソフトウェアにおいて入力するために、あらかじめ問診項目の記入シートを出力する機能

○ 健診結果データ入力

特定健康診査の必須項目、詳細な健診（医師の判断において実施）、および任意追加項目を扱う機能

○ 健診結果データ一覧

入力する受診者を選択するための検索機能

○ 健診検査依頼書出力

医療機関から検査センターへ検査依頼をするために、受診者の検査依頼書を出力する機能

健診結果表示、自動判定

○ 健診結果表示機能

受診者の健診結果を表示する機能

表示する受診者を選択するための検索機能

○ 階層化判定機能

特定保健指導の対象者を抽出するための階層化判定を行う機能

〈判定結果〉

動機づけ支援レベル、積極的支援レベル、非該当（正常および受診勧奨等）、判定不能

メタボリックシンドローム判定を行う機能

〈判定条件〉

腹囲：男性 85 cm 女性 90 cm 以上

かつ、下記 3 項目中 2 項目以上が該当した場合

- ・ 血圧 130/85mmHg 以上
- ・ 中性脂肪 150mg/dL 以上 または HDLc40mg/dL 未満
- ・ 血糖 110mg/dL 以上

判定する受診者を選択するための検索機能

○ 特定健診受診結果通知表印刷

階層化判定が終了した受診者に対し、特定健診の結果通知表を印刷する機能

判定する受診者を選択するための検索機能

請求、電子的標準様式出力

○ 請求データ作成

保険者および代行機関に対する請求データを作成し、電子的標準様式で出力する機能

出力対象とする受診者を選択するための検索機能

〈詳細〉

出力されるファイルは既定のアーカイブファイル（ZIP形式）になります。保険者および代行機関ごとに自動的に別のアーカイブファイルが作成されます。

請求区分として、1 基本的な健診、2 基本的な健診＋詳細な健診、3 基本的な健診＋追加健診項目、4 基本的な健診＋詳細な健診＋追加健診項目、5 人間ドックをサポートします。

○ 外部メディア出力

「請求データ作成」において作成された電子的標準様式ファイルを外部記憶媒体に転送する機能

機関情報登録

本システムを使用する特定健診実施機関自身の情報を登録する機能

各種マスタメンテナンス

本システムで使用する各種マスタのメンテナンスをシステムの利用者自らが行う機能

○健診パターンメンテナンス

健診機関ごとに健診項目の組み合わせを定義したり、定義済みパターンを修正したりする機能

〈詳細〉

システムの初期状態として「基本的な健診」「基本的な健診＋詳細な健診」が登録されています。健診機関独自に新たなパターンを作成でき、健診結果データの入力等で利用することができます。

○ 健診項目マスタメンテナンス

健診項目に対し、下限・上限値、基準値等の入力・修正を行う機能

〈詳細〉

初期データとして厚生労働省から発表されている健診項目が登録されています。健診実施機関独自にこれとは異なる基準値等を用いることができます。

○ 保険者情報マスタメンテナンス

保険者情報の登録および修正を行う機能

〈扱われる情報一覧〉

保険者情報（保険者番号、名称等）、委託料単価等（委託料単価区分、基本的な健診の単価、詳細な健診の単価）

〈詳細〉

「請求、電子的標準様式出力」では、このマスタに登録された保険者に対する結果ファイル出力等が可能になります。

○ 支払代行機関マスタメンテナンス

支払代行機関情報の登録および修正を行う機能

アップデートソフトウェア

○アップデート機能

WEB で公開された最新のリリースバージョンのファイル群を、web サーバよりダウンロードする機能。

又、「特定健診ソフトウェア」、「システム管理ソフトウェア」起動時に DB 互換機能呼び出し、ユーザ環境の DB 更新処理を行う。

本ソフトウェアの構成

本ソフトウェアは、次に示すコンポーネントによって構成されます。各コンポーネントの役割は以下のとおりです。

特定健診ソフトウェア

特定健診ソフトウェアは、特定健診において、健診機関での患者情報および健診結果の管理と、医療保険者への決済データおよび健診結果の電子的交換のためのファイルの生成をソフトウェアです。特定健診機関単位での処理を行います。すべての特定健診で取り扱う健診情報に対応しています。JAVA 言語によって開発されています。

システム管理ソフトウェア

システム管理ソフトウェアは、特定健診ソフトウェアの管理を行う専用のソフトウェアです。特定健診機関の管理および公共機関での複数の特定健診機関による共用の端末を用いた健診に対応しています。JAVA 言語によって開発されています。

アップデートソフトウェア

アップデートソフトウェアは、「特定健診ソフトウェア」、「システム管理ソフトウェア」を最新のソフトウェアに更新するソフトウェアです。JAVA 言語によって開発されています。

本ソフトウェアの動作要件

本ソフトウェアの動作要件は以下のとおりです。

オペレーティングシステム

本ソフトウェアが対応するソフトウェアは以下のとおりです。

Microsoft Windows XP
Microsoft Windows Vista
Debian GUN/Linux (Etch)

ハードウェア

本ソフトウェアが快適に動作するハードウェア要求は以下のとおりです。

インテル Pentium® 4、インテル Centrino、インテル Core Duo プロセッサおよび AMD AthlonXP、AMD Athlon64、AMD Opteron プロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ
1GB以上のRAM（OS推奨容量が1GB以上の場合はそれに従う）
1GB 以上の空き容量があるハードディスク
1024*768 以上の画面解像度をサポートするディスプレイおよび 32bit 以上のビデオカード、GPU アクセラレーショングラフィックカード
フロッピーディスク、CD-R/RW ドライブ、DVD±R/RW ドライブおよび USB フラッシュディスクなどのデータ保存媒体と接続可能なインターフェース

ネットワーク

本ソフトウェアはネットワークに繋がっていない環境でも動作可能です。ただし、日医標準レセプトソフト¹との連携を行う場合、以下のネットワーク要求を満たす必要があります。

TCP/IP (IPv4) で接続が可能なこと。

¹ 本ソフトウェアは日医標準レセプトソフトのバージョン 4 以上に対応しています。

ソフトウェア

本ソフトウェア動作するには、以下のソフトウェアがインストールされている必要があります。

- JAVA JRE (Java Runtime Environment) Version6 update3 以上もしくは JAVA JDK (Java Developer Kit) Version6 update3 以上の JAVAVM 実行環境
- Firebird Version 2.0.0 以上
- Adobe Reader6.0 以上 (マニュアル参照及び印刷時に必要になります。)

旧バージョンのAdobe Readerはセキュリティの脆弱性の問題から攻撃用のファイルが出回っており、注意が必要です。必ず最新版にアップデートしてお使いください。
また、なるべくバージョン9 (2009年10月22日現在) を使用するようになしてください。

※参照

Java ソフトウェアの無料ダウンロード

<http://www.java.com/ja/>

Firebird - The RDBMS that's going where you're going

<http://www.firebirdsql.org/>

Adobe Reader 無料ダウンロード

<http://www.adobe.com/jp/>

本ソフトウェアで扱う電子的交換のためのファイルについて

本ソフトウェアが対応する、HL7 ファイル形式 (HL7CDAR2) に関する情報は以下のとおりです。HL7 ファイルの詳細に関しては、厚生労働省および関連機関の Web サイトにて掲載されている資料に基づいて実装されています。

[1] 厚生労働省、標準的な健診・保健指導プログラム（確定版）」，2007

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/seikatsu/index.html>

[2] 厚生労働省、「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshho/iryouseido01/info03d.html>

[3] 財団法人地方自治情報センター、全国地方公共団体コード

<http://www.lasdec.nipon-net>

[4] 健診データの電子的管理の整備に関するホームページ

<http://tokuteikenshin.jp/>

[5] システム開発者のための補足資料

<http://tokuteikenshin.jp/update/2-1/latest/systemdoc-apppe20080501.pdf>

1.概要

1.1.最初にお読みください

1.1.1.はじめに

本書は、ソフトウェア運用マニュアルです。本書には、本ソフトウェアを特定健康診査における電子的交換ファイルアーカイブ製作における際の利用方法が記述されています。

1.1.2.留意事項

本ソフトウェアにおける業務フローはすべて、厚生労働省によって発行されている手引きに添った形で実装されています。本ソフトウェアを利用する前に以下の資料を一読しておくことをお勧めします。

※参照

特定健康診査・特定家保健指導の円滑な実施に向け手引き

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/shakaihoshho/iryouseido01/info03d.html>

1.1.3.注意事項

ソフトウェアの利用に際して、本書に記述されていない操作、本ソフトウェアの改竄、DBスキーマの正規アップデートによる変更以外の変更などを行われた場合の、動作保障はいたしかねます。

また、健診項目にかかわる情報など、著しく特定健診における健診業務に影響を与えるデータの編集を行う場合は、必ず専門の知識を有する者が作業を行ってください。

誤って間違った情報を登録してしまうと、受診者に対して正しく特定健診の指針に沿った健診を行うことができなくなる可能性があります。

1.2.最初に行うこと

1.2.1.ソフトウェアのインストール

本ソフトウェアを利用するには、本ソフトウェアを利用しようと考えているシステムに本ソフトウェアをインストールする必要があります。

本ソフトウェアのインストールに関する項目は、別紙の「特定健康診査電子的交換ファイルアーカイブ作成支援ソフトウェアインストールレーションマニュアル」をご覧ください。

1.2.2.利用目的の確認

本ソフトウェアは、特定健康診査における電子的交換ファイルアーカイブ作成目的での利用を想定して開発されております。

そのため、本ソフトウェアの対応する電子的交換ファイルアーカイブ（HL7CDAR2）は、上記およびそれに関連する業務以外の目的では利用できません。

1.2.3.初期設定の実行

インストール後、初期設定マニュアルに従って、初期情報の登録およびマスタの設定を行った後本ソフトを使用してください。

2. 特定健診ソフトウェアの利用

2.1. ソフトウェアの起動とログイン

2.1.1 ソフトウェアの起動

ソフトウェアを起動します。

Linux 版は、インストール後、コンソールから以下のように入力します。

特定健診ソフトウェアを起動する場合

```
java -Dfile.encoding=sjis -jar JKenshinSoftware.jar
```

システム管理ソフトウェアを起動する場合

```
java -Dfile.encoding=sjis -jar JAdminSoftware.jar
```

アップデートソフトウェアを起動する場合

```
java -Dfile.encoding=sjis -jar JUpdate.jar
```

実行解除ソフトウェアを起動する場合

```
java -Dfile.encoding=sjis -jar JExecUnlocker.jar
```

Windows 版は以下のようにします。

特定健診ソフトウェアを起動するには、スタートメニューから「プログラム → 特定健診ソフトウェア → 特定健診ソフトウェア」の順に選択します。



特定健診ソフトウェアが起動すると、以下のようなスプラッシュ画面が表示されます。



※注意事項

ver1.1.6 以降では、スキーマバージョン (Schemax. x. x)、データバージョン (DBDatax. x. x) を確認する場合は、対象機関にログイン後にメニュー下の「バージョン」ボタンを押して確認する必要があります。
(オンラインアップデートの改修によるもの)

2.1.2. ログイン

スプラッシュ画面が表示された後、以下のようなログイン画面が表示されます。

特定健診ソフトウェアは、ひとつのソフトウェアで複数の健診機関に対応しています。複数の健診機関の振り分けはすべてログイン時に行われるため、他の健診機関と入力する端末を共有して利用しても、DB 単位の独立性を実現します。

これにより、ある健診機関は、自分のデータのみ閲覧および改修を行うことができます。

また、ひとつの健診機関には、二種類のユーザが存在します。それは管理者と一般ユーザです。管理者は特定健診ソフトウェアのすべての機能にアクセスすることができます。この権限は主に健診機関の管理者用です。

一方、一般ユーザはデータ入力およびその他関連する業務を行う権限です。システムメンテナンス以外のすべての機能を扱うことができます。この権限は主に健診機関のデータ入力者などのシステムを管理する必要のない利用者用です。

(詳細は「[5. システム管理者権限と一般ユーザ権限](#)」をご参照ください。)

※注意事項

特定健診ソフトウェアで利用する健診機関は、あらかじめシステム管理ソフトウェアにて登録しておく必要があります。もしあなたが健診機関の登録をしていないなら、システム管理ソフトウェアを起動し、複数機関メンテナンスにて健診機関を登録してください。

上記の画面項目は以下のとおりです。

機関番号

利用する健診機関番号を選択します。特定健診ソフトウェアはこの選択にしたがって、健診機関を区別します。

ユーザ名

ログインする対象の健診機関に登録されているユーザ名を入力します。

パスワード

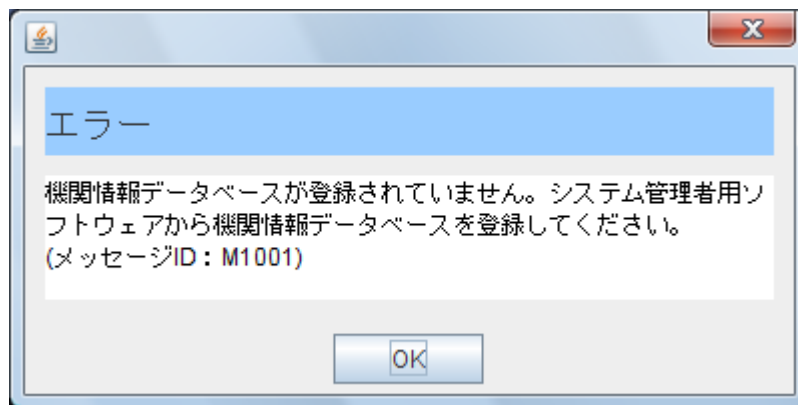
ログインするユーザに対応するパスワードを入力します。

なお、システムにあらかじめ登録されているユーザとパスワードは以下のとおりです。

ユーザ名 : Admin
パスワード : Admin

ユーザ名の Admin のアルファベット A は大文字で入力してください。
パスワードも同様

また、1度も健診機関の情報をシステム管理ソフトウェアにて登録していない場合や、削除している場合には、下記の画面が表示されます。



このような場合はシステム管理ソフトウェアを起動し、複数機関メンテナンスにて健診機関を登録してください。

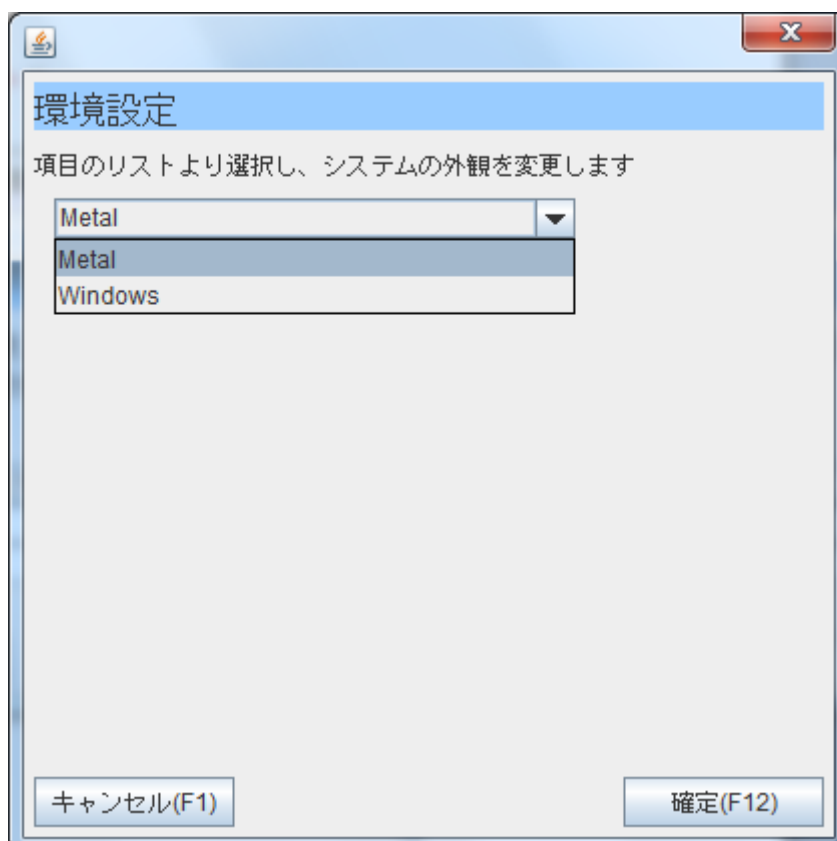
※詳細は初期設定マニュアルを参照してください。

環境設定

システムの外観を「Metal」「Windows」に変更することができます。

※環境(OS)によっては使用できない可能性があります。

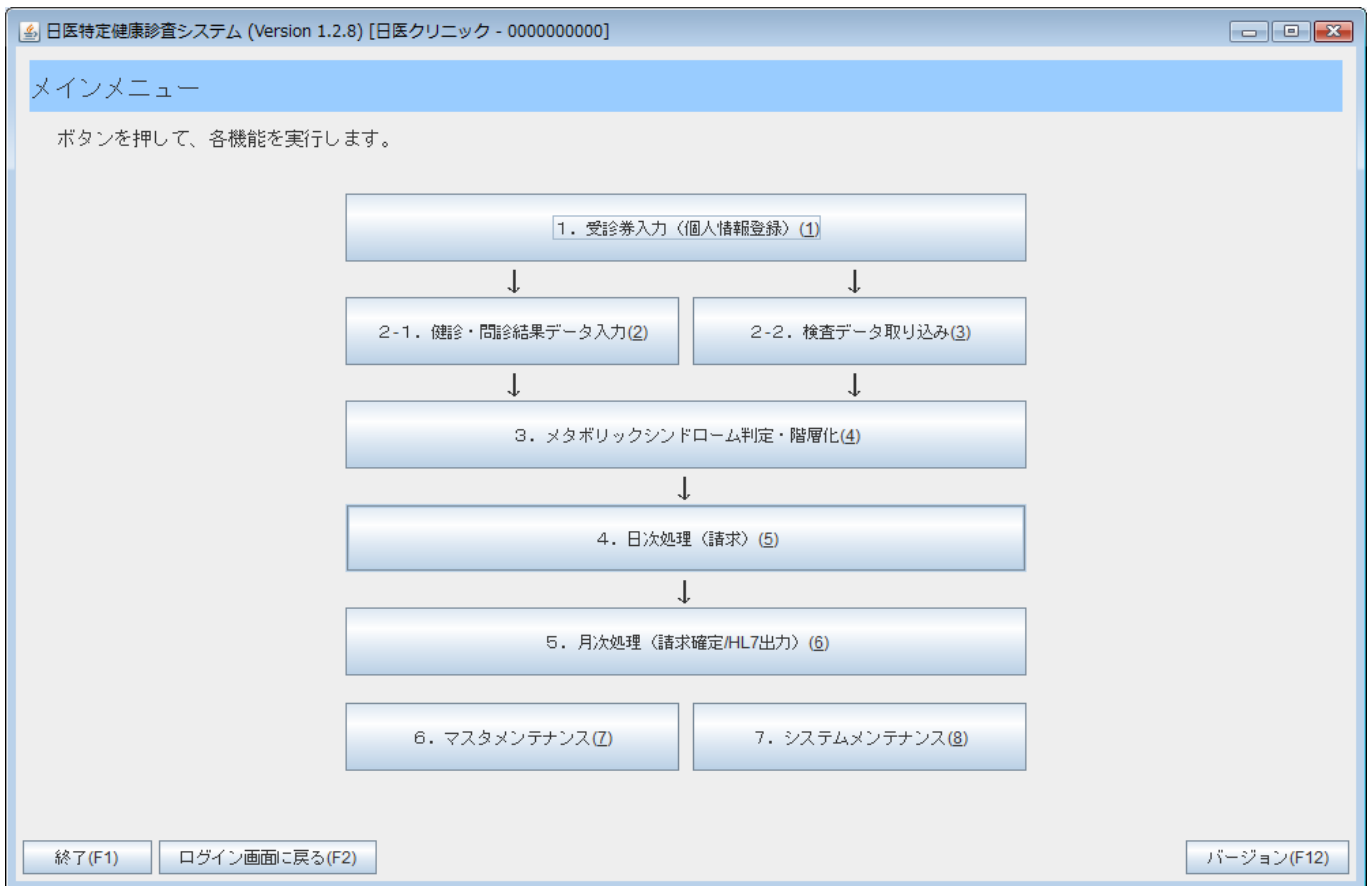
※Linux 環境では「Windows」の代わりに「GTK+」になります。



2.2. メインメニュー

2.2.1. メインメニュー

特定健診ソフトウェアにログインすると、以下のようなメニュー（一覧）が表示されます。ユーザは、これらの項目から目的の項目を選択します。



上記画面の項目は以下のとおりです。

受診券入力（個人情報登録）

受診者の情報を入力します。特定健診において、受診者はあらかじめ医療保険者より発行された受診券を受診時に持参することになっています。その受診券の情報をソフトウェアに登録することができます。

健診・問診結果データ入力

受診者に対して行った特定健診およびそれにかかわる問診の結果を入力することができます。

検査データ取り込み

検査センターからのデータファイルを取り込むことができます。

メタボリックシンドローム判定・階層化

健診結果の表示、メタボリックシンドローム判定および階層化を行うことができます。

日次処理（請求処理）

受診者の請求処理、請求リスト（日計表）の印刷および請求データの編集を行うことができます。

月次処理（請求確定/HL7 出力）

受診者の請求確定と医療保険者へ送付する電子的ファイル交換アーカイブ（HL7CDAR2）の作成、および請求リスト（月計表・集計表）の印刷を行うことができます。

マスタメンテナンス

マスタメンテナンスメニューへ遷移します。

システムメンテナンス

システムメンテナンスメニューへ遷移します。

この項目は、管理者権限でログインしたときのみ選択することができます。

バージョンボタン

メインバージョン(MainVersion x. x. x) モジュールバージョン(Module x. x. x) スキーマバージョン(Schema x. x. x) データバージョン(DBData x. x. x)を掲載したスプラッシュ画面を表示します。

ログイン画面に戻る

メニューを終了して、ログイン画面に戻ります。

終了ボタン

特定健診ソフトウェアを終了します。

2.3. マスタメンテナンスメニュー

2.3.1. マスタメンテナンスメニュー

メインメニューにてマスタメンテナンスの項目を選択すると、以下のようなメニュー（一覧）が表示されます。ユーザは、これらの項目から目的の項目を選択します。

※注意事項

マスタメンテナンスメニューでは、データ入力業務の対象となる、健診パターン、医療保険者情報、各健診項目の基準値などの基本情報の登録および編集を行うことができます。

本ソフトウェアを始めて利用する場合は、まず、はじめにマスタメンテナンスメニューから各種情報の登録を行ってください。事前に必要な情報がそろっていない場合は、データ入力業務を行うことができません。



上記画面の項目は以下のとおりです。

健診項目マスタメンテナンス

特定健診において実施する各健診項目の基本情報を編集することができます。

本ソフトウェアには、あらかじめ厚生労働省において規定された基準値や上限値などのデータが格納されています。

通常はそのデータを用いますが、基準値や上限値を変更したい健診機関はそれを自由に変更することができます。

この項目については、専門の知識を有した者以外は利用しないことを強く推奨します。

保険者情報メンテナンス

受診者を登録する際に必要な医療保険者の情報を登録することができます。

健診パターンメンテナンス

特定健診において、受診者に対して行う一連の健診項目のパターン情報を追加および編集することができます。

特定健診において、通常はあらかじめ用意された健診パターンに沿って健診を行いますが、ある健診項目において、あらかじめ用意された健診パターンにある検査方法以外の方法を持ちいて健診結果を出力する場合¹など、健診機関が自由に健診パターンを変更することができます。

この項目については、専門の知識を有した者以外は利用しないことを強く推奨します。

支払代行情報メンテナンス

支払代行機関情報を追加および編集することができます。

特定健診において、健診機関は医療保険者に代わって医療費の決済や健診データを取りまとめる代行機関を利用することができます。そのような場合はこの項目にて代行機関の情報を登録しておく必要があります。

機関情報メンテナンス

機関情報メンテナンスは、現在利用している（ログイン中の）健診機関の情報を編集することができます。

経年管理メンテナンス

経年処理を行うことができます。

※詳細は別冊「経年処理実施マニュアル」をご参照下さい。

所見マスタメンテナンス

所見情報を追加および編集することができます。

登録した所見は、健診・問診データ入力画面の「総合コメント欄」「結果（文字列）欄」で利用することができます。

戻るボタン

メインメニューに戻ります。

本システムを使用する際には、まず最初にシステム管理者用ソフトウェアを起動して、健診機関（通常は今お使いの健診機関）の情報を登録します。

次に、特定健診ソフトウェアにてメインメニューのマスタメンテナンスから健診項目マスタメンテナンスを行い、「9999999999：マスターデータ」編集を呼び出し、基準値（男性）基準値（女性）、単価、などを入力します。マスタメンテナンスメニューより、保険者の登録を行うとコピーされる健診項目マスタに「9999999999：マスターデータ」からコピーされます。

健診パターンマスタメンテナンスにて健診パターンを複製して追加します。

※詳細は初期設定マニュアルを参照してください。

¹ 特定健診においては、健診項目によっては複数の検査方法のうち任意のひとつを用いて検査結果を特定してよいことになっている。

その後、受診券入力から順に作業を行います。

2.4. システムメンテナンスメニュー

2.4.1. システムメンテナンスメニュー

メインメニューにてシステムメンテナンスの項目を選択すると、以下のようなメニュー（一覧）が表示されます。ユーザは、これらの項目から目的の項目を選択します。

この項目は、管理者権限を持つユーザのみが利用することができます。



上記画面の項目は以下のとおりです。

ユーザビリティメンテナンス

システム全体において、機能の効率化（連続入力等）の設定を行うことができます。

システム利用者メンテナンス

システム利用者の登録および編集を行うことができます。

バックアップ&復元

システム全体（「特定健診ソフトウェア」、「システム管理ソフトウェア」）で使用するデータベースを対象にバックアップと復元を行うことができます。

戻るボタン

メインメニューに戻ります。

2.5.受診券入力（個人情報登録）

2.5.1.受診券入力（個人情報登録）画面

メインメニューにて受診券入力の項目を選択すると、以下のようなメニュー（一覧）が表示されます。
ユーザは、これらの項目から受診券情報を入力することができます。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

受診券入力（個人情報登録）

受診者の情報を入力し、「登録」ボタンを押して情報を登録します。日レセ、登録済みデータから受診者情報を取得できます。

患者ID（日レセ連携）

（日レセフォーマット）

受診券整理番号 （半角数字11桁）

氏名（カナ） （全角のみ50文字以内）

交付日 （半角数字8桁）

有効期限 （半角数字8桁）

受診者情報

郵便番号 （半角数字7桁）

住所 （↓番号は半角数字のみ） （↑全角のみ100文字以内）

自宅電話番号 FAX番号 携帯電話番号

E-Mail 携帯E-Mail

契約情報 （保険者は半角数字8桁以内、支払代行機関は半角数字8桁）

保険者

支払代行機関

契約取りまとめ機関名 （全角のみ50文字以内）

保険証情報

被保険者証等記号 （全角のみ20文字以内）

被保険者証等番号 （全角のみ20文字以内）

氏名（漢字） （全角のみ50文字以内）

氏名（通称） （全・半角50文字以内）

生年月日（年度年齢） 歳 （日レセフォーマット）

男女区分 ☐ 1: 男性 ☐ 2: 女性 （1または2）

負担金額・割合 （金額は半角数字6桁以内、割合は小数点1桁以内）

受診者の窓口負担	金額または割合	保険者負担上限額
基本的な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円
詳細な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円
追加健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円
人間ドック	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円

その他の健診による負担金額 円 （半角数字9桁以下）

単価情報 委託料単価区分 （1: 個別健診 2: 集団健診）

単価	単価
基本的な健診	<input type="text"/> 円
単価（貧血検査）	<input type="text"/> 円
単価（心電図検査）	<input type="text"/> 円
単価（眼底検査）	<input type="text"/> 円
単価（人間ドック）	<input type="text"/> 円

凡例 入力必須項目 重要項目 青字 ORCA連携で検索に使用する項目 ピンク DB呼出で検索に使用する項目

※被保険者証等番号は、HL7 を出力するためには必須です。

※フォーカス移動は「Enter」キーを押下して行います。（他画面も同様）

上記画面の項目は以下のとおりです。必須項目に関しては、フォームの色が黄色になっています。
また、入力が推奨される項目は緑色になっています。

「受診券情報」

患者 ID

登録する受診者の日医標準レセプトソフトでの患者 ID を指定します。

この項目は健診機関で運用されている日医標準レセプトソフトとの連携を行う際に必要になります。また日医標準レセプトソフトとの連携を行う場合は、あらかじめ機関情報メンテナンスにて連携する設定を行っている必要があります。

受診券整理番号

受診券に印刷されている受診券整理番号を入力します

氏名（カナ）

受診者氏名をカタカナで入力後エンターキーを押下します。

既に登録済み（昨年度）の受診券情報を利用する場合は、受診者リストから選択します。

下記に操作方法を例示します。

例1) カナ氏名が完全一致する場合。

既に「ニチイ タロウ」「ニチイ ジロウ」の受診券が登録されているとします。

氏名(カナ)欄に「ニチイ タロウ」と入力しエンターキーを押下します。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

受診券入力 (個人情報登録)

受診者の情報を入力し、「登録」ボタンを押して情報を登録します。日レセ、登録済みデータから受診者情報を取得できます。

患者ID (日レセ連携)	<input type="text"/>	日レセ読込(N)	<input type="button"/>
受診券整理番号	00000000005 (半角数字11桁)	住所	<input type="text"/> (半角数字7桁)
氏名(カナ)	ニチイ タロウ (全角のみ50文字以内)	郵便番号	<input type="text"/> (半角数字7桁)
交付日	<input type="text"/> (半角数字8桁)	住所	<input type="text"/> (半角数字7桁)
有効期限	<input type="text"/> (半角数字8桁)	住所	<input type="text"/> (半角数字7桁)

契約情報	保険者情報
保険者	被保険者証等記号
支払代行機関	被保険者証等番号
契約取りまとめ	氏名(漢字)
機関名	氏名(通称)
	生年月日(年度年齢)
	男女区分

負担金額・割合	単価情報
基本的な健診	委託料単価区分
詳細な健診	単価(基本的な健診)
追加健診	単価(貧血検査)
人間ドック	単価(心電図検査)
	単価(眼底検査)
	単価(人間ドック)

凡例: 入力必須項目 重要項目 青字 ORCA連携で検索に使用する項目 ピンク DB呼出で検索に使用する項目

※被保険者証等番号は、HL7を出力するためには必須です。

戻る(F1) クリア(F2) 入力票印刷(F5) データ呼出(F6) QR 登録(F12)

下記のメッセージが表示されます。

受診者リストより選択する場合は「はい」を選択しない場合は「いいえ」を押下します。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

確認

同名もしくは、同名の受診券が存在します。受診者リストより選択しますか?
(メッセージID: M4400)

はい(Y) いいえ(N)

上記画面で「はい」を選択した場合、既に登録されている受診券「ニチイ タロウ」が受診者特定一覧に表示されます。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

受診者特定一覧

同姓同名の受診者が存在します。
受診者を選択してください。

受診券整理番号	氏名(漢字)	氏名(カナ)	生年月日	性別	住所	被保険者証記号	被保険者証番号
00000000004	日医太郎	ニチイ タロウ	19601010	男性	東京都練馬区南大泉	あああ	1 1 1

戻る(F1) 選択(F12)

※「Ctrl」キー+「Tab」キーを押下すると一覧から「選択」ボタンにフォーカス遷移します。

受診者特定一覧から該当する受診者を選択し「選択ボタン」を押下すると、下図のように受診券入力（個人情報登録）登録画面に、リストで選択した受診券情報が反映されます。

受診者を選択せずに「閉じる」ボタンを押下した場合は反映されません。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

受診券入力（個人情報登録）

受診者の情報を入力し、「登録」ボタンを押して情報を登録します。日レセ、登録済みデータから受診者情報を取得できます。

患者ID (日レセ連携) 日レセ読込(N)

受診券整理番号 (半角数字11桁)

氏名 (カナ) (全角のみ50文字以内)

交付日 (半角数字8桁)

有効期限 (半角数字8桁)

受診者情報

郵便番号 (半角数字7桁)

住所 (↓番号は半角数字のみ) (↑全角のみ100文字以内)

自宅電話番号 FAX番号 携帯電話番号

E-Mail 携帯E-Mail

契約情報 (保険者は半角数字8桁以内、支払代行機関は半角数字8桁)

保険者 00000101 00000101 社会保険庁

支払代行機関

契約取りまとめ機関名 (全角のみ50文字以内)

負担金額・割合 (金額は半角数字6桁以内、割合は小数点1桁以内)

受診者の窓口負担	金額または割合	保険者負担上限額
基本的な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円
詳細な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円
追加健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円
人間ドック	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円

その他の健診による負担金額 円 (半角数字9桁以下)

保険証情報

被保険者証等記号 (全角のみ20文字以内)

被保険者証等番号 (全角のみ20文字以内)

氏名 (漢字) (全角のみ50文字以内)

氏名 (通称) (全・半角50文字以内)

生年月日 (年度年齢) 50 歳 (日レセフォーマット)

男女区分 ☒ 1: 男性 ☐ 2: 女性 (1または2)

単価情報 委託料単価区分 (1: 個別健診 2: 集団健診)

単価 (基本的な健診)	7460 円
単価 (貧血検査)	900 円
単価 (心電図検査)	1600 円
単価 (眼底検査)	1200 円
単価 (人間ドック)	円

凡例 入力必須項目 重要項目 ORCA連携で検索に使用する項目 DB呼出で検索に使用する項目

※被保険者証等番号は、HL7 を出力するためには必須です。

戻る(F1) クリア(F2) 入力票印刷(F5) データ呼出(F6) QR 登録(F12)

例 2) あいまい検索（姓が一致する場合）の場合。

既に「ニチイ タロウ」「ニチイ ジロウ」「ニチイ ハナコ」の受診券が登録されているとします。

氏名（カナ）欄に「ニチイ」と入力しエンターキーを押下します。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

受診券入力（個人情報登録）

受診者の情報を入力し、「登録」ボタンを押して情報を登録します。日レセ、登録済みデータから受診者情報を取得できます。

患者ID (日レセ連携) <input type="text"/> <input type="button" value="日レセ読込(N)"/> <small>(日レセフォーマット)</small> 受診券整理番号 <input type="text"/> <small>(半角数字11桁)</small> 氏名 (カナ) <input type="text" value="ニチイ"/> <small>(全角のみ50文字以内)</small> 交付日 <input type="text"/> <small>(半角数字8桁)</small> 有効期限 <input type="text"/> <small>(半角数字8桁)</small>	受診者情報 郵便番号 <input type="text"/> <small>(半角数字7桁)</small> 住所 <input type="text"/> <small>(↓番号は半角数字のみ) (↑全角のみ100文字以内)</small> 自宅電話番号 <input type="text"/> FAX番号 <input type="text"/> 携帯電話番号 <input type="text"/> E-Mail <input type="text"/> 携帯E-Mail <input type="text"/>																									
契約情報 <small>(保険者は半角数字8桁以内、支払代行機関は半角数字8桁)</small> 保険者 <input type="text"/> <input type="button" value="新規追加"/> 支払代行機関 <input type="text"/> 契約取りまとめ機関名 <input type="text"/> <small>(全角のみ50文字以内)</small>	保険証情報 被保険者証等記号 <input type="text"/> <small>(全角のみ20文字以内)</small> 被保険者証等番号 <input type="text"/> <small>(全角のみ20文字以内)</small> 氏名 (漢字) <input type="text"/> <small>(全角のみ50文字以内)</small> 氏名 (通称) <input type="text"/> <small>(全・半角50文字以内)</small> 生年月日 (年度年齢) <input type="text"/> <input type="text"/> <small>(日レセフォーマット)</small> 男女区分 <input type="radio"/> 1: 男性 <input type="radio"/> 2: 女性 <small>(1または2)</small>																									
負担金額・割合 <small>(金額は半角数字6桁以内、割合は小数点1桁以内)</small> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受診者の窓口負担</th> <th>金額または割合</th> <th>保険者負担上限額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本的な健診</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>詳細な健診</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>追加健診</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>人間ドック</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> </tbody> </table> その他の健診による負担金額 <input type="text"/> 円 <small>(半角数字9桁以下)</small>	受診者の窓口負担	金額または割合	保険者負担上限額	基本的な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円	詳細な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円	追加健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円	人間ドック	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円	単価情報 委託料単価区分 <input type="text"/> <small>(1: 個別健診 2: 集団健診)</small> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>単価 (基本的な健診)</td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>単価 (貧血検査)</td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>単価 (心電図検査)</td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>単価 (眼底検査)</td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>単価 (人間ドック)</td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> </tbody> </table>	単価 (基本的な健診)	<input type="text"/> 円	単価 (貧血検査)	<input type="text"/> 円	単価 (心電図検査)	<input type="text"/> 円	単価 (眼底検査)	<input type="text"/> 円	単価 (人間ドック)	<input type="text"/> 円
受診者の窓口負担	金額または割合	保険者負担上限額																								
基本的な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円																								
詳細な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円																								
追加健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円																								
人間ドック	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円																								
単価 (基本的な健診)	<input type="text"/> 円																									
単価 (貧血検査)	<input type="text"/> 円																									
単価 (心電図検査)	<input type="text"/> 円																									
単価 (眼底検査)	<input type="text"/> 円																									
単価 (人間ドック)	<input type="text"/> 円																									

凡例 入力必須項目 重要項目 青字 ORCA連携で検索に使用する項目 ピンク DB呼出で検索に使用する項目
 ※被保険者証等番号は、HL7 を出力するためには必須です。

下記のメッセージが表示されます。

受診者リストより選択する場合は「はい」を選択しない場合は「いいえ」を押下します。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

確認

同姓もしくは、同名の受診券が存在します。受診者リストより選択しますか？
(メッセージID: M4400)

上記画面で「はい」を選択した場合、既に登録されている受診券「ニチイ タロウ」「ニチイ ジロウ」「ニチイ ハナコ」が受診者特定一覧に表示されます。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

受診者特定一覧

同姓同名の受診者が存在します。
受診者を選択してください。

受診券整理番号	氏名(漢字)	氏名(カナ)	生年月日	性別	住所	被保険者証記号	被保険者証番号
00000000004	日医太郎	ニチイ タロウ	19601010	男性	東京都練馬区南大泉	あああ	1 1 1
00000000001	日医花子	ニチイ ハナコ	19600202	女性	東京都練馬区南大泉	あああ	1 1 1
00000000003	日医太郎	ニチイ ジロウ	19601010	男性	東京都練馬区南大泉	あああ	1 1 1

戻る(F1) 選択(F12)

※「Ctrl」キー+「Tab」キーを押下すると一覧から「選択」ボタンにフォーカス遷移します。

受診者特定一覧から「ニチイ ジロウ」を選択し「選択ボタン」を押下すると、下図のように受診券入力（個人情報）登録画面に、リストで選択した「ニチイ ジロウ」の受診券情報が反映されます。

受診者を選択せずに「閉じる」ボタンを押下した場合は反映されません。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

受診券入力（個人情報登録）

受診者の情報を入力し、「登録」ボタンを押して情報を登録します。日レセ、登録済みデータから受診者情報を取得できます。

患者ID (日レセ連携) 日レセ読込(N)

受診券整理番号 (半角数字11桁)

氏名 (カナ) (全角のみ50文字以内)

交付日 (半角数字8桁)

有効期限 (半角数字8桁)

受診者情報

郵便番号 (半角数字7桁)

住所 (全角のみ100文字以内)

（↓番号は半角数字のみ）

自宅電話番号 FAX番号 携帯電話番号

E-Mail 携帯E-Mail

契約情報 (保険者は半角数字8桁以内、支払代行機関は半角数字8桁)

保険者

支払代行機関

契約取りまとめ機関名 (全角のみ50文字以内)

負担金額・割合 (金額は半角数字8桁以内、割合は小数点1桁以内)

	受診者の窓口負担	金額または割合	保険者負担上限額
基本的な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/>	円
詳細な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/>	円
追加健診	<input type="text"/>	<input type="text"/>	円
人間ドック	<input type="text"/>	<input type="text"/>	円

その他の健診による負担金額 円 (半角数字9桁以下)

保険証情報

被保険者証等記号 (全角のみ20文字以内)

被保険者証等番号 (全角のみ20文字以内)

氏名 (漢字) (全角のみ50文字以内)

氏名 (通称) (全・半角50文字以内)

生年月日(年度年齢) 50 歳 (日レセフォーマット)

男女区分 ☐ 1: 男性 ☐ 2: 女性 (1または2)

単価情報 委託料単価区分 (1: 個別健診 2: 集団健診)

単価 (基本的な健診)	円
単価 (貧血検査)	円
単価 (心電図検査)	円
単価 (眼底検査)	円
単価 (人間ドック)	円

凡例 入力必須項目 重要項目 青字 ORCA連携で検索に使用する項目 ピンク DB呼出で検索に使用する項目

※被保険者証等番号は、HL7 を出力するためには必須です。

戻る(F1) クリア(F2) 入力票印刷(F5) データ呼出(F6) QR 登録(F12)

例 3) 一致する受診券情報が存在しない場合

既に「ニチイ タロウ」「ニチイ ジロウ」の受診券が登録されているとします。

氏名（カナ）欄に登録されていない受診者「ニチイ サブロウ」と入力しエンターキーを押下します。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

受診券入力（個人情報登録）

受診者の情報を入力し、「登録」ボタンを押して情報を登録します。日レセ、登録済みデータから受診者情報を取得できます。

患者ID (日レセ連携) <input type="text"/> <input type="button" value="日レセ読込(N)"/> <small>(日レセフォーマット)</small> 受診券整理番号 <input type="text"/> <small>(半角数字11桁)</small> 氏名 (カナ) <input type="text" value="ニチイ サブロウ"/> <small>(全角のみ50文字以内)</small> 交付日 <input type="text"/> <small>(半角数字8桁)</small> 有効期限 <input type="text"/> <small>(半角数字8桁)</small>	受診者情報 郵便番号 <input type="text"/> <small>(半角数字7桁)</small> 住所 <input type="text"/> <small>(↓番号は半角数字のみ) (↑全角のみ100文字以内)</small> 自宅電話番号 <input type="text"/> FAX番号 <input type="text"/> 携帯電話番号 <input type="text"/> E-Mail <input type="text"/> 携帯E-Mail <input type="text"/>																												
契約情報 <small>(保険者は半角数字8桁以内、支払代行機関は半角数字8桁)</small> 保険者 <input type="text"/> <input type="button" value="新規追加"/> 支払代行機関 <input type="text"/> 契約取りまとめ機関名 <input type="text"/> <small>(全角のみ50文字以内)</small>	保険証情報 被保険者証等記号 <input type="text"/> <small>(全角のみ20文字以内)</small> 被保険者証等番号 <input type="text"/> <small>(全角のみ20文字以内)</small> 氏名 (漢字) <input type="text"/> <small>(全角のみ50文字以内)</small> 氏名 (通称) <input type="text"/> <small>(全・半角50文字以内)</small> 生年月日 (年度年齢) <input type="text"/> <input type="text"/> <small>(日レセフォーマット)</small> 歳 男女区分 <input type="radio"/> 1: 男性 <input type="radio"/> 2: 女性 <small>(1または2)</small>																												
負担金額・割合 <small>(金額は半角数字6桁以内、割合は小数点1桁以内)</small> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受診者の窓口負担</th> <th>金額または割合</th> <th>保険者負担上限額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本的な健診</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>詳細な健診</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>追加健診</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>人間ドック</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">その他の健診による負担金額</td> <td><input type="text"/> 円 <small>(半角数字9桁以下)</small></td> </tr> </tbody> </table>	受診者の窓口負担	金額または割合	保険者負担上限額	基本的な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円	詳細な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円	追加健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円	人間ドック	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円	その他の健診による負担金額		<input type="text"/> 円 <small>(半角数字9桁以下)</small>	単価情報 委託料単価区分 <input type="text"/> <small>(1: 個別健診 2: 集団健診)</small> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>単価 (基本的な健診)</td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>単価 (貧血検査)</td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>単価 (心電図検査)</td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>単価 (眼底検査)</td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>単価 (人間ドック)</td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> </tbody> </table>	単価 (基本的な健診)	<input type="text"/> 円	単価 (貧血検査)	<input type="text"/> 円	単価 (心電図検査)	<input type="text"/> 円	単価 (眼底検査)	<input type="text"/> 円	単価 (人間ドック)	<input type="text"/> 円
受診者の窓口負担	金額または割合	保険者負担上限額																											
基本的な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円																											
詳細な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円																											
追加健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円																											
人間ドック	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円																											
その他の健診による負担金額		<input type="text"/> 円 <small>(半角数字9桁以下)</small>																											
単価 (基本的な健診)	<input type="text"/> 円																												
単価 (貧血検査)	<input type="text"/> 円																												
単価 (心電図検査)	<input type="text"/> 円																												
単価 (眼底検査)	<input type="text"/> 円																												
単価 (人間ドック)	<input type="text"/> 円																												

凡例 入力必須項目 重要項目 青字 ORCA連携で検索に使用する項目 ピンク DB呼出で検索に使用する項目
 ※被保険者証等番号は、HL7 を出力するためには必須です。

メッセージは表示されず、「交付日」欄にカーソルが遷移します。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

受診券入力 (個人情報登録)

受診者の情報を入力し、「登録」ボタンを押して情報を登録します。日レセ、登録済みデータから受診者情報を取得できます。

患者ID (日レセ連携) <input type="text"/> <input type="button" value="日レセ読込(N)"/> (日レセフォーマット) 受診券整理番号 <input type="text"/> (半角数字11桁) 氏名 (カナ) <input type="text"/> ニチイ サブローウ (全角のみ50文字以内) 交付日 <input type="text"/> (半角数字8桁) 有効期限 <input type="text"/> (半角数字8桁)	受診者情報 郵便番号 <input type="text"/> (半角数字7桁) 住所 <input type="text"/> (↓番号は半角数字のみ) (↑全角のみ100文字以内) 自宅電話番号 <input type="text"/> FAX番号 <input type="text"/> 携帯電話番号 <input type="text"/> E-Mail <input type="text"/> 携帯E-Mail <input type="text"/>																									
契約情報 (保険者は半角数字8桁以内、支払代行機関は半角数字8桁) 保険者 <input type="text"/> <新規追加> 支払代行機関 <input type="text"/> 契約取りまとめ機関名 <input type="text"/> (全角のみ50文字以内)	保険証情報 被保険者証等記号 <input type="text"/> (全角のみ20文字以内) 被保険者証等番号 <input type="text"/> (全角のみ20文字以内) 氏名 (漢字) <input type="text"/> (全角のみ50文字以内) 氏名 (通称) <input type="text"/> (全・半角50文字以内) 生年月日 (年度年齢) <input type="text"/> 歳 (日レセフォーマット) 男女区分 <input type="radio"/> 1: 男性 <input type="radio"/> 2: 女性 (1または2)																									
負担金額・割合 (金額は半角数字6桁以内、割合は小数点1桁以内) <table border="1"> <thead> <tr> <th>受診者の窓口負担</th> <th>金額または割合</th> <th>保険者負担上限額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本的な健診</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>詳細な健診</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>追加健診</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>人間ドック</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> </tbody> </table> その他の健診による負担金額 <input type="text"/> 円 (半角数字9桁以下)	受診者の窓口負担	金額または割合	保険者負担上限額	基本的な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円	詳細な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円	追加健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円	人間ドック	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円	単価情報 委託料単価区分 <input type="text"/> (1: 個別健診 2: 集団健診) <table border="1"> <tbody> <tr> <td>単価 (基本的な健診)</td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>単価 (貧血検査)</td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>単価 (心電図検査)</td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>単価 (眼底検査)</td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>単価 (人間ドック)</td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> </tbody> </table>	単価 (基本的な健診)	<input type="text"/> 円	単価 (貧血検査)	<input type="text"/> 円	単価 (心電図検査)	<input type="text"/> 円	単価 (眼底検査)	<input type="text"/> 円	単価 (人間ドック)	<input type="text"/> 円
受診者の窓口負担	金額または割合	保険者負担上限額																								
基本的な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円																								
詳細な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円																								
追加健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円																								
人間ドック	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円																								
単価 (基本的な健診)	<input type="text"/> 円																									
単価 (貧血検査)	<input type="text"/> 円																									
単価 (心電図検査)	<input type="text"/> 円																									
単価 (眼底検査)	<input type="text"/> 円																									
単価 (人間ドック)	<input type="text"/> 円																									

凡例 入力必須項目 重要項目 青字 ORCA連携で検索に使用する項目 ピンク DB呼出で検索に使用する項目
 ※被保険者証等番号は、HL7 を出力するためには必須です。

交付日

受診券が交付された日付を半角英数字で入力します。

入力フォーマットは「YYYYMMDD」になります。

例) 2008年3月1日の場合 → 20080301

有効期限

受診券に印刷された受診券の有効期限を交付日を入力します。

入力フォーマットは「YYYYMMDD」になります。

「契約情報」

保険者：番号

受診券に印刷されている保険者番号を入力します。

この項目には、すでに保険者情報メンテナンスにて登録されている保険者番号を入力します。登録していない保険者番号を入力し、エンターキーを押すと、医療保険者情報マスターメンテナンス画面が新たに表示されます。

保険者：名称

医療保険者の名称が自動的に挿入されます。

支払代行機関：番号

受診券に印刷されている支払代行機関番号を入力します。

この項目には、すでに支払代行メンテナンスにて登録されている支払代行機関番号を入力します。登録していない支払代行機関番号を入力し、エンターキーを押すと、支払代行情報登録画面が新たに表示されます。

支払代行機関：名称

支払代行機関の名称が自動的に挿入されます。

契約取りまとめ機関名

受診券に印刷されている契約取りまとめ機関名を入力します。

「負担金額割合」

窓口負担（基本的な健診）

- ・「保険者負担上限額」：「1：無し」を選択した場合に入力可能 ※1
- ・「2. 定額」「3. 定率」：プルダウンで選択可能 ※2

窓口負担（詳細な健診）

- ・「保険者負担上限額」：「1：無し」を選択した場合に入力可能 ※1
- ・「2. 定額」「3. 定率」：プルダウンで選択可能 ※2

窓口負担（追加健診）

- ・「保険者負担上限額」：「1：無し」を選択した場合に入力可能 ※1
- ・「2. 定額」「3. 定率」：プルダウンで選択可能 ※2

窓口負担（人間ドック）

- ・「保険者負担上限額」：「1：無し」を選択した場合に入力可能 ※1
- ・「2. 定額」「3. 定率」：プルダウンで選択可能 ※2

その他の健診による負担金額

「生活機能評価同時実施」など他の健診で負担する金額を入力します。

※1：保険者上限負担額には、それぞれの項目の保険者が負担する上限額を入力します。

※2：プルダウンメニュー横の項目には、受診券に印刷されている負担額や定率などを入力します。

※窓口負担の金額などの詳細な設定は「請求関連マニュアル」に記載してあります。

「受診者情報」

郵便番号

受診者の郵便番号を入力します。

登録済の郵便番号マスタから自動検索し、住所欄に該当の住所が反映されます。

※郵便番号マスタは Ver1.2.8 から適応されており、市町村の合併等で変更があった場合、適宜更新されます。

住所

郵便番号で自動検索された住所が反映されます。
町名以降の受診者の住所を全角で入力します。
※該当する住所が無かった場合、手入力します。

自宅電話番号

受診者の自宅電話番号を入力します。

携帯電話番号

受診者の携帯電話番号を入力します。

FAX 番号

受診者の FAX 番号を入力します。

E-Mail

受診者の E-Mail アドレス入力します。

携帯 E-Mail

受診者の携帯電話の E-Mail アドレスを入力します。

「保険証情報」**被保険者証等記号**

受診券の提示と同時に、受診者の保険者証を確認します。この項目には受診者の被保険者証等記号を全角で入力します。

被保険者証等番号

受診券の提示と同時に、受診者の保険者証を確認します。この項目には受診者の被保険者証等番号を全角で入力します。

氏名（漢字）

受診者氏名を漢字で入力します。

氏名（通称）

受診者氏名の通称があれば入力します。

生年月日（年度年齢）

受診者の生年月日を西暦(8桁)で入力します。
生年月日を入力すると年度年齢が自動入力されます。
日レセの入
力フォーマットは「YYYYMMDD」になります。
例) 平成 13 年 1 月 15 日生→20010115

男女区分

受診者の性別を選択します。

「ボタン」**入力票印刷ボタン**

特定健診入力票と問診表を印刷します。

※不正な日付を入力した場合は、入力票印刷実施時点の日付が表示されます。

QR ボタン（※QR ボタン機能は現在使用できません。）

すべてのフィールドに何も入力されていない状態でこのボタンを押すと、受診券に印刷された QR コードから各種情報を読み取ることができます。

日レセ読込ボタン

患者 ID だけが入力された状態でこのボタンを押すと、日医標準レセプトソフトと連携している場合は、日医標準レセプトソフトに該当する患者 ID の受診者がいた場合はそのデータを格納します。

クリアボタン

入力した値をすべてクリアすることができます。

データ呼出ボタン

受診券整理番号のみを入力した状態でこのボタンを押すと、入力された受診券整理番号に該当する受診者が登録されている場合は、その情報の編集を行うことができます。

登録ボタン

入力されたデータを登録します。

戻るボタン

何もせずに終了します。メインメニューに戻ります。

※登録ボタンを押さずに、戻るボタンを押した場合には、入力したデータを保存しません。

2.5.2. 入力票印刷

受診券を呼び出し、入力票印刷ボタンを押下します。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

受診券入力 (個人情報登録)

受診者の情報を入力し、「登録」ボタンを押して情報を登録します。日レセ、登録済みデータから受診者情報を取得できます。

患者ID (日レセ連携) <input type="text"/> 日レセ読込(N) <small>(日レセフォーマット)</small> 受診券整理番号 <input type="text"/> <small>(半角数字11桁)</small> 氏名 (カナ) <input type="text"/> <small>(全角のみ50文字以内)</small> 交付日 <input type="text"/> <small>(半角数字8桁)</small> 有効期限 <input type="text"/> <small>(半角数字8桁)</small>	受診者情報 郵便番号 <input type="text"/> <small>(半角数字7桁)</small> 住所 <input type="text"/> <small>(↓番号は半角数字のみ) (↑全角のみ100文字以内)</small> 自宅電話番号 <input type="text"/> FAX番号 <input type="text"/> 携帯電話番号 <input type="text"/> E-Mail <input type="text"/> 携帯E-Mail <input type="text"/>
--	--

契約情報 <small>(保険者は半角数字8桁以内、支払代行機関は半角数字8桁)</small> 保険者 <input type="text"/> <input type="text"/> <small>00000101 00000101 社会保険庁</small> 支払代行機関 <input type="text"/> 契約取りまとめ機関名 <input type="text"/> <small>(全角のみ50文字以内)</small>	保険証情報 被保険者証等記号 <input type="text"/> <small>(全角のみ20文字以内)</small> 被保険者証等番号 <input type="text"/> <small>(全角のみ20文字以内)</small> 氏名 (漢字) <input type="text"/> <small>(全角のみ50文字以内)</small> 氏名 (通称) <input type="text"/> <small>(全・半角50文字以内)</small> 生年月日 (年度年齢) <input type="text"/> <input type="text"/> <small>50 歳</small> <small>(日レセフォーマット)</small> 男女区分 <input type="radio"/> 1: 男性 <input type="radio"/> 2: 女性 <small>(1 または 2)</small>
--	---

負担金額・割合 <small>(金額は半角数字6桁以内、割合は小数点1桁以内)</small> <table border="1"> <thead> <tr> <th>受診者の窓口負担</th> <th>金額または割合</th> <th>保険者負担上限額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基本的な健診</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>詳細な健診</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>追加健診</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>人間ドック</td> <td><input type="text"/></td> <td><input type="text"/> 円</td> </tr> </tbody> </table> その他の健診による負担金額 <input type="text"/> 円 <small>(半角数字9桁以下)</small>	受診者の窓口負担	金額または割合	保険者負担上限額	基本的な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円	詳細な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円	追加健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円	人間ドック	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円	単価情報 <small>委託料単価区分 <input type="text"/> (1: 個別健診 2: 集団健診)</small> 単価 (基本的な健診) <input type="text"/> 円 単価 (貧血検査) <input type="text"/> 円 単価 (心電図検査) <input type="text"/> 円 単価 (眼底検査) <input type="text"/> 円 単価 (人間ドック) <input type="text"/> 円
受診者の窓口負担	金額または割合	保険者負担上限額														
基本的な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円														
詳細な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円														
追加健診	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円														
人間ドック	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円														

凡例 入力必須項目 重要項目 青字 ORCA連携で検索に使用する項目 ピンク DB呼出で検索に使用する項目
 ※被保険者証等番号は、HL7 を出力するためには必須です。

下図の通り健診実施日入力画面が表示されます。

入力フィールドに健診年月日を数値 8 桁で入力し OK ボタンを押下します。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック...]

健診実施日入力画面

健診実施日を入力してください。
 ※入力した健診実施日は入力票に反映されます。
 入力しない場合、既存の健診実施日を表示します。

下図の通り入力票の実施日欄（赤枠箇所）に上記画面で入力した健診年月日が反映されます。

特定健康診査用入力票			
実施日	2010年04月30日	受診券整理番号	000000000004
保険者番号	00000101	番号	111
被保険者証等記号	あああ	フリガナ	ニチイ タロウ
氏名	日医太郎	生年月日	昭和35年10月10日
		性別	男性
		年齢	50歳

区 分	項 目	結 果 値	単 位
身体測定	身 長		cm
	体 重		kg
	腹 囲		cm
血 圧	収縮期血圧		mm[Hg]
	拡張期血圧		mm[Hg]
採血条件	採血時間(食後)		時間
血中脂質	中 性 脂 肪		mg/dL
	HDLコレステロール		mg/dL
	LDLコレステロール		mg/dL

※ 不正な日付を入力した場合は、入力票印刷実施時点の日付が表示されます。

2.5.3.受診券入力における注意事項

受診券入力において、以下の項目に注意して入力を行ってください。

患者 ID は、半角英数字で入力する。

受診券整理番号は、半角英数字で入力する。

交付日は、日付フォーマット「YYYYMMDD」に添った形で入力する。

例) 2008年3月1日の場合 → 20080301

有効期限は、日付フォーマット「YYYYMMDD」に添った形で入力する。

保険者番号は、半角数字で入力する。

支払代行機関番号は、半角数字で入力する。

被保険者証等記号は、全角で入力する。

被保険者証等番号は、全角で入力する。

氏名（カナ）は、全角で入力する。

氏名（漢字）は、全角で入力する。

生年月日は、生年月日を西暦(8桁)で入力します。

日レセの入力フォーマット「YYYYMMDD」に添った形で入力する。

例) 平成13年1月15日生→20010115

郵便番号は、ハイフン無し半角数字で入力する。

例) 郵便番号 123-4567 の場合 → 1234567

住所は、英数字・記号ともに全角で、ハイフンは「一(長音)」で入力する。

※過去データにある半角ハイフンは「一(長音)」英数字は全角へ、登録時に変換されます。

電話番号は、ハイフン無し半角数字で入力する。

例) 電話番号 090-1234-5678 の場合 → 09012345678

E-Mail および携帯 E-Mail の項目は、半角英数字で入力する。

窓口負担の数値は、半角数字で入力する。

ただし、項目で「受診者は定率負担」を選択した場合は、負担率をパーセンテージ表記で入力する必要があります。この場合、0 から 1 0 0 の範囲の有効少数桁数第二位までの数値で入力してください。

2.6.健診・問診結果入力

2.6.1.健診・問診結果データ一覧画面

メインメニューにて健診・問診結果入力の項目を選択すると、以下のようなメニュー（一覧）が表示されます。ユーザは、これらの項目から目的の項目を選択します。

健診・問診結果データ一覧

検索条件を入力し、検索ボタンを押して受診者を検索します。
受診者を選択し、画面下部のボタンを押して各処理を開始します。

氏名(カナ) 受診券整理番号 保険者番号

性別 ☒ 男性 ☒ 女性 生年月日 年齢 ~

健診実施日 ~

判定日 ~

結果通知日 ~

☒ 結果入力済 ☒ 今年度 3件

	年度	受診券整理番号	氏名(カナ)	氏名(漢字)	生年月日	性別	入力	被保険者証等記号	被保険者証等番号	健診実施日
<input type="checkbox"/>	2010	00000000003	ニチイ ジロウ	日医次郎	19601010	男性	済	あああ	1 1 1	20100422
<input type="checkbox"/>	2010	00000000004	ニチイ タロウ	日医太郎	19601010	男性	済	あああ	1 1 1	20100422
<input type="checkbox"/>	2010	00000000001	ニチイ ハナコ	日医花子	19600202	女性	済	あああ	1 1 1	20100422

戻る(F1) 結果削除(F3) 受診券削除(F4) 入力票印刷(F5) 受診券追加(F6) 受診券呼出(F7) 依頼書印刷(F9) 結果複製(F11) 結果入力(F12)

※「Ctrl」キー+「Tab」キーを押下する事で、「検索」ボタンから一覧に、一覧から「結果デ複製」ボタンにフォーカス遷移します。

上記画面の項目は以下のとおりです。

「受診者検索」

検索条件

検索を行う際の条件を入力します。検索を行うと、検索した結果が受診者一覧として表示されます。この一覧では、受診者を選択することができます。

検索ボタン

受診者検索を行います。検索条件に何も入力されていない状態でこのボタンが押されると、登録されているすべての受診者が表示されます。

「受診者一覧」

検索を行うと、検索した結果が受診者一覧として表示されます。

この一覧では、受診者を選択することができます。

「ボタン」

入力票印刷

一人以上の受診者を選択後、入力票印刷ボタンを押下し入力票を印刷します。

受診者を複数人選択しているときは、人数分の入力票が印刷されます。

一人以上の受診者を選択し、入力票印刷ボタンを押下します。

※入力票印刷については[2.5.2. 入力票印刷](#) の項をご参照下さい。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

健診・問診結果データ一覧

検索条件を入力し、検索ボタンを押して受診者を検索します。
受診者を選択し、画面下部のボタンを押して各処理を開始します。

氏名(カナ) 受診券整理番号 保険者番号

性別 ☒ 男性 ☒ 女性 生年月日 年齢 ~

健診実施日 ~

判定日 ~

結果通知日 ~

☒ 結果入力済 ☒ 今年度 3件 検索(S)

	年度	受診券整理番号	氏名(カナ)	氏名(漢字)	生年月日	性別	入力	被保険者証等記号	被保険者証等番号	健診実施日	
<input type="checkbox"/>	2010	00000000003	ニチイ ジロウ	日医次郎	19601010	男性	済	あああ	1 1 1	20100422	
<input type="checkbox"/>	2010	00000000004	ニチイ タロウ	日医太郎	19601010	男性	済	あああ	1 1 1	20100422	
<input type="checkbox"/>	2010	00000000001	ニチイ ハナコ	日医花子	19600202	女性	済	あああ	1 1 1	20100422	

戻る(F1) 結果削除(F3) 受診券削除(F4) 入力票印刷(F5) 受診券追加(F6) 受診券呼出(F7) 依頼書印刷(F9) 結果複製(F11) 結果入力(F12)

受診券追加

新たに受診券情報登録画面を呼び出し、受診券情報を登録します。

受診券呼出

選択した受診者の受診券情報を呼び出します。

受診券削除

選択した受診者の受診券情報を削除します。

※選択した受診者の結果データもまとめて削除されます。

結果入力

一人の受診者を選択しているとき、このボタンを押すと、健診結果データ入力画面を新たに表示します。

※結果データ入力時には必ず一人だけ行の左のチェックを入れて選択してください。

チェックした行以外の行を選択して結果データ入力ボタンを押しても、チェックした人の結果データ入力になります。

結果複製

選択した結果データを複製します。

※健診実施日が複製元と同じ場合、複製されず上書き登録になっていますので注意してください。

結果削除

選択した受診者の結果データを削除します。

※受診券情報は削除されません。

依頼書印刷

一人以上の受診者を選択しているとき、検査依頼書の印刷を行います。

※結果入力がないと出力されません。

戻るボタン

メインメニューに戻ります。

2.6.2.受診者検索

特定健診・問診結果の入力を行うには、まず入力の対象となる受診者を特定する必要があります。この受診者特定の作業には特定健診・問診結果入力画面で検索を行います。検索のキーとなる項目を入力することで、検索結果を絞り込むことができます。

検索ボタンを押すと、検索した結果が受診者一覧として表示されます。

※「結果入力済」、「今年度」チェックボックスの仕様につきましては、別冊「受診者検索仕様(図解)」をご参照下さい。

受診者を選択するには、一番左のセルに表示されている、チェックボックスをクリックします。このチェックボックスは、複数の受診者を選択することができますが、その場合、結果入力画面へ遷移できないことに注意してください。

2.6.3.結果入力

先ほどの検索結果から、受診者を一人選択した状態で決定ボタンを押すと、以下のような結果入力画面が表示されます。

必須項目となっている健診実施日は、日付フォーマット「YYYYMMDD」に添った形で入力してください。

上記の画面の項目は以下のとおりになります。

必須項目に関しては、フォームの色が黄色に、入力可能な項目は水色に、入力出来ない項目は灰色となっています。

※「Ctrl」キー+「Tab」キーを押下する事で「総合コメント」欄から一覧に、一覧から「登録」ボタンにフォーカス遷移します

登録ボタン

入力されたデータを登録します。

クリアボタン

入力した値をすべてクリアすることができます。

戻るボタン

検索画面に戻ります。

健診項目が入力可能になりましたら、健診項目の結果を入力します。健診結果値を入力する際は、以下の項目に注意して入力してください。

健診パターンははじめ、「特定健診」が選択されています。入力中の受診者に用いる健診パターンをこのプルダウンから選択します。

メタボリックシンドローム判定は、入力しないでください。これは医師の所見によって、メタボリックシンドローム判定には該当しなかった患者に対してその判定結果を変更するためのものです。
請求区分は、入力中の受診者がどのような請求区分によって支払いが行われるかを入力します。
数字は、半角数字で入力します。
項目コードは、プルダウンメニューから選択します。

2.6.4.入力ウィンドウの表示

総合コメント欄・結果(文字列)欄で「Ctrl」キー+「Enter」キーを押下すると、入力ウィンドウが表示されます。

- 総合コメント欄

総合コメント欄にカーソルが当たった状態で「Ctrl」キー+「Enter」キーを押下します。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

健診・問診結果データ入力

健診パターンを選択して、健診項目を表示します。値を入力して登録ボタンを押してください。
総合コメント欄・結果(文字列)欄でCtrlキー+Enterキー押下して入力ウィンドウを表示します。

受診者氏名: ニチイ シロウ 性別: 男性 生年月日: 19601010 年齢: 50
健診パターン: 特定健診 健診実施日: 20100422 被保険者証等記号: あああ
請求区分: 基本的な健診 被保険者証等番号: 111

メタボリックシンドローム判定: 未判定 総合コメント:

保健指導階層化: 未判定

項目名	検査方法	結果(数値)	結果(コード)	結果(文字列)	実施区分	基準値下限...	基準値上限...	基準値下限...	基準
身長		200.0			1実施				
体重		80.0			1実施				
BMI					1実施	18.5	24.9	18.5	24.9
内臓脂肪面積					1実施				
腹囲(実測)					1実施				
腹囲(自己判定)					1実施				
腹囲(自己申告)					1実施				
既往歴					1実施				
具体的な既往歴					1実施				
自覚症状					1実施				
自覚症状所見					1実施				
他覚症状					1実施				
他覚所見					1実施				

凡例: 入力必須項目 入力可能項目 入力不可能項目

戻る(F1) クリア(F2) 登録(F12)

「総合コメント」欄にカーソルが当たった状態で「Ctrl」キー+「Enter」キーを押下

下図のように入力ウィンドウが表示されます。

所見リスト選択

所見リスト(上部)より所見を選択し、所見フィールド(下部)で所見を作成します。

上室二段脈
心室二段脈
上室期外収縮(頻発)
心室期外収縮(頻発)
心室頻拍
心室期外収縮ショートラン
心室期外収縮二連発
心房粗動
心房細動
上室頻拍
上室期外収縮ショートラン
上室二段脈, 心室二段脈

キャンセル(F1) 選択(F11) 確定(F12)

入力事項をクリック後「選択」ボタンを押下し「確定」ボタンを押下します。

下図のように選択した文言が総合コメント欄に反映されます。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

健診・問診結果データ入力

健診パターンを選択して、健診項目を表示します。値を入力して登録ボタンを押してください。
総合コメント欄・結果(文字列)欄でCtrlキー+Enterキー押下して入力ウィンドウを表示します。

受診者氏名 ニチイ ジロウ 性別 男性 生年月日 19601010 年齢 50
健診パターン 特定健診 健診実施日 20100422 被保険者証等記号 あああ
請求区分 基本的な健診 被保険者証等番号 1 1 1

メタボリック 未判定 シンドローム判定 未判定 総合コメント 上室二段脈, 心室二段脈

項目名	検査方法	結果(数値)	結果(コード)	結果(文字列)	実施区分	基準値下限...	基準値上限...	基準値下限...	基準
身長		200.0			1.実施				
体重					1.実施				
BMI					1.実施	18.5	24.9	18.5	24.9
内臓脂肪面積					1.実施				
腹囲(実測)					1.実施				
腹囲(自己判定)					1.実施				
腹囲(自己申告)					1.実施				
既往歴					1.実施				
具体的な既往歴					1.実施				
自覚症状					1.実施				
自覚症状所見					1.実施				
他覚症状					1.実施				
他覚所見					1.実施				

凡例 入力必須項目 入力可能項目 入力不可能項目

戻る(F1) クリア(F2) 登録(F12)

結果(文字列)欄

結果(文字列)欄にカーソルが当たった状態で「Ctrl」キー+「Enter」キーを押下します。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

健診・問診結果データ入力

健診パターンを選択して、健診項目を表示します。値を入力して登録ボタンを押してください。
総合コメント欄・結果(文字列)欄でCtrlキー+Enterキー押下して入力ウィンドウを表示します。

受診者氏名 性別 生年月日 年齢

健診パターン 健診実施日 被保険者証等記号

請求区分 被保険者証等番号

メタボリックシンドローム判定 総合コメント

保健指導階層化

項目名	検査方法	結果(数値)	結果(コード)	結果(文字列)	実施区分	基準値下限...	基準値上限...	基準値下限...	基準...
身長		200.0			1実施				
体重		80.0			1実施				
BMI		20.0			1実施	18.5	24.9	18.5	24.9
内臓脂肪面積		60.0			1実施				
腹囲(実測)	実測	60.0			1実施				
腹囲(自己判定)	自己測定				1実施				
腹囲(自己申告)	自己申告				1実施				
既往歴					1実施				
具体的な既往歴					1実施				
自覚症状					1実施				
自覚症状所見					1実施				
他覚症状					1実施				
他覚所見					1実施				

凡例 入力必須項目 入力可能項目 入力不可能項目

戻る(F1) クリア(F2) 登録(F12)

下図のように入力ウィンドウが表示されます。

所見リスト選択

所見リスト(上部)より所見を選択し、所見フィールド(下部)で所見を作成します。

上室二段脈

心室二段脈

上室期外収縮(頻発)

心室期外収縮(頻発)

心室頻拍

心室期外収縮ショートラン

心室期外収縮二連発

心房粗動

心房細動

上室頻拍

上室期外収縮ショートラン

心室期外収縮ショートラン

キャンセル(F1) 選択(F11) 確定(F12)

入力事項をクリック後「選択」ボタンを押下し「確定」ボタンを押下すると、下図のように入力した文言が結果（文字列）欄に反映されます。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

健診・問診結果データ入力

健診パターンを選択して、健診項目を表示します。値を入力して登録ボタンを押してください。
総合コメント欄・結果(文字列)欄でCtrlキー+Enterキー押下して入力ウィンドウを表示します。

受診者氏名 性別 生年月日 年齢

健診パターン 健診実施日 被保険者証等記号

請求区分 被保険者証等番号

メタボリックシンドローム判定 総合コメント

保健指導階層化

項目名	検査方法	結果(数値)	結果(コード)	結果(文字列)	実施区分	基準値下限...	基準値上限...	基準値下限...	基準
身長		200.0			1.実施				
体重		80.0			1.実施				
BMI		20.0			1.実施	18.5	24.9	18.5	24.9
内臓脂肪面積		60.0			1.実施				
腹囲(実測)	実測	60.0			1.実施				
腹囲(自己判定)	自己測定				1.実施				
腹囲(自己申告)	自己申告				1.実施				
既往歴					1.実施				
具体的な既往歴				外収縮ショートラン	1.実施				
自覚症状					1.実施				
自覚症状所見					1.実施				
他覚症状					1.実施				
他覚所見					1.実施				

凡例 入力必須項目 入力可能項目 入力不可能項目

戻る(F1) クリア(F2) 登録(F12)

2.7.メタボリックシンドローム判定・階層化画面

2.7.1 メタボリックシンドローム判定・階層化画面

メインメニューにてメタボリックシンドローム判定・階層化画面の項目を選択すると、以下のようなメニュー（一覧）が表示されます。ユーザは、これらの項目から目的の項目を選択します。

メタボリックシンドローム判定・階層化では、受診結果の表示とメタボリックシンドローム・階層化判定の処理を行うことができます。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

メタボリックシンドローム判定・階層化

検索条件を入力し、検索ボタンを押して健診データを表示します。
健診データを選択し、画面下部のボタンを押して各処理を開始します。

氏名〈カナ〉 受診券整理番号 保険者番号
 被保険者証等番号 被保険者証等記号 保健指導レベル

健診実施日 ~
 判定日 ~
 結果通知日 ~

☒ 結果入力済 ☒ 今年度 3件

	年度	受診券整理番号	氏名〈カナ〉	氏名〈漢字〉	生年月日	性別	入力	判定結果	保健指導レベル	健診実施日	
<input type="checkbox"/>	2010	000000000003	ニチイ ジロウ	日医次郎	19601010	男性	済	未判定	未判定	20100422	
<input type="checkbox"/>	2010	000000000004	ニチイ タロウ	日医太郎	19601010	男性	済	未判定	未判定	20100422	
<input type="checkbox"/>	2010	000000000001	ニチイ ハナコ	日医花子	19600202	女性	済	未判定	未判定	20100422	

※「Ctrl」キー+「Tab」キーを押下する事で「検索」ボタンから一覧に、一覧から「メタボリックシンドローム判定・階層化」ボタンにフォーカス遷移します

上記画面の項目は、以下のとおりです

「受診者検索」

検索条件

検索を行う際の条件を入力します。検索を行うと、検索した結果が受診者一覧として表示されます。この一覧では、受診者を選択することができます。

検索ボタン

受診者検索を行います。検索条件に何も入力されていない状態でこのボタンが押されると、登録されているすべての受診者が表示されます。

※「結果入力済」、「今年度」チェックボックスの仕様につきましては、別冊「受診者検索仕様(図解)」をご参照下さい。

「ボタン」

メタボリックシンドローム・階層化ボタン

メタボリックシンドローム判定・階層化を実行します。

通知表印刷ボタン

受診者がひとつ以上選択された状態でこのボタンが押されると、選択した数だけ特定健診結果通知表の印刷を行います。

説明用帳票印刷ボタン

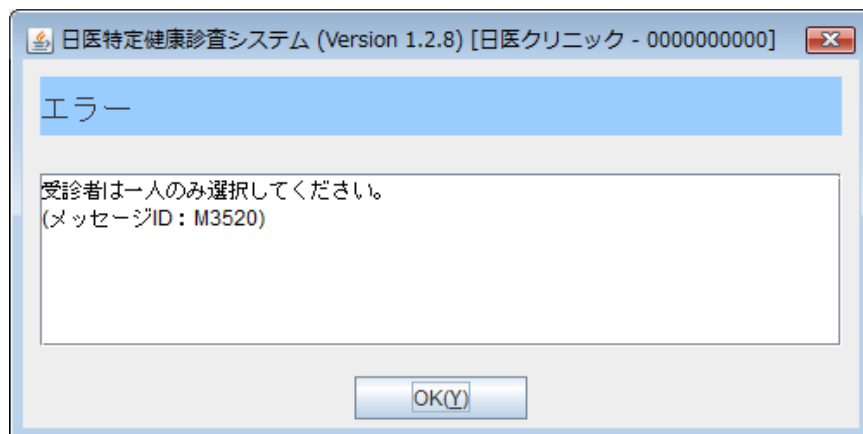
受診者に説明する為の説明票(メタボリックシンドロームについて、特定保健指導について、健康診査結果の見方が記載)の印刷を行います。

詳細ボタン

一人の受診者が選択された状態でこのボタンが押されると、該当する受診者の健診結果表示画面を表示します。

※必ず一人だけ行の左のチェックを入れて選択してください。チェックした行以外の行を選択して詳細やメタボ判定ボタンを押しても、チェックした人に対しての処理になります。

※受診者を複数選択した場合は、下図のメッセージが表示されます。



戻るボタン

メインメニューに戻ります。

2.7.2.メタボリックシンドローム判定について

本ソフトウェアは、特定健診。追加健診項目、問診の検査結果に対してメタボリックシンドローム判定を行います。

メタボリックシンドローム判定の処理に関しては、健診データの電子的管理の整備に関するホームページに記載されている内容に沿って実行されます。

※参照

健診データの電子的管理の整備に関するホームページ

<http://tokuteikenshin.jp/>

2.7.3.健診・問診結果データ表示

メタボリックシンドローム判定・階層化画面において、受診者が選択された状態で詳細ボタンを押下すると、以下のような該当する受診者の健診結果表示画面を表示します。

The screenshot shows a software window titled '日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]'. The main title bar is '健診・問診結果データ表示'. Below the title bar, there is a search instruction: '検索条件を入力して「検索」ボタンを押して、健診結果の一覧を表示します。一覧から受診者を選択し、画面下部のボタンを押して処理を実行します。'.

The main area contains a form with the following fields:

- 被保険者証等記号: あああ
- 被保険者証等番号: 111
- 受診者氏名: ニチイ タロウ
- 健診パターン: 特定健診
- 健診実施日: 20100422

Below the form is a table with the following columns: 項目名, 検査方法, 結果(数値), 結果(コー..., 結果(文字..., 実施区分, 基準値下限..., 基準値上限..., 基準値下限..., 基準値上限....

項目名	検査方法	結果(数値)	結果(コー...	結果(文字...	実施区分	基準値下限...	基準値上限...	基準値下限...	基準値上限...
身長		190.0			1実施				
体重		60.0			1実施				
BMI		16.6			1実施	18.5	18.5	18.5	24.9
内臓脂肪面積		80.0			1実施				
腹囲(実測)	実測				1実施				
腹囲(自己判定)	自己測定				1実施				
腹囲(自己申告)	自己申告				1実施				
既往歴					1実施				
具体的な既往歴					1実施				
自覚症状					1実施				
自覚症状所見					1実施				
他覚症状					1実施				
他覚所見					1実施				
収縮期血圧(その他)	その他				1実施				129
収縮期血圧(2回目)	2回目				1実施				129

Below the table, there are two dropdown menus: 'メタボリックシンドローム判定' (set to '未判定') and '保健指導レベル' (set to '未判定'). To the right of these is a '総合コメント' field.

At the bottom of the window, there are several buttons: '戻る(F1)', '前のデータ(F7)', '次のデータ(F9)', '通知表印刷(F11)', and '修正(F12)'.

上記画面の項目は以下のとおりです。

前のデータボタン

受診者を複数選択した場合に、前の受診者の情報に移動します。

次のデータボタン

受診者を複数選択した場合に、次の受診者の情報に移動します。

通知表印刷ボタン

表示されている受診者の、特定健診結果通知表を印刷します。

修正ボタン

表示されている受診者の、健診結果を修正します。

戻るボタン

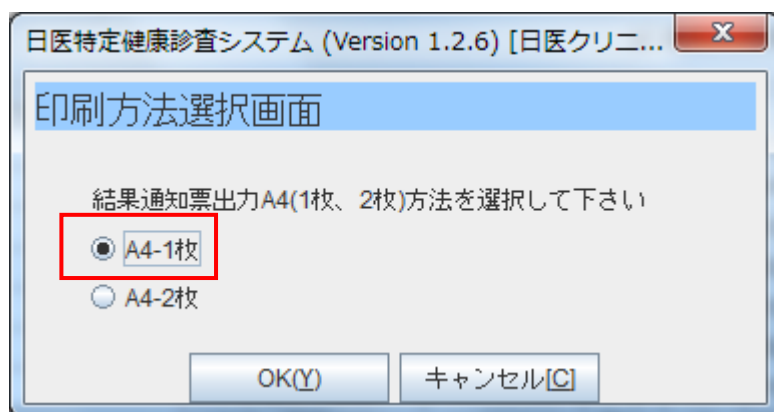
健診結果表示・自動判定画面にもどります。

2.7.4.通知表印刷について

特定健診結果通知表を印刷する場合、1枚目を A4 横サイズ 1 枚の場合と、A4 縦サイズ 2 枚の場合の 2 通りに出力することができます。

- ・ A4 横サイズ 1 枚で出力する場合

通知表印刷を押下すると、「印刷方法選択画面」が表示されます。



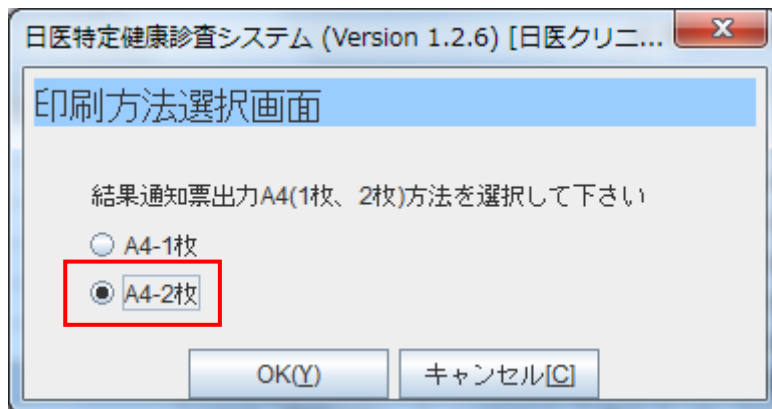
赤枠のように、「A4-1枚」がデフォルトで選択されているので、そのまま OK ボタンを押下します。

A4 横サイズ 1 枚で出力されます。

特定健康診査受診結果					(1/5)		日医クリニック 〒060-0041 北海道札幌市中央区大通東 TEL 011-24333550							
カネ氏名	テストハナコ	生年月日	昭和52年 4月30日	健診年月日	2010年 4月13日									
		性別/年齢	女性 33歳	特定健康診査 受診券番号	00000000005									
既往歴	脳血管について既往歴あり 心血管について既往歴あり 腎不全・人工透析について既往歴あり 黄血について既往歴あり 既往歴													
服薬歴	血圧 血糖 脂質	喫煙歴	あり	飲酒	1合未満									
自覚症状	自覚症状													
他覚症状	他覚													
項目		基準値	今回受診 2010年 4月13日	前回受診	前々回受診									
身体計測	身長	(cm)	154.0											
	体重	(kg)	64.0											
	腹囲	(cm)												
	BMI		18.5~24.9	H 27.0										
血圧	収縮期血圧	(mmHg)	~129											
	拡張期血圧	(mmHg)	~84											
血中脂質検査	中性脂肪	(mg/dL)	~149											
	HDL-C(250-5)	(mg/dL)	40~											
	LDL-C(250-5)	(mg/dL)	~119											
肝機能検査	GGT	(U/L)												
	ALT	(U/L)												
	γ-GTP	(U/L)												
血糖検査	空腹時血糖 (又は空腹10時間未満)	(mg/dL)	~99											
	HbA1c	(%)	~5.1											
尿検査	糖		(-)											
	蛋白		(-)											
貧血検査	赤血球数	($10^3/mm^3$)	360~489											
	血色素量	(g/dL)	11.0~											
	HbA1c	(%)	34.0~43.9											
項目	今回受診 2010年 4月13日		前回受診		前々回受診									
心電図検査	所見	所見なし												
眼底検査	所見													
メタボリック シンドローム判定	判定不能													
メタボリックシンドローム判定による基準該当と予備群該当														
<table border="1"> <tr> <td>基準該当</td> <td>予備群該当</td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 腹囲 男性≥ 85cm 女性≥ 90cm + 以下のうち2項目以上に該当 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 脂肪 中性脂肪≥ 150mg/dL かつ/または HDLコレステロール< 40mg/dL かつ/または 服薬中の方 血圧 収縮期血圧≥ 130mmHg かつ/または 拡張期血圧≥ 85mmHg かつ/または 服薬中の方 糖代謝 空腹時血糖≥ 110mg/dL (ヘモグロビンA1cの場合$\geq 5.5\%$) かつ/または 服薬中の方 </td> </tr> </table>									基準該当	予備群該当	腹囲 男性 ≥ 85 cm 女性 ≥ 90 cm + 以下のうち2項目以上に該当		脂肪 中性脂肪 ≥ 150 mg/dL かつ/または HDLコレステロール < 40 mg/dL かつ/または 服薬中の方 血圧 収縮期血圧 ≥ 130 mmHg かつ/または 拡張期血圧 ≥ 85 mmHg かつ/または 服薬中の方 糖代謝 空腹時血糖 ≥ 110 mg/dL (ヘモグロビンA1cの場合 $\geq 5.5\%$) かつ/または 服薬中の方	
基準該当	予備群該当													
腹囲 男性 ≥ 85 cm 女性 ≥ 90 cm + 以下のうち2項目以上に該当														
脂肪 中性脂肪 ≥ 150 mg/dL かつ/または HDLコレステロール < 40 mg/dL かつ/または 服薬中の方 血圧 収縮期血圧 ≥ 130 mmHg かつ/または 拡張期血圧 ≥ 85 mmHg かつ/または 服薬中の方 糖代謝 空腹時血糖 ≥ 110 mg/dL (ヘモグロビンA1cの場合 $\geq 5.5\%$) かつ/または 服薬中の方														
検査分野別判定														
医師の判断														
判断した医師の氏名														

- ・ A4 サイズ 2 枚で出力する場合

通知表印刷を押下すると、「印刷方法選択画面」が表示されます。



赤枠のように、「A4-2 枚」を選択し、OK ボタンを押下します。

A4 縦サイズ 2 枚で出力されます。

特定健康診査受診結果

日医クリニック

〒060-0041 北海道札幌市中央区大通東

TEL 0143433550

(1/6)

カナ氏名	テストハナコ	生年月日	昭和52年 4月 30日	健診年月日	2010年 4月 13日
		性別/年齢	女性 33歳	特定健康診査 受診番号	00000000005

既往歴	脳血管について既往歴あり 心臓について既往歴あり 腎不全・人工透析について既往歴あり 貧血について既往歴あり 既往歴				
服薬歴	血圧 血糖 脂質	喫煙歴	あり	飲酒	1合未満
自覚症状	自覚症状				
他覚症状	他覚				

項目	基準値	今回受診		
		2010年 4月 13日		
身体計測	身長 (cm)	154.0		
	体重 (kg)	64.0		
	腹囲 (cm)			
	BMI	18.5~24.9	H 27.0	
血圧	収縮期血圧 (mmHg)	~129		
	拡張期血圧 (mmHg)	~84		
血中脂質検査	中性脂肪 (mg/dl)	~149		
	HDL-C (mg/dl)	40~		
	LDL-C (mg/dl)	~119		
	GOT (U/l)			
肝臓検査	GPT (U/l)			
	γ-GTP (U/l)			
	空腹時血糖 (mg/dl)	~99		
血糖検査	(※空腹1時間未満)			
	HbA1c (%)	~5.1		
尿検査	糖	(-)		
	蛋白	(-)		
貧血検査	赤血球 (万/mm ³)	360~509		
	血色素量 (g/dl)	11.0~		
	ヘマトクリット (%)	34.0~43.9		

特定健康診査受診結果

日医クリニック

〒060-0041 北海道札幌市中央区大通東

TEL 0143433550

(2/6)

項目	今回受診	前回受診	前々回受診
	2010年 4月 13日		
心電図検査	所見なし		
眼底検査	所見		

メタボリック シンドローム判定	判定不能		
--------------------	------	--	--

メタボリックシンドローム判定による基準該当と予備群該当

基準該当	予備群該当
↓	↓
腹囲 男性 ≥ 85cm 女性 ≥ 90cm	
+	+
以下のうち2項目以上に該当	以下のうち1項目が該当
脂質 中性脂肪 ≥ 150mg/dl か、つ/または HDLコレステロール < 40mg/dl か、つ/または 服薬中の方	
血圧 収縮期血圧 ≥ 130mmHg か、つ/または 拡張期血圧 ≥ 85mmHg か、つ/または 服薬中の方	
糖代謝 空腹時血糖 ≥ 110mg/dl (ヘモグロビンA1cの値 ≥ 5.5%) か、つ/または 服薬中の方	

検査分野別判定	
---------	--

医師の判断	
判断した医師の氏名	

2.8.日次処理（請求）

2.8.1 日次処理（請求）画面

メインメニューにて日次処理（請求）の項目を選択すると、以下のようなメニュー（一覧）が表示されます。

日次処理（請求）では、受診者の請求処理、請求リスト（日計表）の印刷および請求データの編集を行います。

日次処理(請求)

検索条件を入力し、検索ボタンを押して受診者を検索します。

氏名(カナ) 受診券整理番号 健診実施日 ~

被保険者証等記号 被保険者証等番号

保険者番号

支払代行機関番号

☒ 今年度

	年度	受診券整理番号	氏名(カナ)	氏名(漢字)	性別	生年月日	健診実施日	保険者番号	代行機関番号	被保険者証等記号	被保険者
<input type="checkbox"/>	2010	00000000003	ニチイ ジロウ	日医次郎	男性	19601010	20100422	00000101		あああ	1 1 1
<input type="checkbox"/>	2010	00000000004	ニチイ タロウ	日医太郎	男性	19601010	20100422	00000101		あああ	1 1 1
<input type="checkbox"/>	2010	00000000001	ニチイ ハナコ	日医花子	女性	19600202	20100422	00000101		あああ	1 1 1

※「Ctrl」キー+「Tab」キーを押下する事で「検索」ボタンから一覧に、一覧から「請求処理」ボタンにフォーカス遷移します

上記画面の項目は以下のとおりです。

「受診者検索」

検索条件

請求処理、請求リスト（日計表）印刷、請求データ編集の対象となる受診者の絞り込み条件を入力もしくは選択します。

検索ボタン

検索を実行します。検索を行うと、検索した結果が受診者一覧として表示されます。この一覧では、受診者を選択することができます。

「ボタン」

請求処理ボタン

一覧で選択された受診者に対して、請求処理を行います。

請求リスト印刷ボタン

一覧で選択された受診者に関して請求リスト（日計表）を印刷します。

請求データ編集ボタン

請求処理にて作成された請求データを編集できます。

※チェックした行以外の行を選択して請求や請求データ編集ボタンを押しても、チェックした人に対する処理になります。

戻るボタン

メインメニューに戻ります。

2.8.2.請求対象検索

請求処理の対象となる受診者の検索を行います。検索条件項目に絞込みに必要な情報を入力し、検索ボタンを押すことで、検索を実行することができます。このとき、何も入力していなければ、請求処理を必要とする受診者が表示されます。

※「今年度」チェックボックスの仕様につきましては、別冊「受診者検索仕様(図解)」をご参照下さい。

2.8.3.請求処理

請求処理を行うには、検索にて表示させた受診者一覧から請求処理を行いたい受診者を選択します。受診者を選択したら、請求処理ボタンを押下します。

請求処理にて作成された請求データを編集することができます。

請求データ編集

請求データの編集を行います。値を入力し「再計算」ボタンを押して情報を登録します。

受診券整理番号	00000000003	受診者氏名	ニチイ ジロウ	生年月日	19601010	性別	男性
健診実施日	20100422						

委託料単価区分 ● <input checked="" type="radio"/> 個別 <input type="radio"/> 集団		請求区分	基本的な健診 ▼				その他の健診による負担金額
	単価	受診者の窓口負担	窓口負担(受診券情報)	保険者負担上限額	窓口負担金額(実際の負担額)		
基本的な健診	7460 円	▼		円	0 円	<input type="text"/>	
詳細な健診		▼		円	円		
貧血検査	<input type="text"/> 円						
心電図検査	<input type="text"/> 円						
眼底検査	<input type="text"/> 円						
追加健診		▼		円	円		
人間ドック		▼		円	円		
合計	7460 円			0 円	7460 円		

請求金額

追加健診項目（内訳）

項目番号	項目名	単価（円） [入力]

凡例 入力必須項目 入力可能項目

戻る(F1)
再計算(F11)
登録(F12)

※「Ctrl」キー+「Tab」キーを押下する事で、「追加健診項目（内訳）」から「再計算」ボタンにフォーカス遷移します

必須項目に関しては、フォームの色が黄色に、入力可能な項目は水色になっています。

新たに入力された単価、窓口負担から合計単価、合計窓口負担金額、請求金額を再計算します。

編集された請求データデータを登録します。

メインメニューに戻ります。

2.8.5.請求・決済の処理に関する注意点

請求・決済の仕組み

◆検査項目のグループ化（貧血・心電図・眼底）

1. 保険者マスタの詳細な健診（貧血）に単価を設定
→詳細な健診（貧血）がグループ単価として使用されます。

※心電図、眼底に関しても同じ仕組みになっています。

2. 健診項目マスタの貧血検査の項目に単価を設定
→健診項目マスタの単価が優先され、追加健診扱いになります。

「1.」「2.」両方とも設定されている場合には、「2.（追加の健診扱い）」が優先されます。

このように詳細な健診として、「グループ単価扱い」と「追加の健診として個別扱い」のどちらでも対応できるようになっております。

それぞれ請求したい方法にて保険者マスタ、健診項目マスタの単価を設定していただき、場合によっては請求データ編集画面にて単価を編集することにより（請求内容の）変更も可能です。

また、XML に出力する請求区分に関しては、結果データ入力画面にて

1. 基本的な健診
2. 基本的な健診＋詳細な健診
3. 基本的な健診＋追加の健診
4. 基本的な健診＋詳細な健診＋追加の健診
5. 人間ドック

と選択することにより指定できます。

2.9.月次処理（請求確定/HL7 出力）

2.9.1 月次処理（請求確定/HL7 出力）画面

メインメニューにて月次処理（請求確定/HL7）の項目を選択すると、以下のようなメニュー（一覧）が表示されます。ユーザは、これらの項目から目的の項目を選択します。

月次処理（HL7 出力）では、受診者の請求を確定し、電子的ファイル交換アーカイブ（HL7CDAR2）の出力や請求リスト（月計表、集計表）の印刷を行います。

月次処理(請求確定/HL7出力)

検索条件を入力し、検索ボタンを押して健診データを表示します。
健診データを選択し、画面下部のボタンを押して各処理を開始します。

氏名(カナ) 受診券整理番号 健診実施日 ~
 被保険者証等記号 被保険者証等番号 HL7出力日 ~
 保険者番号
 支払代行機関番号
 ☒ HL7出力済 ☒ 今年度 3件

	年度	日次	受診券整理番号	氏名(カナ)	氏名(漢字)	性別	生年月日	健診実施日	HL7出力日	保険者番号	代行機関番号	被
<input type="checkbox"/>	2010	済	000000000005	ニチイジロウ	てすと	女性	19501010	20100429	20100507	32010415		1 1
<input type="checkbox"/>	2010	済	000000000003	ニチイタロウ	てすと	女性	19501010	20110101		32010415		1 1
<input type="checkbox"/>	2010	済	000000000003	ニチイハナコ	てすと	女性	19501010	20100428	20100506	32010415		1 1

※「Ctrl」キー+「Tab」キーを押下する事で「検索ボタン」から一覧に、一覧から「請求確定」ボタンにフォーカス遷移します

「受診者検索」

検索条件

請求確定・HL7 出力・請求リスト印刷の対象となる受診者の絞り込み条件を入力もしくは選択します。

検索ボタン

検索を実行します。検索を行うと、検索した結果が受診者一覧として表示されます。この一覧では、受診者を選択することができます。

「ボタン」

請求確定ボタン

一覧で選択された受診者の、請求を確定します。

HL7 出力ボタン

請求が確定した受診者に関して、HL7 ファイルを出力します。

請求リスト印刷ボタン

請求処理が完了した受診者に関して請求リスト（月計表・集計表）を印刷します。

チェックした行以外の行を選択して請求確定ボタンや HL7 出力ボタン、請求リスト印刷ボタンを押しても、チェックした人に対しての処理になります。

※集計表は 1 回の請求処理につき最大 20 件まで出力されます。

戻るボタン

メインメニューに戻ります。

2.9.2.請求・HL7 出力対象検索

請求・HL7 出力の対象となる受診者の検索を行います。検索条件項目に絞込みに必要な情報を入力し、検索ボタンを押すことで、検索を実行することができます。このとき、何も入力していなければ、請求処理を必要とする受診者が表示されます。

※「HL7 出力済」「今年度」チェックボックスの仕様につきましては、別冊「受診者検索仕様(図解)」をご参照下さい。

2.9.3.請求確定

請求確定を行うには、受診者一覧の日次列（下図の赤枠）で「済」となっている中から、請求を確定させたい受診者を選択します。受診者を選択後、請求確定ボタンを押下します。

未処理、または請求確定後は、日次列が「未」の状態が表示されます。

例) 請求確定実施前から実施後の状態

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

月次処理(請求確定/HL7出力)

検索条件を入力し、検索ボタンを押して健診データを表示します。
健診データを選択し、画面下部のボタンを押して各処理を開始します。

氏名(カナ) 受診券整理番号 健診実施日 ~
 被保険者証等記号 被保険者証等番号 HL7出力日 ~
 保険者番号
 支払代行機関番号

☒ HL7出力済 ☒ 今年度

	年度	日次	受診券整理番号	氏名(カナ)	氏名(漢字)	性別	生年月日	健診実施日	HL7出力日	保険者番号	代行機関番号	被
<input type="checkbox"/>	2010	済	000000000005	ニチイジロウ	てすと	女性	19501010	20100429	20100507	32010415		1 1
<input type="checkbox"/>	2010	済	000000000003	ニチイタロウ	てすと	女性	19501010	20110101		32010415		1 1
<input type="checkbox"/>	2010	済	000000000003	ニチイハナコ	てすと	女性	19501010	20100428	20100506	32010415		1 1

戻る(F1)

請求確定ボタンを押下

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

月次処理(請求確定/HL7出力)

検索条件を入力し、検索ボタンを押して健診データを表示します。
健診データを選択し、画面下部のボタンを押して各処理を開始します。

氏名(カナ) 受診券整理番号 健診実施日 ~
 被保険者証等記号 被保険者証等番号 HL7出力日 ~
 保険者番号
 支払代行機関番号

☒ HL7出力済 ☒ 今年度

	年度	日次	受診券整理番号	氏名(カナ)	氏名(漢字)	性別	生年月日	健診実施日	HL7出力日	保険者番号	代行機関番号	被
<input checked="" type="checkbox"/>	2010	未	000000000005	ニチイジロウ	てすと	女性	19501010	20100429	20100507	32010415		1 1
<input checked="" type="checkbox"/>	2010	未	000000000003	ニチイタロウ	てすと	女性	19501010	20110101		32010415		1 1
<input checked="" type="checkbox"/>	2010	未	000000000003	ニチイハナコ	てすと	女性	19501010	20100428	20100506	32010415		1 1

戻る(F1)

2.9.4.HL7 出力

請求処理がすんだ受診者の HL7 ファイルを生成し、出力します。請求処理が完了していない場合は、HL7 ファイル出力はできません。

※HL7 ファイル出力場所は表示されるダイアログで指定してください。

(アプリケーションインストールディレクトリの Data/HL7 にはファイルが 10 件まで保存されます。)

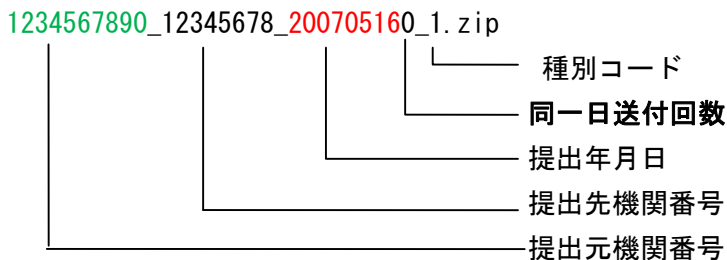
- ・ Windows Xp の場合、デフォルトは「C:\¥Documents and Settings¥ユーザ名¥デスクトップ」
- ・ Windows Vista の場合、デフォルトは「C:\¥Users¥ユーザ名¥Desktop」

となります。

媒体送付する場合は、基金・連合会より配付された暗号化ソフトを使って暗号化する必要があります。
暗号化ソフト名称は「健診等データ暗号化・複合化ソフト」になります。

※ 暗号化ソフトは基金・連合会より申込後、配付されます。

2.9.5.Zipファイル名命名規則



※ 同一日送付回数は 0 から 9 までです。

同一日送付回数が 9 を超える場合は過去に出力した同一日送付回数が 0～9 のファイルが全て削除され、新たに 0 から配番されます。

2.9.6.HL7 データ容量について

※Zip ファイルでの圧縮後のサイズです。

- ・ 共通データ部
スキーマファイル、集計データ部分は合わせて 100KB
- ・ 個人ごとデータ部
個人ごとの健診結果データ、決済データは合わせて 4KB/1 人

FD の容量を 1.44MB とすると

$$1440\text{KB} - 100 = 1340\text{KB}$$

$$1340 / 4 = 335 \text{ (人)} \cdots \text{およそ 300 人程度が 1 枚の FD にコピーできます。}$$

CD の容量を 650MB とすると

$$650000\text{KB} - 100 = 649900$$

$$649900 / 4 = 162,475 \text{ (人)} \text{ およそ 16 万人程度が 1 枚の CD にコピーできます。}$$

2.10. 健診項目マスタメンテナンス

2.10.1. 健診項目マスタメンテナンス画面

マスタメンテナンスメニューにて健診項目マスタメンテナンスの項目を選択すると、以下のようなメニュー（一覧）が表示されます。ユーザはこれらの項目から目的の項目を選択します。

健診マスタメンテナンスでは、特定健診における各健診項目について、保険者ごとに、すべての検査項目で利用する健診項目情報を編集することができます。これは、あらかじめ登録されている基準値の上限下限や、その健診項目実施が必須であるかなどの情報が、健診機関ごとに異なる場合、それを反映するための機能です。ここで編集されたデータはすべての健診項目および判定処理に影響を及ぼします。

そのため、健診項目マスタメンテナンスは、専門の知識を有する者以外は利用しないでください。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

健診項目マスタメンテナンス | 編集

下表の健診項目（必須フラグ、基準値、単価、備考）を入力後、登録します。

保険者番号 00000101:社会保険庁

項目コード	項目名	検査方法	必須フラグ...	基準値下限...	基準値上限...	基準値下限...	基準値上限...	単位	入力下限値	入力...
9N001000000000001	身長		1					cm	100.0	
9N006000000000001	体重		1					kg	20.0	
9N011000000000001	BMI		1	18.5	24.9	18.5	24.9	kg/m2	10.0	
9N021000000000001	内臓脂肪面積		1					cm2		
9N016160100000001	腹囲(実測)	実測	1					cm	40.0	
9N016160200000001	腹囲(自己判定)	自己測定	1					cm	40.0	
9N016160300000001	腹囲(自己申告)	自己申告	1					cm	40.0	
9N026000000000002	肥満度		3					%		
9N051000000000049	業務歴		3							
9N056000000000011	既往歴		1							
9N056160400000049	具体的な既往歴		1							
9N061000000000011	自覚症状		1							
9N061160800000049	自覚症状所見		1							
9N066000000000011	他覚症状		1							
9N066160800000049	他覚所見		1							
9N071000000000049	その他(家族歴等)		3							
9N076000000000049	視診(口腔内含む)		3							
9N081000000000049	打聴診		3							

※必須フラグ ... 1: 特定健診 2: 詳細な健診 3: 追加の健診
凡例 入力可能項目

戻る(F1) 取込(F4) 書出(F5) 登録(F12)

※「Ctrl」キー+「Tab」キーを押下する事で「保険者番号」から一覧に、一覧から「登録」ボタンにフォーカス遷移します。

※入力されている値はサンプルです。

画面には、すでに登録されている健診項目の一覧が画面に表示されます。表示された健診項目はセルをクリックすることで選択状態にすることができます。

上記画面の項目は以下のとおりです。

必須項目に関しては、フォームの色が入力可能な項目は水色になっています。

保険者番号

健診項目を編集する対象の保険者を選択します。

「健診項目一覧」

項目コード

あらかじめ登録されている、特定健診項目コードが表示されます。

項目名

あらかじめ登録されている、特定健診項目名が表示されます。

検査方法

あらかじめ登録されている、特定健診項目の検査方法が表示されます。

必須フラグ

特定健康診査項目（1～3）の種類を入力します。

その際、必須フラグは、半角数字のみで入力します。

入力する値は以下のとおりです。

1：特定健診 2：詳細な健診 3：追加の健診

基準値（男性）上限

男性の基準値の上限を入力します。

その際、半角数字のみで入力します。

基準値（男性）下限

男性の基準値の下限を入力します。

その際、半角数字のみで入力します。

基準値（女性）上限

女性の基準値の上限を入力します。

その際、半角数字のみで入力します。

基準値（女性）下限

女性の基準値の下限を入力します。

その際、半角数字のみで入力します。

単位

該当する健診項目の検査結果に付加される単位を入力します。

入力下限値

入力される下限値が表示されます。

これは、健診結果入力の際に、誤った数値を入力させないようにするものです。

入力不可となっています。

入力上限値

入力される上限値が表示されます。

これは、健診結果入力の際に、誤った数値を入力させないようにするものです。

入力不可となっています。

基準値範囲

該当する健診項目の基準値の範囲を表示します。

この項目は、印刷時に受診者に対して基準値がどの範囲に分布するのかを提示するものです。入力不可となっています。

単価

該当する健診項目の単価を入力します。

その際、半角数字のみで入力します。

備考

備考があれば入力します。

「ボタン」

登録ボタン

入力されたデータを登録します。

取込ボタン

健診項目データを取込みます。

※取込時に既存データを上書きします。

※詳細は「[2.10.3.CSVファイルについて](#)」をご参照ください。

書出ボタン

保険者番号毎に健診項目データを CSV ファイル形式で書出します。

戻るボタン

マスターメンテナンスメニューに戻ります。

2.10.2.健診項目の編集

健診項目の編集を行うには、編集を行いたい保険者を選択します。

このとき、「99999999: マスタデータ編集」を選択すると、特定健診ソフトウェアで利用するマスタデータ項目に対して編集を行うことができます。

編集したデータは、次に登録する保険者へ単価の設定や基準値の設定がコピーされます。

保険者を選択すると、項目一覧から編集したい健診項目を選択します。その後、変更したいセルをダブルクリックすることで入力状態にすることができます。

入力状態になったあとは、値や文字列など各項目にあったものを入力します。その際、数値は半角のみで入力してください。

2.10.3.CSVファイルについて

健診項目メンテナンスでは、保険者番号毎に登録した健診項目データを CSV ファイルに書き出し、取込みを行います。

CSV ファイルレイアウトは、以下の構成となっています。

項目名	DB 定義名	備考
保険者番号	HKNJANUM	
項目コード	KOUMOKU_CD	結果識別を含む（項目コード+結果識別）
必須フラグ	HISU_FLG	1：特定健診 2：詳細な健診 3：追加健診
男性基準値上限値	DS_JYOUGEN	
男性基準値下限値	DS_KAGEN	
女性基準値上限値	JS_JYOUGEN	
女性基準値下限値	JS_KAGEN	
単位	TANI	cm、mg/dL、mmHg、%、IU/I37℃、g/dL など
単価	TANKA_KENSIN	
備考	BIKOU	

データを追加したい場合は、各項目を「,」で区切りながら入力します。

また、元のデータを利用して追加したい場合は、書き出したファイルに上記フォーマットを基に行データを追加してから、取込を行います。

< CSV ファイル名命名規則 >

KenshinMaster20100519_1.csv

KenshinMaster ———— メンテナンス名称
 20100519 ———— 書出し日
 1 ———— 同一日回数

例)

```
HKNJANUM,KOUMOKU_CD,HISU_FLG,DS_JYOUGEN,DS_KAGEN,JS_JYOUGEN,JS_KAGEN,TANI,TANKA_KENSIN,BIKOU
00000101,9N0010000000000001,1,,,,,cm,1000,
00000101,9N0060000000000001,1,,,,,kg,,
00000101,9N0110000000000001,1,24.900,18.500,24.900,18.500,kg/m2,,
00000101,9N0210000000000001,1,,,,,cm2,,
00000101,9N0161601000000001,1,,,,,cm,,
00000101,9N0161602000000001,1,,,,,cm,,
00000101,9N0161603000000001,1,,,,,cm,,
00000101,9N0260000000000002,3,,,,,%,
00000101,9N0510000000000049,3,,,,,,
```

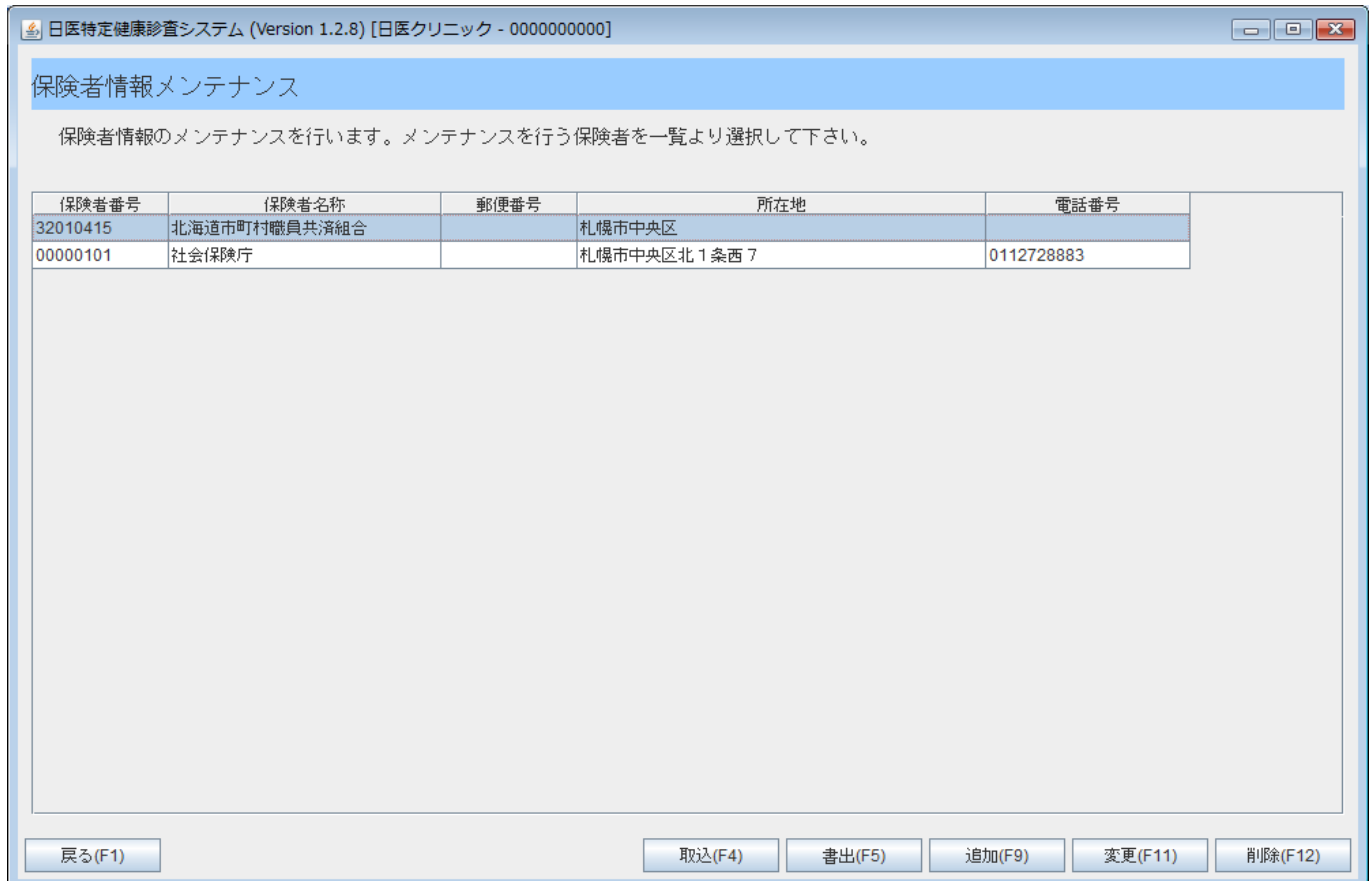
※入力されている値はサンプルです。

2.11.保険者情報メンテナンス

2.11.1.保険者情報メンテナンス画面

マスタメンテナンスメニューにて保険者情報メンテナンスの項目を選択すると、以下のようなメニュー（一覧）が表示されます。ユーザは、これらの項目から目的の項目を選択します。

保険者情報メンテナンスでは、受診者が利用する保険者の情報を本ソフトウェアに登録することができます。また、表示されている保険者のセルを選択し、変更ボタンをクリックすることで登録されている保険者情報を編集することができます。



保険者番号	保険者名称	郵便番号	所在地	電話番号
32010415	北海道市町村職員共済組合		札幌市中央区	
00000101	社会保険庁		札幌市中央区北 1 条西 7	0112728883

- ※ 一覧内のフォーカス遷移は「↑」「↓」キー押下で行います。
 - ※ 一覧内で「Enter」キーを押下すると「追加編集」画面に遷移します。
 - ※ 「Ctrl」キー+「Tab」キーを押下する事で一覧から「追加」ボタンにフォーカス遷移します。
- 上記画面の項目は以下のとおりです。

取込

保険者データを取込みます。

※取込時に既存データを上書きします。

※詳細は「[2.11.5. CSVファイルについて](#)」をご参照ください。

書出

登録した保険者情報を CSV ファイル形式で書出します。

追加

新たに保険者を追加します。

変更

選択された一つの保険者について編集を行います。

削除

選択された保険者を削除します。

戻る

マスタメンテナンスメニューに戻ります。

2.11.2.保険者追加

保険者情報メンテナンス画面で追加ボタンを押すと、保険者情報追加画面が表示されます。

保険者情報を追加するには、保険者番号を入力しエンターキーを押し、他の項目についても入力可能にする必要があります。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

保険者情報メンテナンス | 追加・編集

保険者番号を入力後、Enterキーを押して保険者情報を作成します。
各項目を入力後、「登録」ボタンを押して入力内容を登録します。

保険者情報

保険者番号 (半角数字8桁)
 保険者名称 (全角100文字以内、半角可)
 郵便番号 (半角数字7桁) 電話番号 (半角数字11桁以内)
 所在地 (全角100文字以内、半角可)
 地番方書 (全角100文字以内、半角可)
 記号 (全角40文字以内、半角可)

単価履歴情報

有効期限 ~
☒ 1: 基本健診 委託料単価区分 (1: 個別健診 2: 集団健診)
 単価 (基本的な健診) 円 (半角数字9桁以内)
 単価 (貧血検査) 円 (半角数字9桁以内)
 単価 (心電図検査) 円 (半角数字9桁以内)
 単価 (眼底検査) 円 (半角数字9桁以内)
☐ 2: 人間ドック 単価 (人間ドック) 円 (半角数字9桁以内)

上記画面の項目は以下のとおりです。

必須項目に関しては、フォームの色が黄色になっています。

「保険者情報」

保険者番号

登録する保険者番号を入力します。

その際、保険者番号は、半角数字のみで入力します。

日レセ読込ボタン

保険者番号が入力されている状態でなおかつ、現在利用している特定健診機関が日医標準レセプトソフトと連携しているとき、日医標準レセプトソフトから、該当する保険者番号の情報を格納します。

保険者名称

登録する保険者の名称を入力します。

郵便番号

ハイフン無し半角数字のみで入力します。

登録済の郵便番号マスタから自動検索し、所在地欄に該当の住所が反映されます。

※郵便番号マスタは Ver1.2.8 から適応されており、市町村の合併等に変更があった場合、適宜更新されます。

所在地

郵便番号で自動検索された住所が反映されます。

※該当する住所が無かった場合、手入力します。

地番方書

登録する保険者の地番方書を入力します。

※英数字も「全角」で、ハイフンは「ー(長音)」で入力します。

電話番号

登録する保険者の電話番号を入力します。

その際、電話番号は、半角数字のみで入力します。

記号

登録する保険者の記号を入力します。

「単価履歴情報」

有効期限

有効期限開始、有効期限終了を入力します。

※デフォルト値は以下の通り

有効期限開始:初期設定値()

有効期限開始:年度末日(2010/03/31)※XXXX:年

基本健診・人間ドック選択ラジオボタン

1. 基本的な健診か 2. 人間ドックかを選択します。

入力フィールドに 1 もしくは 2 を入力すると自動的にチェックされます。

委託料単価（個別・集団）区分

登録する保険者の委託料区分を選択します。

単価（基本的な健診）

登録する保険者の単価（基本的な健診）を入力します。

その際、単価は、半角数字のみで入力します。

基本健診・人間ドック選択ラジオボタンで「1. 基本的な健診」を選択した場合に入力可能です。

単価（貧血検査）

登録する保険者の貧血検査の単価を入力します。

その際、単価は、半角数字のみで入力します。

基本健診・人間ドック選択ラジオボタンで「1. 基本的な健診」を選択した場合に入力可能です。

単価（心電図検査）

登録する保険者の心電図検査の単価を入力します。

その際、単価は、半角数字のみで入力します。

基本健診・人間ドック選択ラジオボタンで「1. 基本的な健診」を選択した場合に入力可能です。

単価（眼底検査）

登録する保険者の眼底検査の単価を入力します。

その際、単価は、半角数字のみで入力します。

基本健診・人間ドック選択ラジオボタンで「1. 基本的な健診」を選択した場合に入力可能です。

単価（人間ドック）

登録する保険者の人間ドックの単価を入力します。

基本健診・人間ドック選択ラジオボタンで「2. 人間ドック」を選択した場合に入力可能です。

「ボタン」**登録ボタン**

入力されたデータを、特定健診ソフトウェアに登録します。

クリアボタン

画面に表示されているデータをクリアします。

戻るボタン

登録せずに保険者情報メンテナンス画面に戻ります。

2.11.3.保険者編集

保険者情報メンテナンス画面で編集ボタンを押すと、保険者情報メンテナンス編集画面が表示されます。保険者情報を編集するには、入力済の内容を修正し「登録(F11)」ボタンを押下することにより登録されます。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

保険者情報メンテナンス | 追加・編集

保険者番号を入力後、Enterキーを押して保険者情報を作成します。
各項目を入力後、「登録」ボタンを押して入力内容を登録します。

保険者情報

保険者番号 (半角数字8桁)
 保険者名称 (全角100文字以内、半角可)
 郵便番号 (半角数字7桁) 電話番号 (半角数字11桁以内)
 所在地 (全角100文字以内、半角可)
 地番方書 (全角100文字以内、半角可)
 記号 (全角40文字以内、半角可)

単価履歴情報

有効/無効	有効期限開始	有効期限終了	履歴番号	委託単価区分	基本的な健診	貧血検査	心電図検査	眼底検査	人間ドック
<input checked="" type="radio"/>	20090401	20100331	1	1	7,460	900	1,600	1,200	

有効期限 ~

☒ 1: 基本健診 委託料単価区分 (1: 個別健診 2: 集団健診)
 単価 (基本的な健診) 円 (半角数字9桁以内)
 単価 (貧血検査) 円 (半角数字9桁以内)
 単価 (心電図検査) 円 (半角数字9桁以内)
 単価 (眼底検査) 円 (半角数字9桁以内)
☐ 2: 人間ドック 単価 (人間ドック) 円 (半角数字9桁以内)

「保険者情報」

保険者名称～記号※2.12.2.保険者追加を参照

「ボタン」

クリアボタン

保険者情報に入力された情報をクリアします。

登録ボタン

保険者情報に入力された情報を登録します。

「単価履歴情報」

単価履歴情報枠内の一覧、各入力フィールド項目について説明します。

有効/無効[※一覧]

請求における有効な単価情報が、「有効」又は「無効」を表示します。

有効期限開始[一覧、入力]

有効な単価情報の有効期限の開始年月日を表示(入力)します。

有効期限終了[一覧、入力]

有効な単価情報の有効期限の終了年月日を表示(入力)します。

履歴番号[一覧]

履歴番号を表示します。

履歴 1 件追加する毎、1 ずつ増加します。削除した番号はそのまま欠番となります。

※デフォルト値 1（委託単価区分（1:個別、2:集団）毎に 1 加算）

委託単価区分[一覧、入力]

個別健診の場合「1:個別」、集合健診の場合「2:集合」を表示します。

単価（基本的な健診）[一覧、入力]

基本的な健診の単価を表示(入力)します。

単価（貧血検査）

貧血検査の単価を表示(入力)します。

単価（心電図検査）

心電図検査の単価を表示(入力)します。

単価（眼底検査）

眼底検査の単価を表示(入力)します。

単価（人間ドック）

人間ドックの単価を表示(入力)します。

※一覧画面又は、入力フィールドの説明

「ボタン」

クリアボタン

単価履歴情報枠内の情報をクリア後、有効期限開始フィールドへ移動します。

削除ボタン

「契約情報（単価履歴）」の一覧で選択状態であるレコードを削除します。

※削除を行うレコードの単価情報が「有効」の場合、

以下のエラーメッセージが表示されます。

「選択された単価レコードは現在有効になっている為、削除できません」

登録ボタン

「契約情報（単価履歴）」の一覧での選択行（単価情報）を更新します。

※「契約情報（単価履歴）」の一覧で有効期限開始から有効期限終了が重複しない場合、
確認メッセージ「新たな有効期限の単価情報を追加登録しますか?」が表示されます。

＜追加「はい」＞

確認メッセージで「はい[追加]」を選択した場合、新規追加します。

＜更新「いいえ」＞

確認メッセージで「いいえ[更新]」を選択した場合、一覧の選択行を更新します。

＜中止「キャンセル」＞

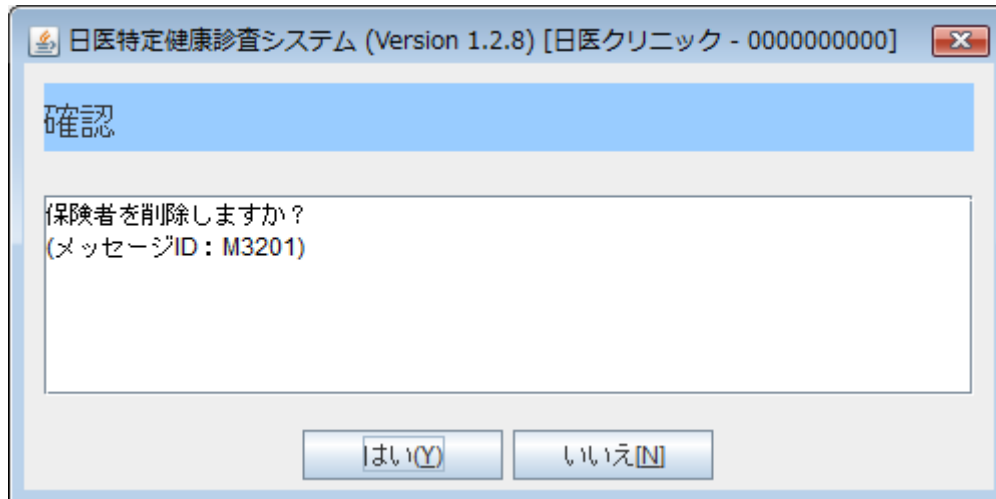
確認メッセージで「キャンセル[中止]」を選択した場合、登録を中止します。

戻るボタン

登録せずに保険者情報メンテナンス画面に戻ります。

2.11.4.保険者削除

保険者情報メンテナンス画面で、ひとつの保険者を選択した状態で削除ボタンを押すと、その保険者を特定健診ソフトウェアから削除することができます。その際、以下のようなメッセージが入力されます。



「はい」を押すと、保険者データの削除が実行されます。

ただし、保険者を削除した場合、その保険者を利用する受診者の各種処理ができなくなりますので、一度登録した保険者情報は削除しないことをお勧めします。

2.11.5.CSVファイルについて

保険者情報メンテナンスでは、登録したデータを CSV ファイルに書き出し、取込みを行います。

CSV ファイルレイアウトは、以下の構成となっています。

項目名	DB 定義名	備考
保険者番号	HKNJANUM	
保険者名称	HKNJANAME	
郵便番号	POST	
所在地	ADRS	
地番方書	BANTI	
電話番号	TEL	
記号	KIGO	
給付割合 (本人・外来)	HON_GAIKYURATE	国民健康保険の本人外来の給付割合
給付割合 (本人・入院)	HON_NYUKYURATE	国民健康保険の本人入院の給付割合
給付割合 (家族・外来)	KZK_GAIKYURATE	国民健康保険の家族外来の給付割合
給付割合 (家族・入院)	KZK_NYUKYURATE	国民健康保険の家族入院の給付割合
委託料単価 (個別・集団) 区分	ITAKU_KBN	委託料単価の種別
単価 (基本的な健診)	TANKA_KIHON	
貧血検査コード	HINKETU_CD	1 : 貧血検査
単価 (貧血検査)	TANKA_HINKETU	

心電図検査コード	SINDENZU_CD	2：心電図検査
単価（心電図検査）	TANKA_SINDENZU	
眼底検査コード	GANTEI_CD	3：眼底検査
単価（眼底検査）	TANKA_GANTEI	
単価（人間ドック）	TANKA_NINGENDOC	
単価判定	TANKA_HANTEI	1：基本健診（貧血検査、心電図検査、眼底検査） 2：人間ドック
履歴番号	HKNJYA_HISTORY_NO	委託単価区分毎に1つつ加算
有効期限開始	HKNJYA_LIMITDATE_START	
有効期限終了	HKNJYA_LIMITDATE_END	
有効フラグ	YUKOU_FLG	1：有効 ※保険者に対して1つ 0：無効

データを追加したい場合は、各項目を「,」で区切りながら入力します。

また、元のデータを利用して追加したい場合は、書き出したファイルに上記フォーマットを基に行データを追加してから、取込を行います。

< CSV ファイル名命名規則 >

HokenjyaMaster20100519_1.csv

同一日回数
書出し日
メンテナンス名称

例)

HKNJANUM	HKNJANAME	POST	ADRS	BANTI	TEL	KIGO	HON_GAIKYURATE	HON_NYUKYURATE	KZK_GAIKYURATE	KZK_NYUKYURATE	ITAKU_KBN	TANKA_KIHON	HINKETU_CD	TANKA_HINKETU	SINDENZU_CD	TANKA_SINDENZU	GANTEI_CD	TANKA_GANTEI	TANKA_NINGENDOC	TANKA_HANTEI	1.HKNJYA_HISTORY_NO	HKNUYA_LIMITDATE_START	HKNUYA_LIMITDATE_END	YUKOU_FLG
000000001	日医	2	06000001	北海道札幌市中央区北一条西	,, ,,, ,,	1,2000	,3000	2,4000	3,5000	3500	1,2	20100401	20120331	1										
000000001	日医	2	06000001	北海道札幌市中央区北一条西	,, ,,, ,,	1,1000	0,2	0,3	0,0	1,1	20090401	20100331	0											
22222222	日医	1	06000000	北海道札幌市中央区	,, ,,, ,,	1,100	200	2,300	3,400	1,1	20100110	20111010	1											

※入力されている値はサンプルです。

※注意事項

保険者情報と健診項目は、保険者番号で紐付けされています。その為、保険者情報を取込むと、健診項目のデータは初期化されます。

既存の健診項目データを利用したい場合は、保険者情報を取込む前に、健診項目マスタメンテナンスでデータを書出して下さい。保険者情報を取込んだ後に該当の健診項目データを取込む事で、元のデータを利用する事が出来ます。

2.12.健診パターンメンテナンス

2.12.1.健診パターンメンテナンス画面

マスタメンテナンスメニューにて健診パターンメンテナンスの項目を選択すると、以下のようなメニュー（一覧）が表示されます。ユーザは、これらの項目から目的の項目を選択します。

健診パターンメンテナンスでは、特定健診に用いる一連の検査項目（健診項目パターン）を作成することができます。

特定健診では、すべての受診者が受診しなければならない基本的な健診項目が定められています。それに加え、貧血検査・心電図検査・眼底検査の3つの項目からなる詳細な健診項目を実施することができます。また、特定健診では医療保険者による追加健診項目の上乗せ実施が可能となっています。

このように、健診を行う際に用いる健診パターンの追加や編集を行う場合に、健診パターンメンテナンスを行います。

健診パターンNo	健診パターン名称	備考
1	特定健診	
2	特定健診+詳細な健診	
3	基本+詳細+追加(独自込...	
4	取込用	

- ※ 一覧内のフォーカス遷移は「↑」「↓」キー押下で行います。
- ※ 一覧内で「Enter」キーを押下すると「編集」画面に遷移します。
- ※ 「Ctrl」キー+「Tab」キーを押下する事で一覧から「新規追加」ボタンにフォーカス遷移します。

上記画面の項目は以下のとおりです。

取込

健診パターンデータを取込みます。

※取込時に既存データを上書きします。

※詳細は「[2.12.6. CSVファイルについて](#)」をご参照ください。

書出

登録した健診パターンを CSV ファイル形式で書出します。

新規追加ボタン

新たに健診パターンを追加します。

パターン名称編集ボタン

現在登録されている健診パターンの名称の編集を行います。

パターン編集ボタン

選択された健診パターンの編集を行います。

複製ボタン

健診パターンの複製を行います。

これは、ある健診パターンにいくつかの健診を加えた健診パターンを作成する際に、1 からすべての項目を入力する手間を省くためのものです。

削除ボタン

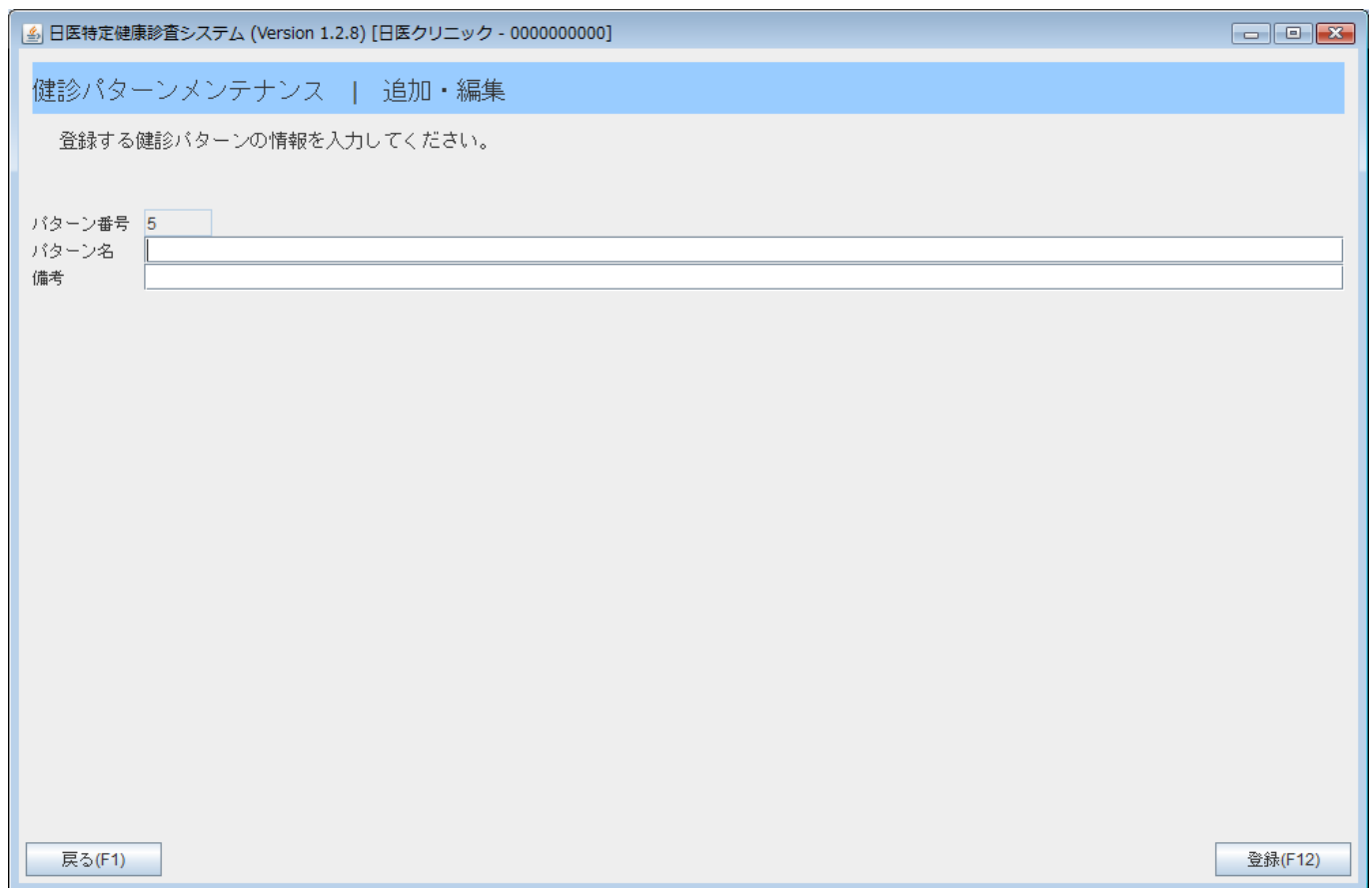
選択された健診パターンを削除します。

戻るボタン

マスタメンテナンスメニューに戻ります。

2.12.2.健診パターン追加

健診パターンメンテナンス画面で、新規追加ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。



日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

健診パターンメンテナンス | 追加・編集

登録する健診パターンの情報を入力してください。

パターン番号 5

パターン名

備考

戻る(F1) 登録(F12)

※入力されている値はサンプルです。

上記画面の項目は以下のとおりです。

パターン番号

システム内部で取り扱う番号です。自動的に入力されます。

パターン名

登録する健診パターンの名称を入力します。

備考

備考があれば入力します。

「ボタン」

登録ボタン

入力された情報を、特定健診ソフトウェアに登録します。

戻るボタン

健診パターンメンテナンス画面に戻ります。

2.12.3.健診パターン編集

健診パターンメンテナンス画面で、パターン編集ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

健診パターンメンテナンス | 編集

右表<<健診項目マスタの内容>>から登録する健診項目を選択し、左矢印(←)ボタンを押下し左表<<選択パターンの内容>>へ追加後、登録ボタンを押下してください。項目順を変更する場合は、上(↑)下(↓)移動して下さい。

パターン名 健診パターン

<<選択パターンの内容>>

項目コード	項目名	検査方法
9N0010000000000001	身長	
9N0060000000000001	体重	
9N0110000000000001	BMI	
9N0210000000000001	内臓脂肪面積	
9N0161601000000001	腹囲(実測)	実測
9N0161602000000001	腹囲(自己判定)	自己測定
9N0161603000000001	腹囲(自己申告)	自己申告
9N0560000000000011	既往歴	
9N0561604000000049	具体的な既往歴	
9N0610000000000011	自覚症状	
9N0611608000000049	自覚症状所見	
9N0660000000000011	他覚症状	
9N0661608000000049	他覚所見	
9A7550000000000001	収縮期血圧(その他)	その他
9A7520000000000001	収縮期血圧(2回目)	2回目
9A7510000000000001	収縮期血圧(1回目)	1回目
9A7650000000000001	拡張期血圧(その他)	その他
9A7620000000000001	拡張期血圧(2回目)	2回目
9A7610000000000001	拡張期血圧(1回目)	1回目
9N1410000000000011	採血時間(食後)	

↑ (Alt+W)

← (Alt+A)

→ (Alt+S)

↓ (Alt+Z)

<<健診項目マスタの内容>>

項目コード	項目名	検査方法
9N0260000000000002	肥満度	
9N0510000000000049	業務歴	
9N0710000000000049	その他(家族歴等)	
9N0760000000000049	視診(口腔内含む)	
9N0810000000000049	打聴診	
9N0860000000000049	触診(関節可動域含む)	
9N0910000000000001	反復唾液嚥下テスト	
9N1210000000000001	心拍数	
3F050000002327101	総コレステロール	可視吸光度法(コレ...
9N2261612000000049	胸部X線検査(間接撮影)...	間接撮影
6A010160706170411	喀痰検査(塗抹鏡検 一般...	
6A010160806170449	喀痰検査(塗抹鏡検 一般...	
6A205000006171711	喀痰検査(塗抹鏡検 抗酸...	
6A205165606171711	喀痰検査(ガフキー号数)	
7A010000006143311	喀痰細胞診検査	
9N2510000000000011	胸部CT検査(がん)	
9N2511607000000011	胸部CT検査(所見の有無)	
9N2511608000000049	胸部CT検査(所見)	
9N2511611000000049	胸部CT検査(撮影年月日)	
9N2511612000000049	胸部CT検査(フィルム番	

戻る(F1)

操作取消(F11)

登録(F12)

健診パターンを編集するには、画面右に表示されている、特定健診ソフトウェアにあらかじめ登録されている健診項目から、画面中央の矢印ボタンを押すことで行うことができます。

各健診項目は選択することで、移動の対象とすることができます。

また、複数行を移動の対象とする場合は、「Shift」キーを押下したまま選択（またはマウスでドラッグ）することで行うことができます。その後、画面中央の矢印ボタンを押すことで、複数行選択した状態で移動を行うことができます。

※「Ctrl」キー+「Tab」キーを押下する事で一覧から「↑」ボタンにフォーカス遷移します。

上記画面の項目は以下のとおりです。

「↑」ボタン

左表内で選択した項目を上に移動することができます。

「←」ボタン

右側の項目のうち、選択されたものを編集中の健診パターンに追加します。

項目は左表の選択状態になった項目の下に追加されます。

「→」ボタン

左側の項目のうち、選択されたものを編集中の健診パターンから除外します。

除外された項目は右表の選択状態になった項目の上に追加されます。

「↓」ボタン

選択した項目を下に移動することが出来ます。

※当画面で登録した順番で健診・問診結果データ入力画面に表示されます。

登録ボタン

入力されたデータを、特定健診ソフトウェアに登録します。

操作取り消しボタン

編集内容を元の状態に戻します。

戻るボタン

健診パターンメンテナンス画面に戻ります。

2.12.4.健診パターン複製

健診パターンメンテナンス画面で、複製ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。

上記画面の項目は以下のとおりです。

パターン名

複製元となるパターン名が表示されます。

複製先につける名称

複製先につけるパターン名称を入力します。

備考

複製先のパターンの備考を入力します。

登録ボタン

複製を行い、新たなパターンを特定健診ソフトウェアに登録します。

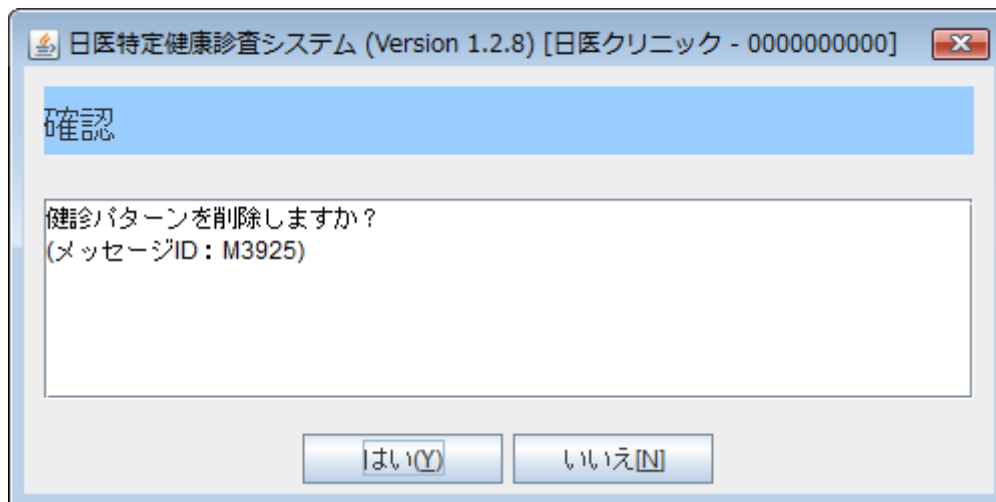
キャンセルボタン

健診パターンマスタメンテナンス画面に戻ります。

健診パターンの複製を行うには、パターン名項目で複製元パターンを選択し、複製先につける名称を入力し、決定ボタンを押します。

2.12.5. 健診パターン削除

健診パターンマスタメンテナンス画面で、ひとつの健診パターンを選択した状態で削除ボタンを押すと、その健診パターンを特定健診ソフトウェアから削除することができます。その際、以下のようなメッセージが入力されます。



「はい」を押すと、健診パターンの削除が実行されます。

2.12.6.CSVファイルについて

健診パターンメンテナンスでは、登録したデータを CSV ファイルに書き出し、取込みを行います。
CSV ファイルレイアウトは、以下の構成となっています。

項目名	DB 定義名	備考
健診パターン No.	K_P_NO	
健診パターン名称	K_P_NAME	
備考	BIKOU	
項目並び順	LOW_ID	健診パターン詳細の項目並び順を 1 から格納
項目コード	KOUMOKU_CD	結果識別を含む（項目コード＋結果識別）

データを追加したい場合は、各項目を「,」で区切りながら入力します。

また、元のデータを利用して追加したい場合は、書き出したファイルに上記フォーマットを基に行データを追加してから、取込を行います。

< CSV ファイル名命名規則 >

KenshinPatternMaster20100519_1.csv



例)

```
K_P_NO,K_P_NAME,BIKOU,LOW_ID,KOUMOKU_CD
3,全部込み,1,9N0010000000000001,2,9N0060000000000001,3,9N0110000000000001,4,9N0210000000000001,5,9N0161601000000001,6,9N0161602000000001,7,9N0161603000000001,8,9N0260000000000002,9,9N0510000000000004,10,9N0560000000000001,11,9N0561604000000004,12,9N0610000000000011,13,9N0611608000000004,14,9N0660000000000011,15,9N0661608000000004,16,9N0710000000000004,17,9N0760000000000004,18,9N0810000000000004,19,9N0860000000000004,20,9N0910000000000001,21,9A75000000000001,22,9A75200000000001,23,9A7510000000000001,24,9A7600000000000001,25,9A7620000000000001,26,9A7610000000000001,27,9N1210000000000001,28,9N1410000000000001,29,3F050000002327101,30,9N2261612000000004,31,9N5010000000000011,32,6A010160706170411,33,6A010160806170449,34,6A205000006171711,35,6A205165606171711,36,7A010000006143311,37,9N2510000000000011,38,9N2511607000000011,39,9N2511608000000004,40,9N2511611000000004,41,9N2511612000000004,42,9N2561607000000011,43,9N2561608000000004,44,9N2561611000000004,45,9N2561612000000004,46,9N2611607000000011,47,9N2611608000000004,48,9N2611611000000004,49,9N2611612000000004,50,9N2661607000000011,51,9N2661608000000004,52,3E333000002399811,53,9F1301607000000011,54,9F1301608000000004,55,9N2711607000000011,56,9N2711608000000004,57,9N2761607000000011,58,9N2761608000000004,59,9N2811607000000011,60,9N2811608000000004,61,9F1401607000000011,62,9F1401608000000004,63,9N2911607000000011,64,9N2911608000000004,65,9N2961607000000011,66,9N2961608000000004,67,7A021165008543311,68,7A021165108543311,69,7A022000008543311,70,9Z7711607000000011,71,9Z7711608000000004,72,9Z7701607000000011,73,9Z7701608000000004,74,1B030000001599811,75,3F050000002327201,76,3F050000002399901,77,3F015000002327101,78,3F015000002327201,79,3F015000002399901,80,3F070000002327101,81,3F070000002327201,82,3F070000002399901,83,3F070000002327101,84,3F070000002327201,85,3F070000002399901,86,3J010000002327101,87,3J010000002399901,88,3B035000002327201,89,3B035000002399901,90,3B045000002327201,91,3B045000002399901,92,3B090000002327101,93,5D305000002399811,94,9C310000000000001,95,9C3200000000000002,96,9C3300000000000002,97,9C3800000000000002,98,9E1601621000000001,99,9E1601625000000001,100,9E1601622000000001,101,9E1601626000000001,102,9D1001631000000011,103,9D1001632000000011,104,9D1001635000000011,105,9D1001636000000011,106,9D1001640000000011,107,9D1001609000000004,108,9E1001660000000011,109,9E1001661000000011,110,9E1001662000000011,111,9E1001663000000011,112,9E1001609000000004,113,9E1001610000000004,114,9E1051621000000001,115,9E1051622000000001,116,5C070000002306201,117,5C070000002306301,118,5C070000002399901,119,5H010000001910111,120,5H010000001999911,121,5H020000001910111,122,5H020000001999911,123,5E071000002399811,124,5F016141002399811,125,5F360149502399811,126,5F360149702399811,127,5F360150002399811,128,5F360145002399811,129,9N4010000000000004,130,9N4060000000000004,131,9N4110000000000004,132,9N4160000000000004,133,9N5110000000000004,134,9N5160000000000004,135,9N5210000000000004,136,9N5260000000000004,137,3B090000002399901,138,3B070000002327101,139,3B070000002399901,140,3C015000002327101,141,3C015000002399901,142,3C020000002327101,143,3C020000002399901,144,3A010000002327101,145,3A010000002399901,146,3A015000002327101,147,3A015000002399901,148,3A016000002327102,149,5C095000002302301,150,5C095000002399901,151,3D010000001926101,152,3D010000002227101,153,3D010000001927201,154,3D010000001999901,155,9N5310000000000004,156,9N5360000000000004,157,9N5410000000000004,158,9N5460000000000004,159,9N5510000000000004,160,9N5560000000000011,161,9N5610000000000011,162,9N5660000000000004,163,9N5710000000000004,164,9N5760000000000004,165,9N5811613000000011,166,9N5811614000000004,167,9N5860000000000004,168,9N5911613000000011,169,9N5911614000000004,170,9N5960000000000004,171,9N6011613000000011,172,9N6011614000000004,173,9N6060000000000004,174,9N6111613000000011,175,9N6111614000000004,176,9N6160000000000004,177,9N6211613000000011,178,9N6211614000000004,179,3D010129901926101,180,3D010129902227101,181,3D010129901999901,182,3D045000001906202,183,3D045000001920402,184,3D045000001927102,
```

*入力されている値はサンプルです。

※注意事項

デフォルトで登録されている「特定健診」「特定健診＋詳細な健診」は書き出しません。
また、新規追加した場合は、健診パターンを編集した後にデータを書き出してください。

2.13. 支払代行情報メンテナンス

2.13.1. 支払代行情報メンテナンス画面

マスタメンテナンスメニューにて支払代行情報メンテナンスの項目を選択すると、以下のようなメニュー（一覧）が表示されます。ユーザは、これらの項目から目的の項目を選択します。

特定健診において、健診機関は医療保険者に代わって医療費の決済や健診データを取りまとめる代行機関を利用することができます。支払代行情報メンテナンスでは、そのような場合に代行機関の情報を登録することができます。

支払代行機関番号	支払代行機関名称	郵便番号	所在地	電話番号
94899010	社会保険診療報酬支払基金	1050004	港区新橋2-1-3	0335917441
94799020	沖縄県国民健康保険連合会	9008559	那覇市西3-14-18	0988632321
94699022	鹿児島県国民健康保険連合会	8900064	鹿児島市鶴池新町7-4	0992061028
94599024	宮崎県国民健康保険連合会	8808581	宮崎市下原町231-1	0985254901
94499027	大分県国民健康保険連合会	8700022	大分市大手町2-3-12	0975348470
94399029	熊本県国民健康保険連合会	8620911	熊本市健軍2-4-10熊本県自治会館	0963650811
94299021	長崎県国民健康保険連合会	8500025	長崎市今博多町8番地2国保会館内	0958267291
94199023	佐賀県国民健康保険連合会	8400833	佐賀市中央の小路5-5NTTコム佐賀中...	0952264181
94099025	福岡県国民健康保険連合会	8128521	福岡市博多区吉塚本町13-47	0926427800
93999027	高知県国民健康保険連合会	7800850	高知市丸の内2-6-5	0888208401
93899029	愛媛県国民健康保険連合会	7918036	松山市高岡町101-1	0899688800
93799021	香川県国民健康保険連合会	7600066	高松市福岡町2-3-2香川県自治会館...	0878227431
93699023	徳島県国民健康保険連合会	7710135	徳島市川内町平石若松78-1	0886660111
93599025	山口県国民健康保険連合会	7538520	山口市大字朝田字岡の口1980-7	0839252003
93499028	広島県国民健康保険連合会	7308503	広島市中区東白島町19-49国保会館	0825540770
93399020	岡山県国民健康保険連合会	7008568	岡山市桑田町17-5国保会館	0862239101
93299022	島根県国民健康保険連合会	6900825	松江市学園町1-7-14	0852212113
93199024	鳥取県国民健康保険連合会	6800061	鳥取市立川町6丁目176鳥取県東部...	0857203680
93099026	和歌山県国民健康保険連合会	6408137	和歌山市吹上2-1-22-501日赤会館内	0734274678
92999028	奈良県国民健康保険連合会	6340061	橿原市大久保町302-1奈良県市町...	0744298311
92899020	兵庫県国民健康保険連合会	6500021	神戸市中央区三宮町1-9-1-1801	0783325601
92799022	大阪府国民健康保険連合会	5400000	大阪市中央区船場野上1-2-2大阪府通...	0662465000

画面には、すでに登録されている支払代行機関の一覧が画面に表示されます。表示されたユーザはセルをクリックすることで選択状態にすることができます。

- ※ 一覧内のフォーカス遷移は「↑」「↓」キー押下で行います。
- ※ 一覧内で「Enter」キーを押下すると「追加・編集」画面に遷移します。
- ※ 「Ctrl」キー+「Tab」キーを押下する事で一覧から「追加」ボタンにフォーカス遷移します。

上記画面の項目は以下のとおりです。

取込ボタン

支払代行機関のデータを取込みます。

※取込時に既存データを上書きします。

※詳細は「[2.13.5. CSVファイルについて](#)」をご参照ください。

書出ボタン

登録した支払代行機関データをCSVファイル形式で書出します。

追加ボタン

支払代行機関を追加します。

変更ボタン

選択された一つの支払代行機関の情報を編集します。

削除ボタン

選択された一つの支払代行機関の情報を削除します。

戻るボタン

マスターメンテナンスメニューに戻ります。

2.13.2.支払代行機関追加

支払代行情報メンテナンス画面で追加ボタンが押されると、支払機関代行情報登録画面が表示されます。支払代行機関追加では、新たにシステムに支払代行機関を追加することができます。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [日医クリニック - 0000000000]

支払代行情報メンテナンス | 追加・編集

代行機関番号を入力後、Enterキーを押して代行機関情報を作成します。
各項目を入力後、「登録」ボタンを押して入力内容を登録します。

代行機関番号	
代行機関名称	
郵便番号	
所在地	
電話番号	

戻る(F1) クリア(F2) 登録(F12)

上記画面の項目は以下のとおりです。

必須項目に関しては、フォームの色が黄色になっています。

「支払代行機関情報」

支払代行機関番号

登録する支払代行機関の支払代行機関番号を入力します。

その際、半角数字のみで入力してください。

支払代行機関名称

登録する支払代行機関の名称を入力します。

郵便番号

ハイフン無し半角数字のみで入力します。

登録済の郵便番号マスタから自動検索し、所在地に該当の住所が反映されます。

※郵便番号マスタは Ver1.2.8 から適応されており、市町村の合併等で変更があった場合、適宜更新されます。

所在地

郵便番号で自動検索された住所が反映されます。

町名以降の住所を入力します。

※該当する住所が無かった場合、手入力します。

※英数字も「全角」で、ハイフンは「ー(長音)」で入力します。

電話番号

登録する支払代行機関の電話番号を入力します。

その際、電話番号は、ハイフン無し半角数字で入力します。

例) 電話番号 090-1234-5678 の場合 → 09012345678

「ボタン」

登録ボタン

入力された情報を登録します。

クリアボタン

画面の情報をクリアします。

戻るボタン

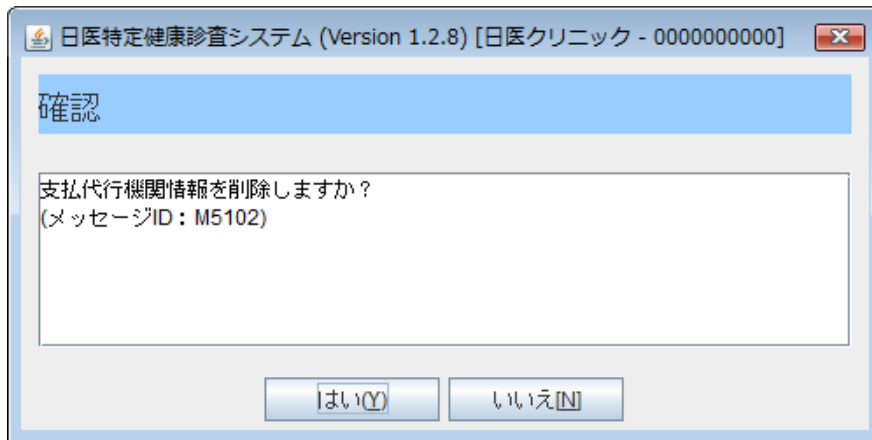
支払代行メンテナンス画面に戻ります。ただし、入力された情報は登録されません。

2.13.3.支払代行機関情報編集

支払代行機関メンテナンス画面で、ひとつの支払代行機関を選択した状態で変更ボタンを押すと、支払代行機関情報の編集を行うことができます。その際、支払代行機関情報登録画面に、すでに選択された支払代行機関の情報が入力された状態で表示されます。

利用者は、この情報を編集して登録することで、支払代行機関情報を編集することができます。ただし、支払代行機関番号は変更することができません。

支払代行機関メンテナンス画面で、ひとつの支払代行機関を選択した状態で削除ボタンを押すと、支払代行機関情報を削除することができます。その際、以下のような確認メッセージが出ます。



「はい」を押すと、支払代行機関情報の削除が実行されます。

2.13.5.CSVファイルについて

支払代行情報メンテナンスでは、登録したデータを CSV ファイルに書き出し、取込みを行います。CSV ファイルレイアウトは、以下の構成となっています。

項目名	DB 定義名
支払代行機関番号	SHIHARAI_DAIKO_NO
支払代行機関名称	SHIHARAI_DAIKO_NAME
郵便番号	SHIHARAI_DAIKO_ZIPCD
所在地	SHIHARAI_DAIKO_ADR
電話番号	SHIHARAI_DAIKO_TEL

データを追加したい場合は、各項目を「,」で区切りながら入力します。

また、元のデータを利用して追加したい場合は、書き出したファイルに上記フォーマットを基に行データを追加してから、取込を行います。

< CSV ファイル名命名規則 >

SiharaiMaster20100519 1.csv

同一日回数

書出し目

メンテナンス名称

例)

SHIHARAI_DAIKO_NO,SHIHARAI_DAIKO_NAME,SHIHARAI_DAIKO_ZIPCD,SHIHARAI_DAIKO_ADR,SHIHARAI_DAIKO_TEL
90199027,北海道国民健康保険連合会,0600062,札幌市中央区南二条西1-4丁目国保会館,0112315161
90299025,青森県国民健康保険連合会,0300801,青森市新町2-4-1,0177231336
90399023,岩手県国民健康保険連合会,0200025,盛岡市大沢川原3-7-30,0196234322
90499021,宮城県国民健康保険連合会,9800011,仙台市青葉区上杉1-2-3宮城県自治会館内,0222227070
90599028,秋田県国民健康保険連合会,0100951,秋田市山王4-2-3県市町村会館内4F,0188626864
90699026,山形県国民健康保険連合会,9900023,山形市松波4-1-15,0236237540
90799024,福島県国民健康保険連合会,9608043,福島市中町3-7,0245232700
90899022,茨城県国民健康保険連合会,3100852,水戸市笠原町978-26茨城県市町村会館内,0293011550
90999020,栃木県国民健康保険連合会,3200033,宇都宮市本町1-2-1栃木会館4F,0286227242

※入力されている値はサンプルです。

2.14.機関情報メンテナンス

2.14.1.機関情報メンテナンス画面

マスタメンテナンスメニューにて機関情報メンテナンスの項目を選択すると、以下のようなメニュー（一覧）が表示されます。ユーザは、これらの項目から目的の項目を選択します。

機関情報メンテナンスでは、現在利用している健診機関の情報を編集することができます。

上記画面の項目は以下のとおりです。

必須項目に関してはフォームの色が黄色に、入力出来ない項目は灰色になっています。

「機関情報」

特定健診機関番号

現在利用している特定健診機関番号が表示されます。この項目は編集できません。

送付元機関番号（請求事務代行含む）

電子的交換ファイルアーカイブの送付元機関番号を入力します。通常、登録する特定健診機関番号を入力します。

名称

登録する健診機関の名称を入力します。

郵便番号

ハイフン無し半角数字のみで入力します。

登録済の郵便番号マスタから自動検索し、住所欄に該当の住所が反映されます。

※郵便番号マスタはVer1.2.8から適応されており、市町村の合併等で変更があった場合、適宜更新されます。

所在地

郵便番号で自動検索された住所が反映されます。

町名以降の住所を入力します。

※該当する住所が無かった場合、手入力します。

※英数字も「全角」で、ハイフンは「ー(長音)」で入力します。

地番方書

登録する健診機関の地番・方書を入力します。

電話番号

登録する健診機関の電話番号を入力します。

「日レセ連携情報」

以下の項目は日医標準レセプトソフト（愛称：ORCA）と連動する際に設定します。

※ 連携には日医標準レセプトソフトでの設定が必要です。

詳細は別冊「日レセ連携手順書」をご参照下さい。

IP アドレス

日レセサーバのIPアドレスを入力します。

ポート番号

日レセサーバのポート番号を入力します。通常は「5432」です。

データベース名

日レセサーバにあるデータベース名を入力します。通常は「orca」です。

プロトコル

通常は「1」を入力します。(1:7.X, 6.4 2:6.3 3:6.2)

データベースのユーザID

日レセサーバのデータベースに接続するユーザIDを入力します。通常は「orca」です。

データベースユーザのパスワード

日レセサーバのデータベースに接続するユーザのパスワードを入力します。

日レセ連携手順書での作業時に設定したパスワードを入力してください。

通常は「orca123」です。

日レセのユーザ I D

日レセサーバのデータベースに接続するユーザ I Dを入力します。通常は「ormaster」です。

日レセのパスワード

日レセサーバのデータベースに接続するユーザのパスワードを入力します。

日レセのセットアップ時に設定したパスワードを入力してください。

通常は「ormaster123」です。

文字列のエンコーディング

通常は「UTF-8」を入力します。

患者 I D のフォーマット、患者 I D の桁

患者 I D 番号の先頭を 0 埋めするか選択する。

例) 桁数を 8 桁にしたい場合 : 12345 → 00012345

※日レセの設定が完了したら確認のため「接続テスト」のボタンを押して確認してください。

入力が完了したら、「登録」ボタンを押した後、「戻る」ボタンを押します。

接続テスト

日レセと連動する際に、上記の設定を確認するために使用します。

「ボタン」

登録ボタン

入力された情報が DB に登録されます。

戻るボタン

健診機関追加を終了します。入力された情報は登録されません。

2.15.経年管理メンテナンス

システムメンテナンスメニューにて経年管理メンテナンスの項目を選択すると、以下のようなメニュー（一覧）が表示されます。ユーザは、これらの項目から目的の項目を選択します。

※経年処理につきましては別冊「**経年処理実施マニュアル**」をご参照下さい。

経年マスタメンテナンス

一覧からレコードを選択し、画面下部のボタンを押して受診者の紐付けを実行します。

受診者紐付けID	受診券整理番号	氏名〈カナ〉	氏名〈漢字〉	生年月日	性別	住所	被保険者証等記号	被保険者証
201004230001	00000000001	ニチイ ハナコ	日医花子	19600202	女性	東京都練馬区南大泉	あああ	1 1 1
201004230001	55555555555	ニチイ ハナコ	日医花子	19600202	女性	東京都練馬区南大泉	あああ	1 1 1

戻る(F1) 名寄せ(F9) 編集(F11) 削除(F12)

※ 一覧内のフォーカス遷移は「↑」「↓」キー押下で行います。

※一覧内で「Enter」キーを押下すると「追加・編集」画面に遷移します。

※「Ctrl」キー+「Tab」キーを押下する事で一覧から「名寄せ」ボタンにフォーカス遷移します。

2.16.所見マスタメンテナンス

2.16.1.所見マスタメンテナンス画面

マスタメンテナンスメニューにて所見マスタメンテナンスの項目を選択すると、以下のようなメニュー（一覧）が表示されます。

所見マスタメンテナンスでは、現在利用している所見の情報を編集することができます。

また、デフォルトで登録されている所見データは「特定健康診査入力票 記入コード表(日医フォーマット)」を基に登録されています。

所見種別No	所見種別	所見No	所見	更新日時
1	その他の既往歴	01	高血圧	20100519 14:32:38.0
1	その他の既往歴	02	低血圧	20100519 14:32:41.0
1	その他の既往歴	03	不整脈	20100519 14:32:41.0
1	その他の既往歴	04	高脂質血症	20100519 14:32:41.0
1	その他の既往歴	05	高尿酸血症	20100519 14:32:41.0
1	その他の既往歴	06	腎不全以外の腎疾患	20100519 14:32:41.0
1	その他の既往歴	07	糖尿病	20100519 14:32:41.0
1	その他の既往歴	08	肝臓病	20100519 14:32:41.0
1	その他の既往歴	09	胃・十二指腸潰瘍	20100519 14:32:41.0
1	その他の既往歴	10	うつ	20100519 14:32:41.0
1	その他の既往歴	11	骨粗鬆症	20100519 14:32:41.0
2	自覚症状所見	01	胸部圧迫感	20100519 14:32:41.0
2	自覚症状所見	02	高血圧	20100519 14:32:41.0
2	自覚症状所見	03	息切れ	20100519 14:32:41.0
2	自覚症状所見	04	不眠	20100519 14:32:41.0
2	自覚症状所見	05	肩こり・腰痛	20100519 14:32:41.0
2	自覚症状所見	06	手足のしびれ感	20100519 14:32:41.0
2	自覚症状所見	07	目眩・立眩み	20100519 14:32:41.0
2	自覚症状所見	08	頭痛・耳鳴り	20100519 14:32:41.0
2	自覚症状所見	09	いつも調子が悪い	20100519 14:32:41.0
2	自覚症状所見	10	腿が張っている	20100519 14:32:41.0
2	自覚症状所見	11	下痢	20100519 14:32:41.0

画面には、すでに登録されている所見の一覧が表示されます。表示されたデータは行をクリックすることで選択状態にすることができます。

※一覧内のフォーカス遷移は「↑」「↓」キー押下で行います。

※一覧内で「Enter」キーを押下すると「追加・編集」画面に遷移します。

※「Ctrl」キー+「Tab」キーを押下する事で一覧から「取込」ボタンにフォーカス遷移します。

上記画面の項目は以下のとおりです。

取込ボタン

所見データを取込みます。

※取込時に既存データを上書きします。

※詳細は「[2.16.7. CSVファイルについて](#)」をご参照ください。

書出ボタン

登録した所見データを CSV ファイル形式で書出します。

追加ボタン

所見種別を追加します。

編集ボタン

選択された一つの所見情報を編集します。

また、既に登録している所見種別に対して所見が追加できます。

削除ボタン

選択された一つの所見情報を削除します。

戻るボタン

マスターメンテナンスメニューに戻ります。

2.16.2.所見種別追加

所見マスタメンテナンス画面で追加ボタンを押すと、所見情報追加画面が表示されます。

所見追加では、新たに所見種別を追加することができます。

上記画面の項目は以下のとおりです。

必須項目に関しては、フォームの色が黄色になっています。

「所見情報」

所見種別 No

登録する所見種別の管理番号（自動採番）です。番号は自動的に割り当てられます。

この項目は編集できません。

所見種別

登録する所見種別の名称を入力します。

所見 No

登録する所見の管理番号（自動採番）です。

番号は自動的に「01」が割り当てられます。

所見

登録する所見内容を全角 128 文字以内で入力します。

登録ボタン

入力された情報を登録します。

戻るボタン

所見マスタメンテナンス画面に戻ります。ただし、入力された情報は登録されません。

2.16.3.所見編集

所見マスタメンテナンス画面（一覧）で、ひとつの所見を選択した状態で編集ボタンを押すと、所見情報の編集を行うことができます。その際に、所見情報登録画面に、選択された所見の情報が入力された状態で表示されます。

利用者は、この情報を編集して登録することで、所見情報を編集することができます。

また、新たに所見を追加することができます。

上記画面の項目は以下のとおりです。

必須項目に関しては、フォームの色が黄色になっています。

「所見情報」

所見種別 No

編集する所見種別の管理番号です。この項目は編集できません。

所見種別

編集する所見種別の名称です。この項目は編集できません。

所見 No

編集する所見の管理番号です。

また、「追加」ボタンを押下すると登録出来る所見 No がセットされます。

所見

編集する所見内容です。

また、「追加」ボタンを押下すると内容がクリアされ新規入力できます。

追加ボタン

所見 No に空きの管理番号をセットし、所見内容をクリアします。

※詳細は「[2.16.4. 所見追加](#)」をご参照ください。

登録ボタン

入力された情報を登録します。

戻るボタン

所見マスタメンテナンス画面に戻ります。ただし、入力された情報は登録されません。

2.16.4. 所見追加

所見マスタメンテナンス編集画面で、登録されている所見種別に対して、新たに所見を追加することができます。

追加する場合は、画面内の追加ボタン（図1の赤枠）をクリックすると、登録可能な所見Noをセットし（図2の青枠）、所見内容がクリアされて（図2の緑枠）新規入力が可能となります。

所見内容を入力し、登録ボタンを押下します。

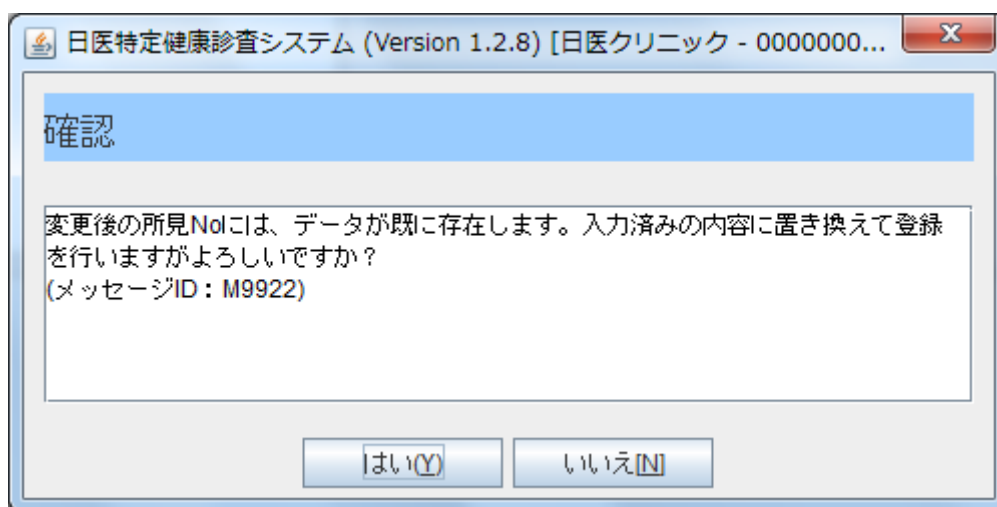
（図1）

（図2）

※登録可能な所見Noは、小さい数字からセットされます。

2.16.5.所見追加・編集時の注意点

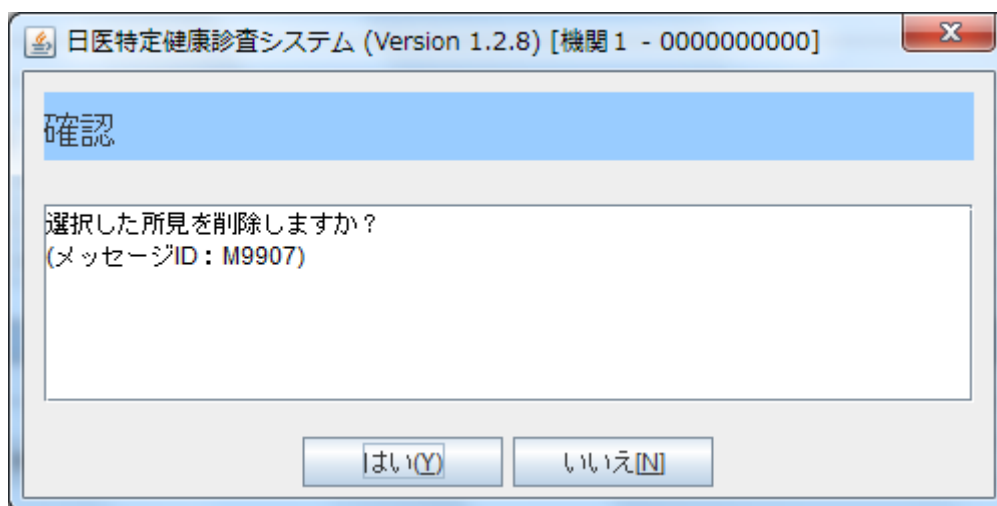
所見マスタメンテナンス編集画面で、所見の追加・編集を行う際に、既に登録されている所見 No を指定した場合、下記のような確認画面が表示されます。



「はい」を押すと、入力済みの内容に置き換えて登録します。

2.16.6.所見削除

所見マスタメンテナンス画面で、ひとつの所見を選択した状態で削除ボタンを押すと、所見情報を削除することができます。その際、以下のような確認メッセージが出ます。



「はい」を押すと、所見情報の削除が実行されます。

2.16.7.CSVファイルについて

所見マスタメンテナンスでは、登録したデータを CSV ファイルに書き出し、取込みを行います。
CSV ファイルレイアウトは、以下の構成となっています。

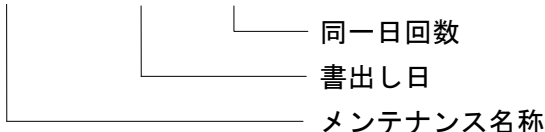
項目名	DB 定義名	備考
所見種別 No	SYOKEN_TYPE	1：その他の既往歴 2：自覚症状所見 3：他覚症状所見 4：心電図所見
所見種別	SYOKEN_TYPE_NAME	
所見 No	SYOKEN_NO	0～99
所見	SYOKEN_NAME	
更新日時	UPDATE_TIMESTAMP	

データを追加したい場合は、各項目を「,」で区切りながら入力します。

また、元のデータを利用して追加したい場合は、書き出したファイルに上記フォーマットを基に行データを追加してから、取込を行います。

< CSV ファイル名命名規則 >

SyokenMaster20100519_1.csv



同一日回数
書出し日
メンテナンス名称

例)

```
SYOKEN_TYPE,SYOKEN_TYPE_NAME,SYOKEN_NO,SYOKEN_NAME,UPDATE_TIMESTAMP
1,その他の既往歴,01,高血圧,2010-05-19 14:32:38.0
1,その他の既往歴,02,低血圧,2010-05-19 14:32:41.0
1,その他の既往歴,03,不整脈,2010-05-19 14:32:41.0
2,自覚症状所見,01,胸部圧迫感,2010-05-19 14:32:41.0
2,自覚症状所見,02,高血圧,2010-05-19 14:32:41.0
2,自覚症状所見,03,息切れ,2010-05-19 14:32:41.0
3,他覚症状所見,04,浮腫：下腿（+）,2010-05-19 14:32:41.0
3,他覚症状所見,05,心音不純,2010-05-19 14:32:41.0
3,他覚症状所見,06,不整脈あり,2010-05-19 14:32:41.0
4,心電図所見,01,異常Q波,2010-05-19 14:32:41.0
4,心電図所見,02,境界域Q波,2010-05-19 14:32:41.0
4,心電図所見,03,R波の増高不良,2010-05-19 14:32:41.0
```

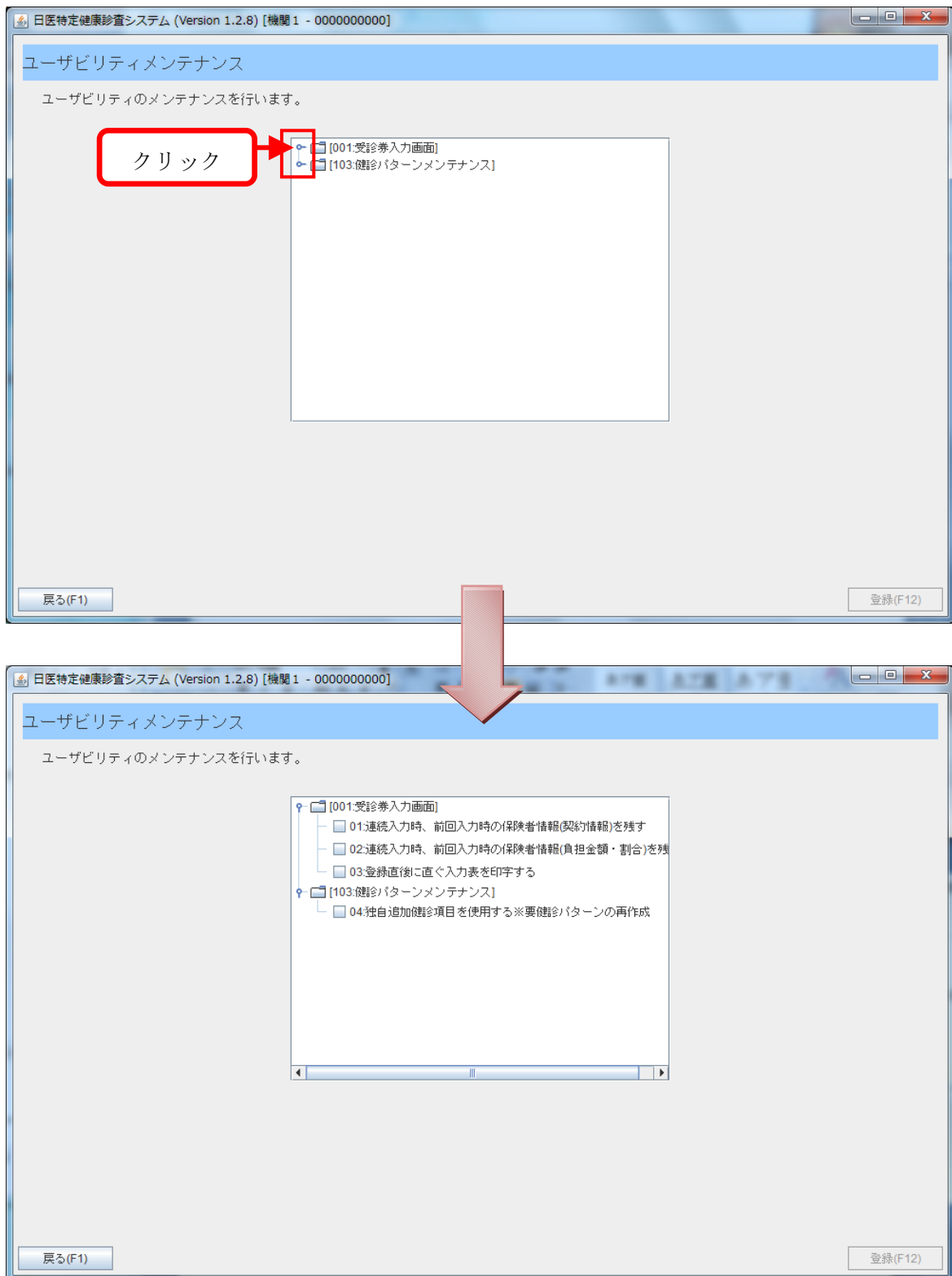
※入力されている値はサンプルです。

2.17.ユーザビリティメンテナンス

2.17.1.ユーザビリティメンテナンス画面

システムメンテナンスメニューにてユーザビリティメンテナンスの項目を選択すると、以下のような画面が表示されます。これらの項目の階層を展開する場合は、項目先頭にあるマーク（下図の赤枠）をクリックすることで行えます。

使用したい項目にチェックを入れることで、該当の機能が行えます。



上記画面の項目は以下のとおりです。

「001:受診券入力画面」

01:連続入力時、前回入力時の保険者情報（契約情報）を残す

説明：前回入力した保険者の契約情報が保持された状態で、新規受診券の入力が行えます。

02:連続入力時、前回入力時の保険者情報（負担金額・割合）を残す

説明：前回入力した保険者の負担金額・割合情報が保持された状態で、新規受診券の入力が行えます。

03:登録直後に直ぐ入力票を印字する

説明：受診券登録後、入力票の出力画面が自動的に表示されます。

「103:健診パターンメンテナンス」

04:独自追加健診項目を使用する※要健診パターンの再作成

説明：独自追加健診項目が使用出来ます。チェック後、健診パターンメンテナンスでパターン編集を行うと、「健診項目マスタの内容」に独自追加健診項目一覧を基に登録されている健診項目が表示されます。

※独自追加健診項目については、別紙「独自追加健診項目一覧」をご参照ください。

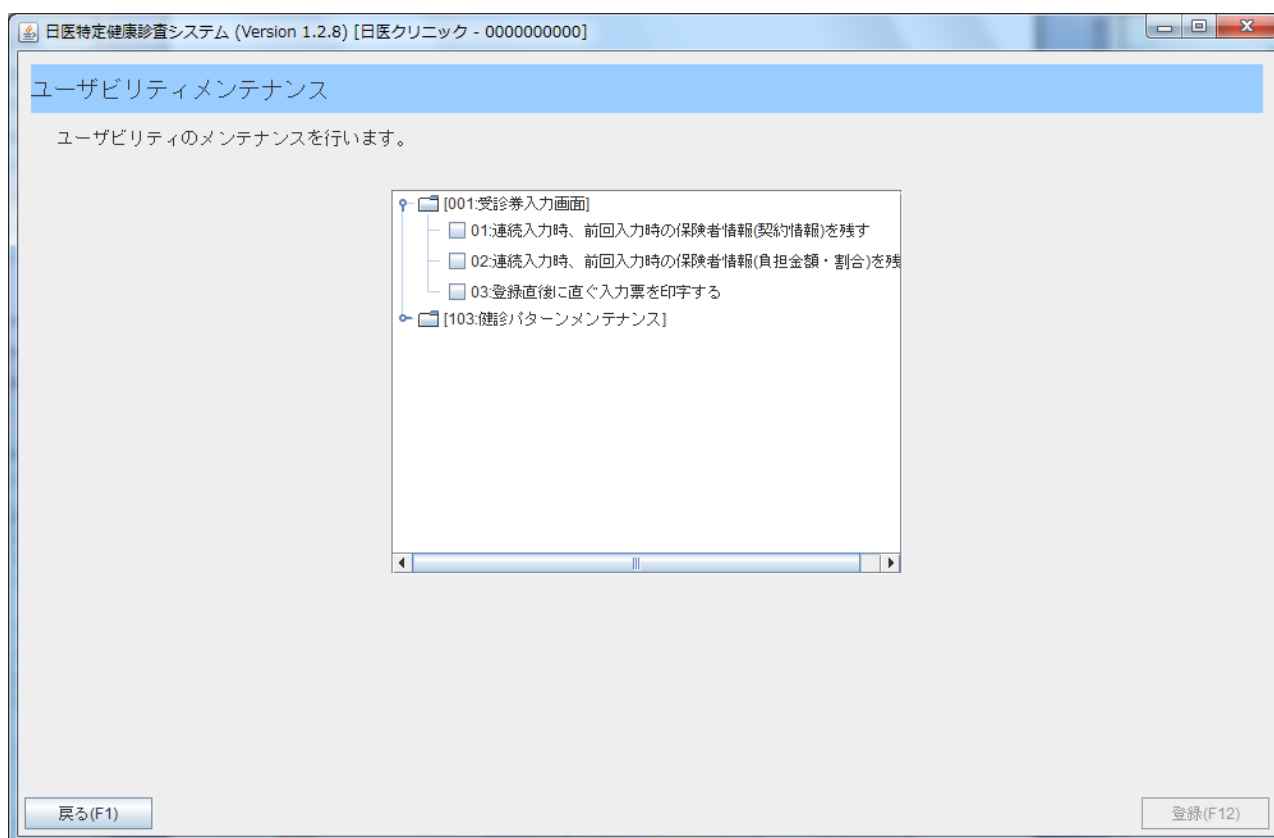
登録ボタン

チェックされた情報を登録します。

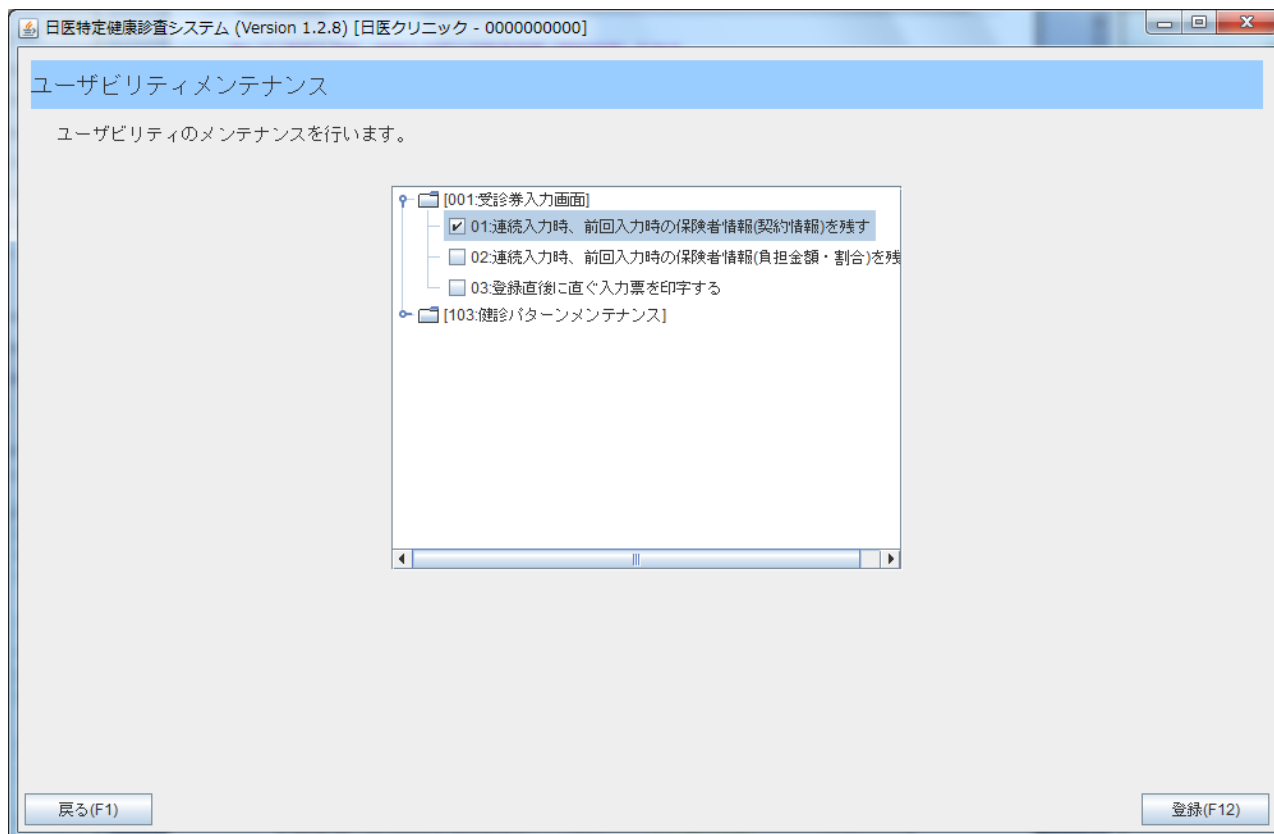
戻るボタン

マスターメンテナンスメニューに戻ります。

例) 01:連続入力時、前回入力時の保険者情報(契約情報)を残す
ユーザビリティメンテナンス画面において、「001:受診券入力画面」の項目を展開します。



次に「01:連続入力時、前回入力時の保険者情報(契約情報)を残す」にチェックを入れて、登録ボタンを押下します。



下記のように設定が反映されます。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [機関 1 - 0000000000]

受診券入力 (個人情報登録)

受診者の情報を入力し、「登録」ボタンを押して情報を登録します。日レセ、登録済みデータから受診者情報を取得できます。

患者ID (日レセ連携)

(日レセフォーマット)

受診券整理番号 (半角数字11桁)

氏名(カナ) (全角のみ50文字以内)

交付日 (半角数字8桁)

有効期限 (半角数字8桁)

受診者情報

郵便番号 (半角数字7桁)

住所 (↓番号は半角数字のみ) (↑全角のみ100文字以内)

自宅電話番号 FAX番号 携帯電話番号

E-Mail 携帯E-Mail

契約情報 (保険者は半角数字8桁以内、支払代行機関は半角数字8桁)

保険者 <新規追加>

支払代行機関

契約取りまとめ

機関名 (全角のみ50文字以内)

負担金額・割合 (金額は半角数字6桁以内、割合は小数点1桁以内)

	受診者の窓口負担	金額または割合	保険者負担上限額
基本的な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円
詳細な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円
追加健診	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円
人間ドック	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円

その他の健診による負担金額 円 (半角数字9桁以下)

保険証情報

被保険者証等記号 (全角のみ20文字以内)

被保険者証等番号 (全角のみ20文字以内)

氏名(漢字) (全角のみ50文字以内)

氏名(通称) (全・半角50文字以内)

生年月日(年度年齢) 歳 (日レセフォーマット)

男女区分 ☐ 1: 男性 ☐ 2: 女性 (1または2)

単価情報 委託料単価区分 (1: 個別健診 2: 集団健診)

単価(基本的な健診) 円

単価(貧血検査) 円

単価(心電図検査) 円

単価(眼底検査) 円

単価(人間ドック) 円

凡例 入力必須項目 重要項目 青 ORCA連携で検索に使用する項目 pink DB呼出で検索に使用する項目

※被保険者証等番号は、HL7 を出力するためには必須です。

設定反映後

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [機関 1 - 0000000000]

受診券入力 (個人情報登録)

受診者の情報を入力し、「登録」ボタンを押して情報を登録します。日レセ、登録済みデータから受診者情報を取得できます。

患者ID (日レセ連携)

(日レセフォーマット)

受診券整理番号 (半角数字11桁)

氏名(カナ) (全角のみ50文字以内)

交付日 (半角数字8桁)

有効期限 (半角数字8桁)

受診者情報

郵便番号 (半角数字7桁)

住所 (↓番号は半角数字のみ) (↑全角のみ100文字以内)

自宅電話番号 FAX番号 携帯電話番号

E-Mail 携帯E-Mail

契約情報 (保険者は半角数字8桁以内、支払代行機関は半角数字8桁)

保険者 11111111 11111111 日医 1

支払代行機関

契約取りまとめ

機関名 (全角のみ50文字以内)

負担金額・割合 (金額は半角数字6桁以内、割合は小数点1桁以内)

	受診者の窓口負担	金額または割合	保険者負担上限額
基本的な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円
詳細な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円
追加健診	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円
人間ドック	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円

その他の健診による負担金額 円 (半角数字9桁以下)

保険証情報

被保険者証等記号 (全角のみ20文字以内)

被保険者証等番号 (全角のみ20文字以内)

氏名(漢字) (全角のみ50文字以内)

氏名(通称) (全・半角50文字以内)

生年月日(年度年齢) 歳 (日レセフォーマット)

男女区分 ☐ 1: 男性 ☐ 2: 女性 (1または2)

単価情報 委託料単価区分 (1: 個別健診 2: 集団健診)

単価(基本的な健診) 円

単価(貧血検査) 円

単価(心電図検査) 円

単価(眼底検査) 円

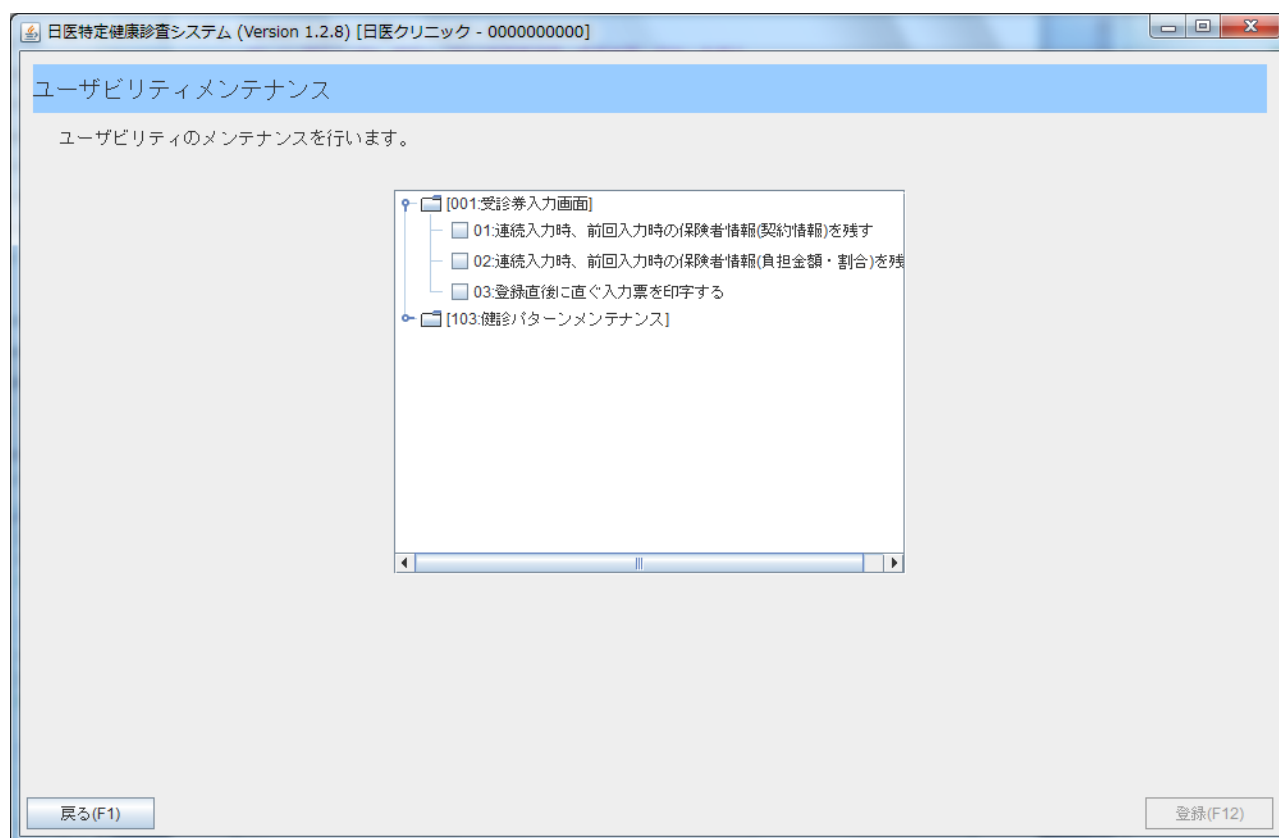
単価(人間ドック) 円

凡例 入力必須項目 重要項目 青 ORCA連携で検索に使用する項目 pink DB呼出で検索に使用する項目

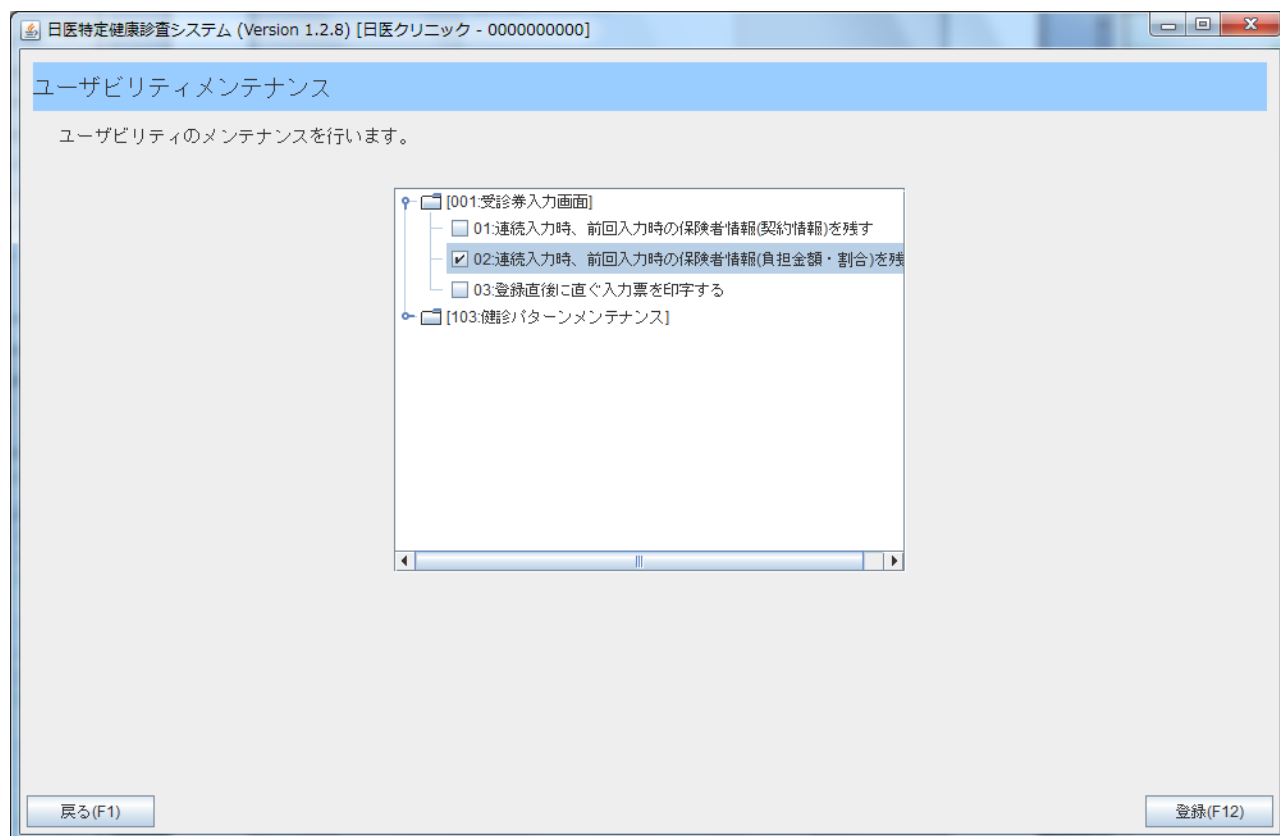
※被保険者証等番号は、HL7 を出力するためには必須です。

例) 02:連続入力時、前回入力時の保険者情報（負担金額・割合）を残す

ユーザビリティメンテナンス画面において、「001:受診券入力画面」の項目を展開します。



次に「02:連続入力時、前回入力時の保険者情報（負担金額・割合）を残す」にチェックを入れて、登録ボタンを押下します。



下記のように設定が反映されます。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [機関1 - 0000000000]

受診券入力 (個人情報登録)

受診者の情報を入力し、「登録」ボタンを押して情報を登録します。日レセ、登録済みデータから受診者情報を取得できます。

患者ID (日レセ連携)

(日レセフォーマット)

受診券整理番号 (半角数字11桁)

氏名 (カナ) (全角のみ50文字以内)

交付日 (半角数字8桁)

有効期限 (半角数字8桁)

受診者情報

郵便番号 (半角数字7桁)

住所 (↓番号は半角数字のみ) (1全角のみ100文字以内)

自宅電話番号 **FAX番号** **携帯電話番号**

E-Mail **携帯E-Mail**

契約情報 (保険者は半角数字8桁以内、支払代行機関は半角数字8桁)

保険者

支払代行機関

契約取りまとめ機関名 (全角のみ50文字以内)

保険証情報

被保険者証等記号 (全角のみ20文字以内)

被保険者証等番号 (全角のみ20文字以内)

氏名 (漢字) (全角のみ50文字以内)

氏名 (通称) (全・半角50文字以内)

生年月日 (年度年齢) 歳 (日レセフォーマット)

男女区分 ☐ 1: 男性 ☐ 2: 女性 (1または2)

負担金額・割合 (金額は半角数字6桁以内、割合は小数点1桁以内)

	受診者の窓口負担	金額または割合	保険者負担上限額
基本的な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/>	円
詳細な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/>	円
追加健診	<input type="text"/>	<input type="text"/>	円
人間ドック	<input type="text"/>	<input type="text"/>	円

その他の健診による負担金額 円 (半角数字9桁以下)

単価情報 委託料単価区分 (1: 個別健診 2: 集団健診)

単価 (基本的な健診) 円

単価 (貧血検査) 円

単価 (心電図検査) 円

単価 (眼底検査) 円

単価 (人間ドック) 円

凡例 入力必須項目 重要項目 青字 ORCA連携で検索に使用する項目 ピンク DB呼出で検索に使用する項目

※被保険者証等番号は、HL7 を出力するためには必須です。

設定反映後

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [機関1 - 0000000000]

受診券入力 (個人情報登録)

受診者の情報を入力し、「登録」ボタンを押して情報を登録します。日レセ、登録済みデータから受診者情報を取得できます。

患者ID (日レセ連携)

(日レセフォーマット)

受診券整理番号 (半角数字11桁)

氏名 (カナ) (全角のみ50文字以内)

交付日 (半角数字8桁)

有効期限 (半角数字8桁)

受診者情報

郵便番号 (半角数字7桁)

住所 (↓番号は半角数字のみ) (1全角のみ100文字以内)

自宅電話番号 **FAX番号** **携帯電話番号**

E-Mail **携帯E-Mail**

契約情報 (保険者は半角数字8桁以内、支払代行機関は半角数字8桁)

保険者

支払代行機関

契約取りまとめ機関名 (全角のみ50文字以内)

保険証情報

被保険者証等記号 (全角のみ20文字以内)

被保険者証等番号 (全角のみ20文字以内)

氏名 (漢字) (全角のみ50文字以内)

氏名 (通称) (全・半角50文字以内)

生年月日 (年度年齢) 歳 (日レセフォーマット)

男女区分 ☐ 1: 男性 ☐ 2: 女性 (1または2)

負担金額・割合 (金額は半角数字6桁以内、割合は小数点1桁以内)

	受診者の窓口負担	金額または割合	保険者負担上限額
基本的な健診	3.定率	10.00 %	円
詳細な健診	3.定率	10.00 %	円
追加健診	3.定率	10.00 %	円
人間ドック	3.定率	10.00 %	円

その他の健診による負担金額 円 (半角数字9桁以下)

単価情報 委託料単価区分 (1: 個別健診 2: 集団健診)

単価 (基本的な健診) 円

単価 (貧血検査) 円

単価 (心電図検査) 円

単価 (眼底検査) 円

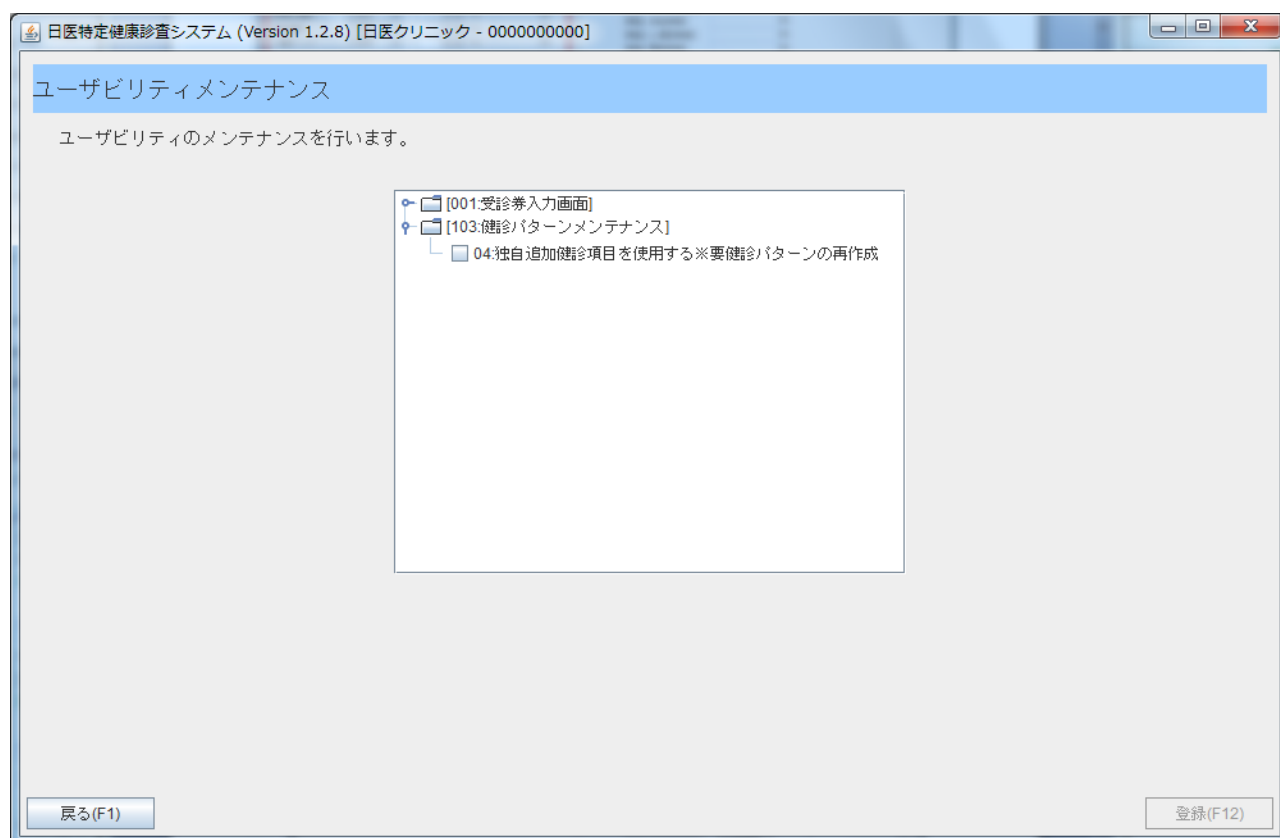
単価 (人間ドック) 円

凡例 入力必須項目 重要項目 青字 ORCA連携で検索に使用する項目 ピンク DB呼出で検索に使用する項目

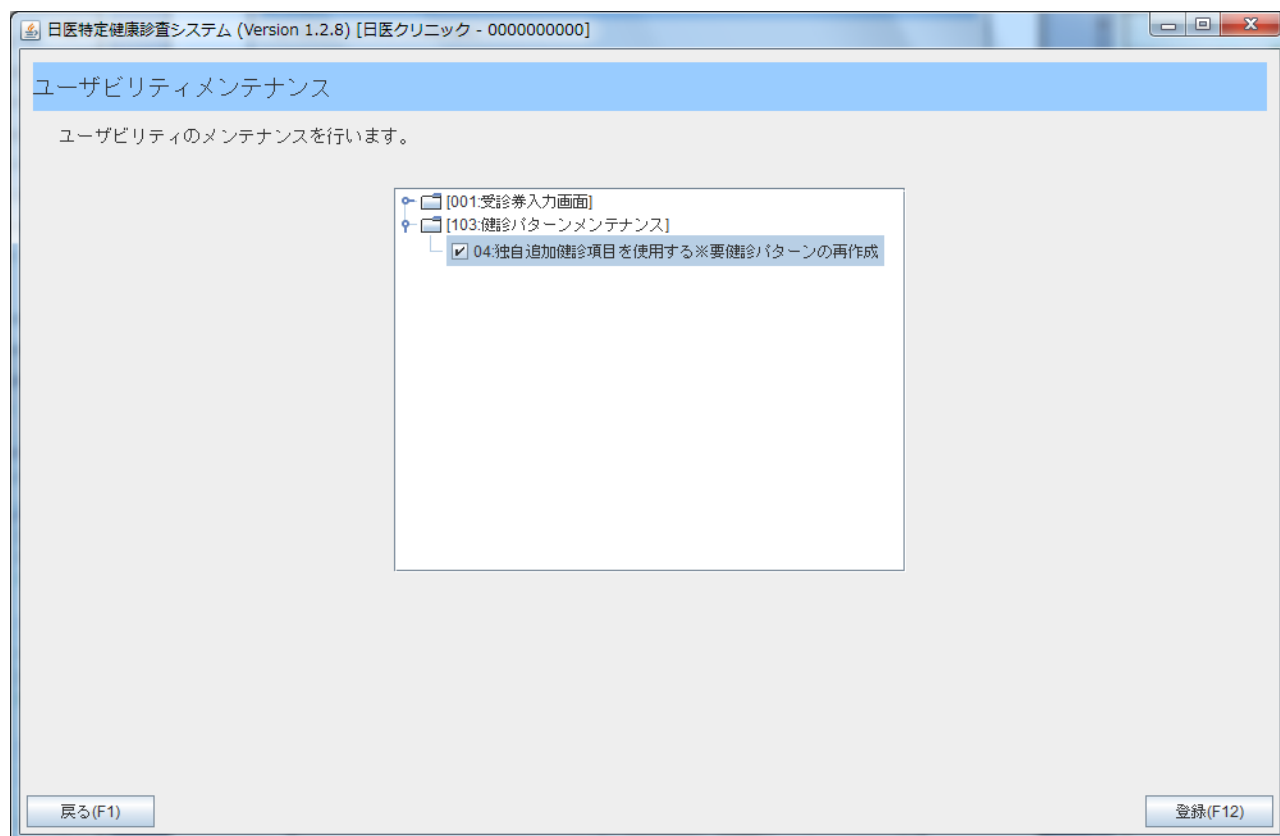
※被保険者証等番号は、HL7 を出力するためには必須です。

例) 04:独自追加健診項目を使用する※要健診パターンの再作成

ユーザビリティメンテナンス画面において、「103:健診パターンメンテナンス」の項目を展開します。



次に「04:独自追加健診項目を使用する※要健診パターンの再作成」にチェックを入れて、登録ボタンを押下します。



下記のように設定が反映されます。

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [機関 1 - 0000000000]

健診パターンメンテナンス | 編集

右表<<健診項目マスタの内容>>から登録する健診項目を選択し、左矢印(←)ボタンを押下し左表<<選択パターンの内容>>へ追加後、登録ボタンを押下してください。項目順を変更する場合は、上(↑)下(↓)移動して下さい。

パターン名独自追加健診

<<選択パターンの内容>>

項目コード	項目名	検査方法
9N501000000000011	メタボリックシンドロ...	
9N506000000000011	保健指導レベル	

↑ (Alt+W)

← (Alt+A)

→ (Alt+S)

↓ (Alt+Z)

<<健診項目マスタの内容>>

項目コード	項目名	検査方法
9N836000000000011	生活機能問診6	
9N841000000000011	生活機能問診7	
9N846000000000011	生活機能問診8	
9N851000000000011	生活機能問診9	
9N856000000000011	生活機能問診10	
9N861000000000011	生活機能問診11	
9N866000000000011	生活機能問診12	
9N871000000000011	生活機能問診13	
9N876000000000011	生活機能問診14	
9N881000000000011	生活機能問診15	
9N886000000000011	生活機能問診16	
9N891000000000011	生活機能問診17	
9N896000000000011	生活機能問診18	
9N901000000000011	生活機能問診19	
9N906000000000011	生活機能問診20	
9N911000000000011	生活機能問診21	
9N916000000000011	生活機能問診22	
9N921000000000011	生活機能問診23	
9N926000000000011	生活機能問診24	
9N931000000000011	生活機能問診25	

戻る(F1) 操作取消(F11) 登録(F12)

設定反映後

日医特定健康診査システム (Version 1.2.8) [機関 1 - 0000000000]

健診パターンメンテナンス | 編集

右表<<健診項目マスタの内容>>から登録する健診項目を選択し、左矢印(←)ボタンを押下し左表<<選択パターンの内容>>へ追加後、登録ボタンを押下してください。項目順を変更する場合は、上(↑)下(↓)移動して下さい。

パターン名独自追加健診

<<選択パターンの内容>>

項目コード	項目名	検査方法
9N501000000000011	メタボリックシンドロ...	
9N506000000000011	保健指導レベル	

↑ (Alt+W)

← (Alt+A)

→ (Alt+S)

↓ (Alt+Z)

<<健診項目マスタの内容>>

項目コード	項目名	検査方法
9N916000000000011	生活機能問診22	
9N921000000000011	生活機能問診23	
9N926000000000011	生活機能問診24	
9N931000000000011	生活機能問診25	
1A105000000166252	尿沈渣 - 白血球	
1A105000000166253	尿沈渣 - 上皮細胞	
1A105000000166266	尿沈渣 - 円柱	
1A105000000166294	尿沈渣 - その他	
1B010000001570111	虫卵判定(塗抹)(便)	
1B025000001570111	ぎょう虫卵判定(便)(セ...	
1B040Z121015Z0111	免疫便潜血反応(1日目)	
1B040Z122015Z0111	免疫便潜血反応(2日目)	
2A090000001930101	好酸球数	
2A110000001963202	網赤血球数	
2A160000001960351	血液像 - 好中球(Neutro)	
2A160000001960352	血液像 - 好中球桿状核(...	
2A160000001960353	血液像 - 好中球分葉核(...	
2A160000001960354	血液像 - 好酸球(Eosino)	
2A160000001960355	血液像 - 好塩基球(Baso)	
2A160000001960356	血液像 - 単球(Mono)	

独自追加健診項目が表示される

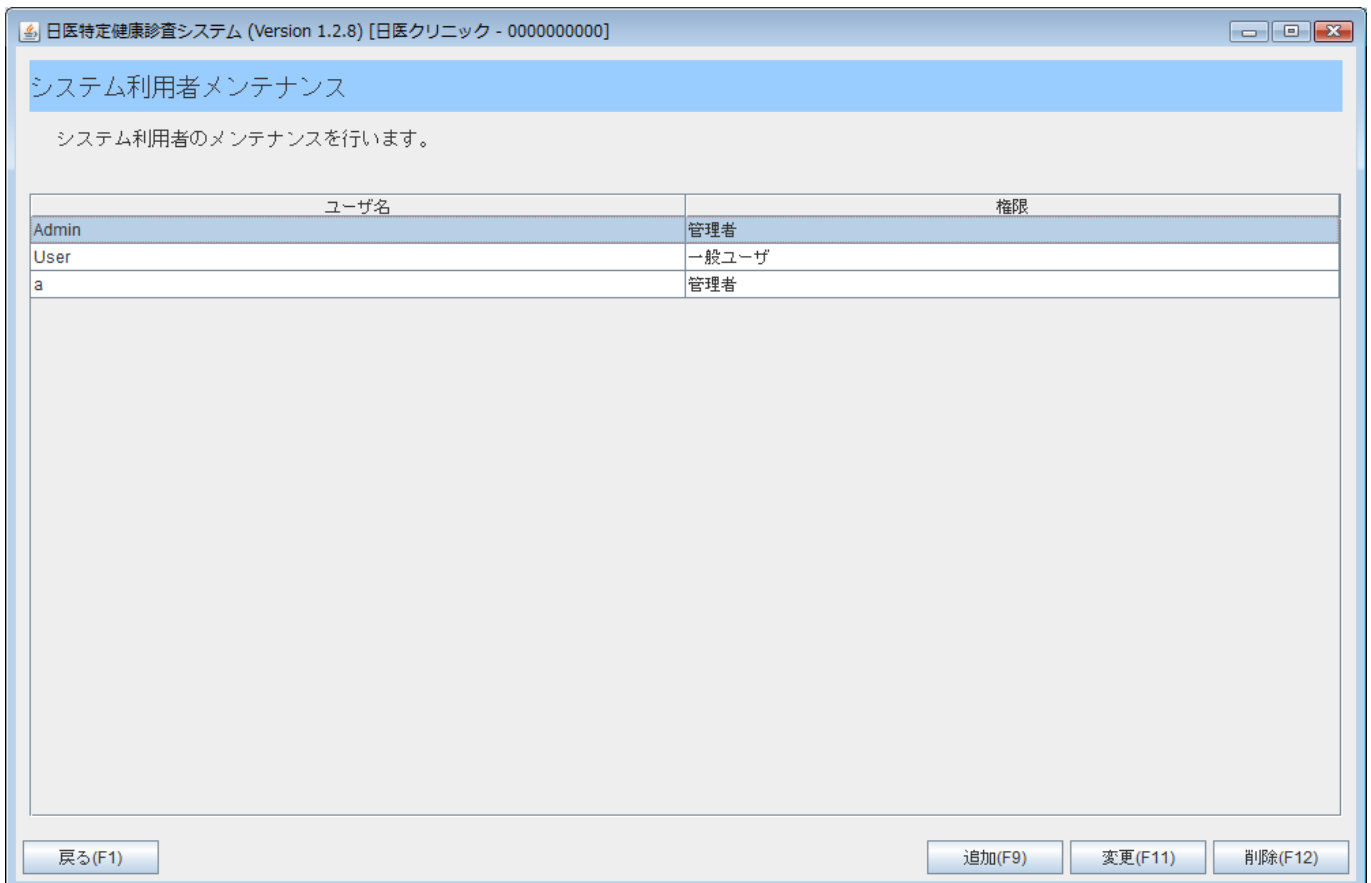
戻る(F1) 操作取消(F11) 登録(F12)

2.18.システム利用者メンテナンス

2.18.1.システム利用者メンテナンス画面

システムメンテナンスメニューにてシステム利用者メンテナンスの項目を選択すると、以下のようなメニュー（一覧）が表示されます。ユーザは、これらの項目から目的の項目を選択します。

システム利用者メンテナンスでは、システムを不用意に利用されないために、利用者ごとにユーザーを登録します。



ユーザ名	権限
Admin	管理者
User	一般ユーザ
a	管理者

画面には、すでに登録されているユーザの一覧が画面に表示されます。まだ登録を行っていないければ何も表示されません。表示されたユーザはセルをクリックすることで選択状態にすることができます。

※「Ctrl」キー+「Tab」キーを押下する事で一覧から「追加」ボタンにフォーカス遷移します。

上記画面の項目は以下のとおりです。

追加ボタン

システム利用者を登録します。

変更ボタン

選択されたユーザの情報を変更します。

削除ボタン

選択されたユーザの情報を削除します。

戻るボタン

システム利用者メンテナンスを終了します。

なお、システムにはあらかじめ以下のユーザが登録されています。

ユーザ名 : Admin

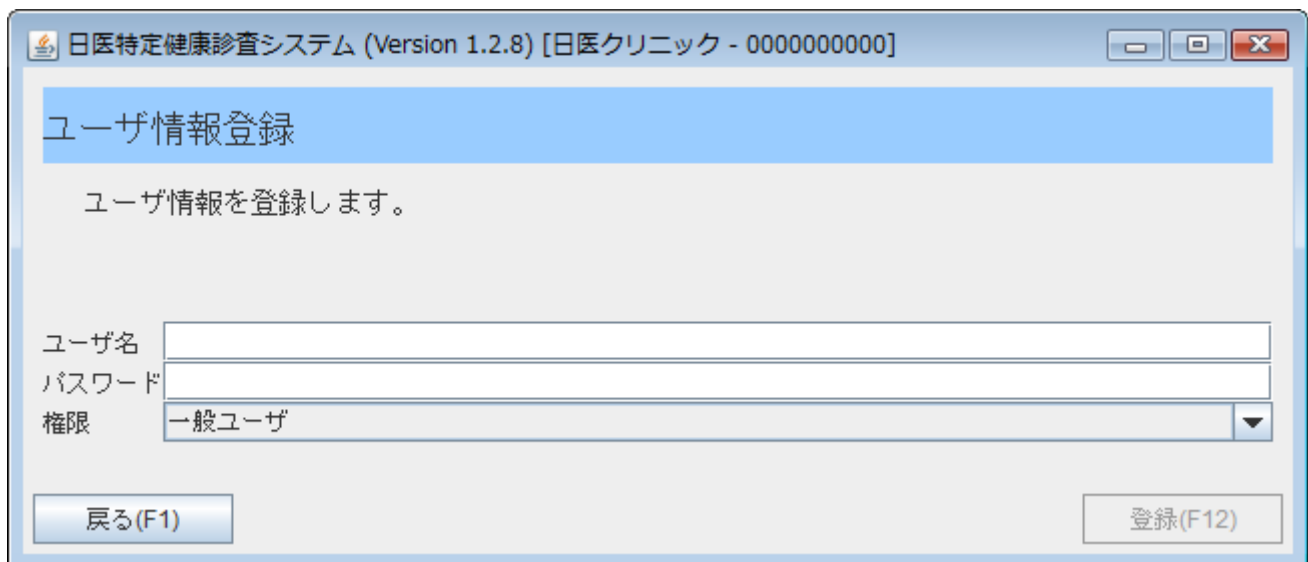
パスワード : Admin

ユーザ名 : User

パスワード : User

2.18.2.システム利用者追加

システム利用者メンテナンス画面で追加ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。



上記の画面の項目は以下のとおりです。

ユーザ名

登録するユーザ名を入力します。

パスワード

登録するユーザに対応するパスワードを入力します。

権限

登録するユーザがどの権限のユーザかを指定します。

管理者でなければ、一般ユーザを選択します。



登録ボタン

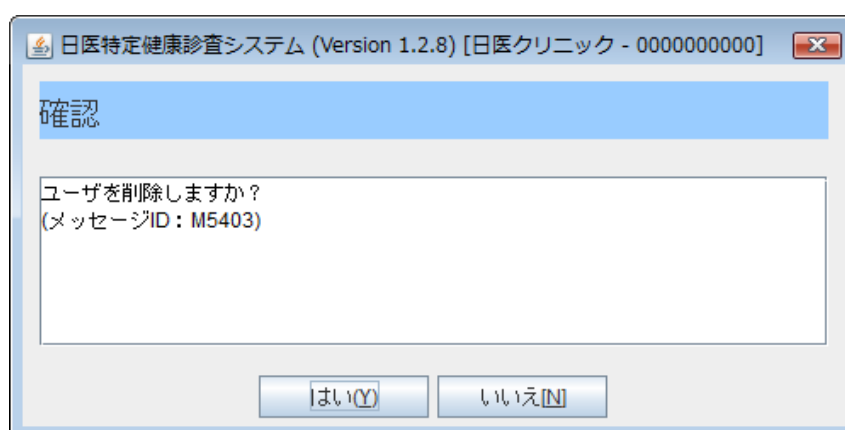
入力された情報を DB に登録します。ユーザ名、パスワードが入力された状態でなければ選択することができません。

戻るボタン

ユーザー情報登録を終了します。入力された情報は登録されません。システム利用者メンテナンス画面に戻ります。

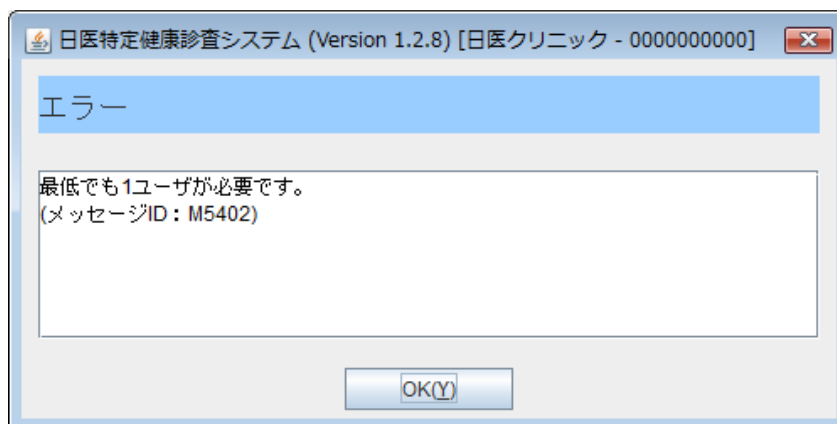
2.18.3. システム利用者削除

システム利用者メンテナンス画面で、ユーザを選択した状態で削除ボタンを押すと、選択されたユーザ情報を削除します。その際、以下のような確認メッセージが出ます。



この画面で、「はい」を押すと、削除が実行されます。

ただし、システム利用者は最低限一人いなければならないため、最後の一人は削除することができません。その際、以下のようなエラーメッセージが表示されます。



この画面で「OK」を押すと、システム利用者メンテナンス画面に戻ります。

2.19.バックアップ&復元

2.19.1.バックアップ&復元画面

システムメンテナンスメニューにてバックアップ&復元の項目を選択すると、以下のようなメニュー（一覧）が表示されます。ユーザは、これらの項目から目的の項目を選択します。

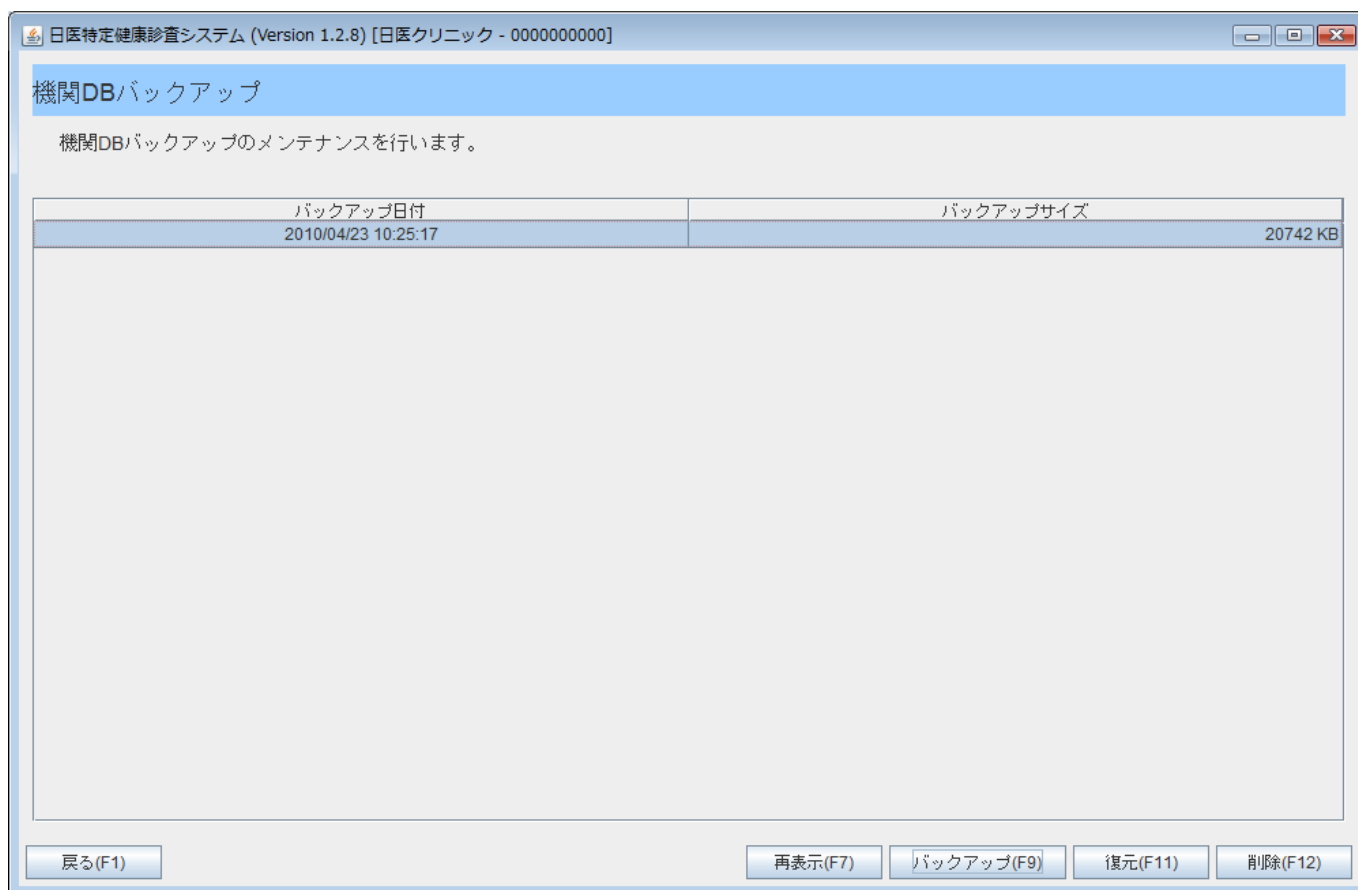
バックアップ&復元では、特定健診ソフトウェアで利用する DB のバックアップを取ることができます。これは、万が一 DB が破損もしくは誤ってデータを削除してしまった場合でも、先にバックアップした時点のデータを復元することができます。そのような観点からも、運用上は日時業務終了時点でバックアップをとることをお勧めします。

バックアップ&復元の機能は、ある時点での DB のコールドコピーを作成するものです。ホットダンプではありません。Firebird はひとつの DB を、ひとつのファイルシステム上のファイルとして保持しています。この機能は、その特徴を利用し、DB のバックアップを容易に行うための機能です。

バックアップされたDBファイル（拡張子FDBのファイル）はインストールフォルダー以下の「./Backup/Kikan/機関番号/バージョン_YYMMDDHHMMSS.FDB²」フォルダの中の「System」フォルダに保存されます。

なお、この機能は、システム管理ソフトウェアのシステム DB バックアップとは独立しています。そのため、運用上必要なすべてのファイルをバックアップするには、特定健診ソフトウェアのバックアップ&復元機能と同時に、システム管理ソフトウェアのシステム DB バックアップ機能を利用する必要があります。

² YYYY・西暦4桁、MM・月2桁、DD・日付2桁、HH・時間2桁、MM・分2桁、SS・秒2桁



画面には、すでにバックアップされている健診機関 DB の一覧が画面に表示されます。まだバックアップを行っていないければ何も表示されません。表示された DB はセルをクリックすることで選択状態にすることができます。

※フォーカスは「Enter」キーを押下すると遷移します。

※「Ctrl」キー+「Tab」キーを押下する事で一覧から「再表示」ボタンにフォーカス遷移します。

上記画面の項目は以下のとおりです。

再表示

バックアップされている健診機関 DB の一覧を再表示します。

バックアップ

健診機関 DB のバックアップを行います。

復元

一覧から選択された DB を復元します。

削除

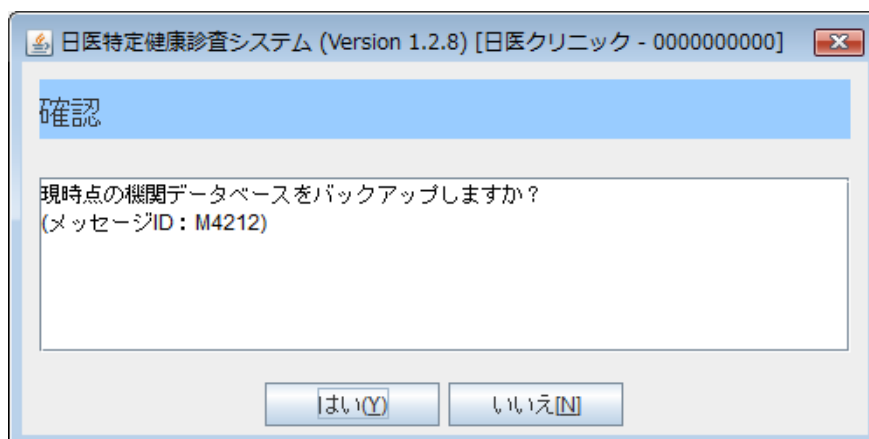
一覧から選択された DB を削除します。

戻る

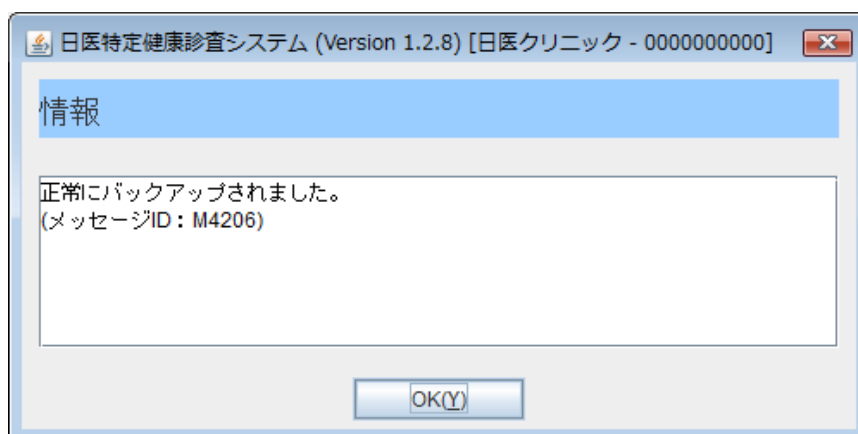
バックアップ&復元を終了します。システムメンテナンスメニューに戻ります。

2.19.2.健診機関DBバックアップ

バックアップ&復元画面で、バックアップボタンを押すと、以下の確認ダイアログが表示されます。



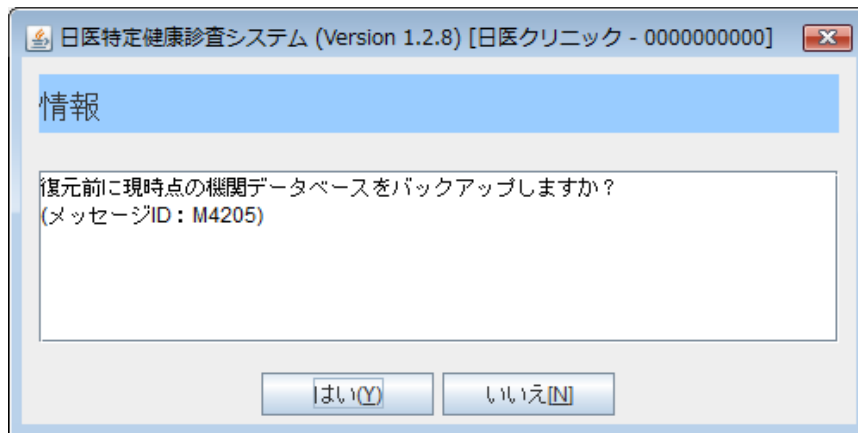
この画面で、「はい」を押すと、健診機関 DB のバックアップが実行されます。
正常にバックアップが完了すると、以下のようなメッセージが表示されます。



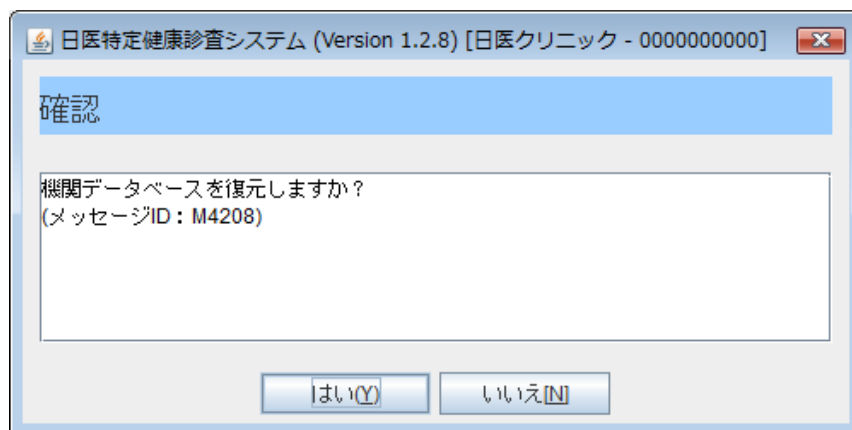
この画面で、「OK」ボタンを押すと、バックアップ&復元画面に戻ります。

2.19.3.健診機関DB復元

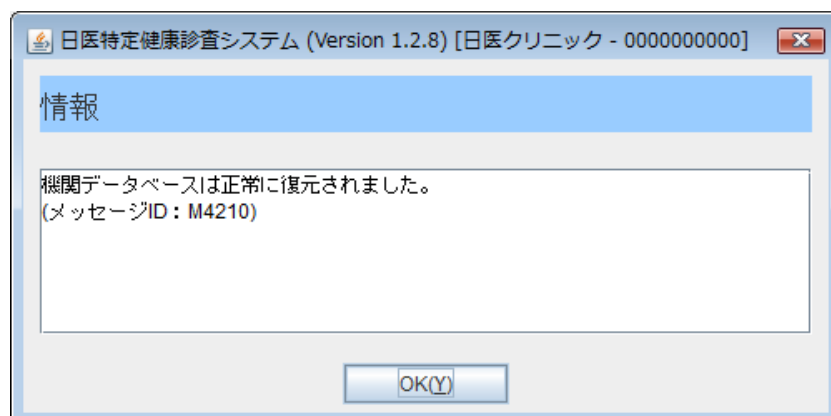
バックアップ&復元画面で、バックアップされている DB をひとつ選択した状態で復元ボタンを押すと、選択された健診機関 DB を復元します。その際、以下のような確認メッセージが出ます



この画面で、「はい」を押すと、復元する前に現在の健診機関 DB のバックアップを行います。その後、対象の健診機関 DB に切り替えられます。その後、以下の確認ダイアログが出ます。



この画面で、「はい」を押すと、健診機関 DB の復元が実行されます。正常に復元が完了すると、以下のようなメッセージが表示されます。

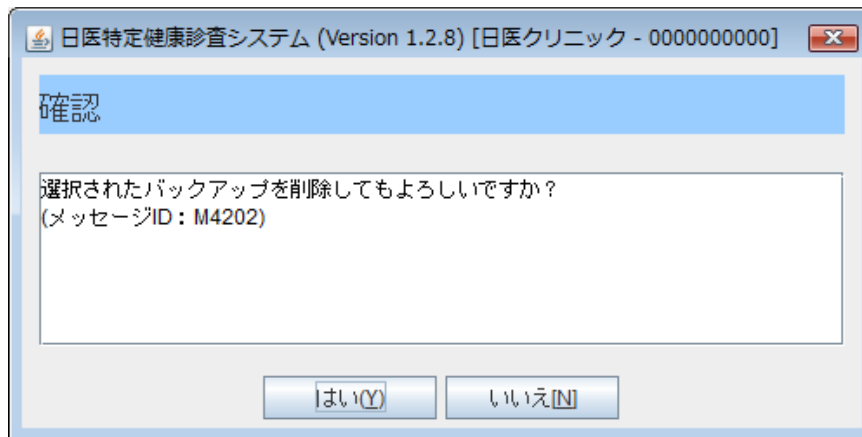


この画面で、「OK」ボタンを押すと、バックアップ&復元画面に戻ります。

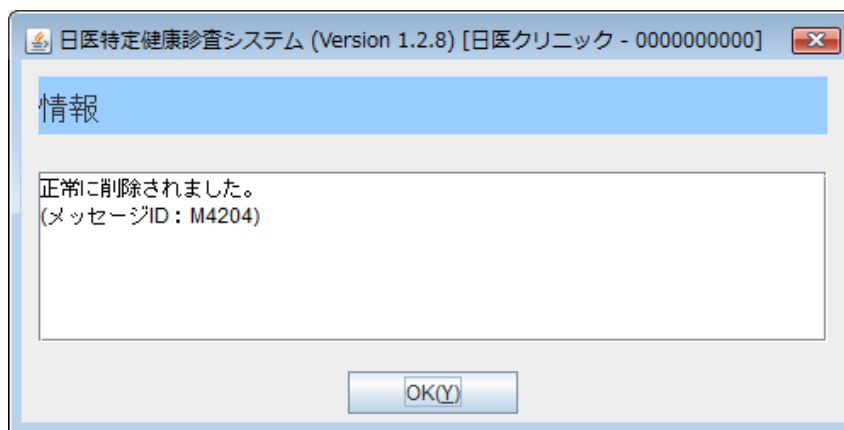
2.19.4.バックアップ済みDBの削除

日時業務終了時点で、すべての DB のバックアップをするという運用を続けていると、バックアップ DB ファイルが肥大化し、ストレージを圧迫する恐れがあります。そのような場合、バックアップ DB ファイルのうち、古すぎて不要なファイルなどを削除することが可能です。

バックアップ&復元で、バックアップされている DB を選択した状態で削除ボタンを押すと、選択された健診機関 DB を削除します。その際、以下のような確認メッセージが出ます。



この画面で、「はい」を押すと、選択されたバックアップファイルの削除を実行します。正常に削除が完了すると、以下のようなメッセージが表示されます。



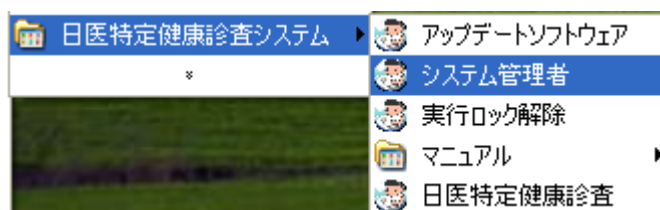
削除するバックアップファイルが、OS や他のアプリケーションなどから何らかの形でロックされている場合、バックアップファイルの削除に失敗する場合がありますが、特定健診ソフトウェアの動作へは一切影響ありません。

3. システム管理ソフトウェアの利用

3.1. ソフトウェアの起動とログイン

3.1.1 ソフトウェアの起動

システム管理ソフトウェアを起動するには、スタートメニューから「プログラム → 日医特定健康診査システム → システム管理」の順に選択します。

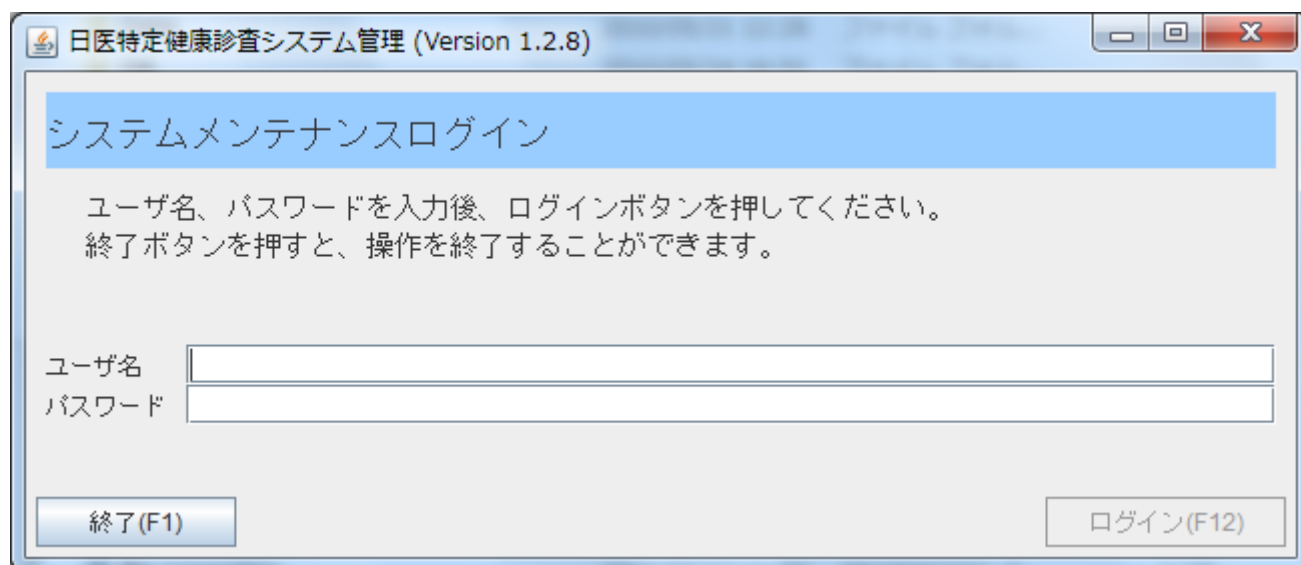


システム管理ソフトウェアが起動すると、以下のようなスプラッシュ画面が表示されます。



3.1.2. ログイン

スプラッシュ画面が表示された後、以下のようなログイン画面が表示されます。



日医特定健康診査システム管理 (Version 1.2.8)

システムメンテナンスログイン

ユーザ名、パスワードを入力後、ログインボタンを押してください。
終了ボタンを押すと、操作を終了することができます。

ユーザ名

パスワード

終了(F1) ログイン(F12)

上記の画面の項目は以下のとおりです。

ユーザ名 : システム管理ソフトウェアへログインするユーザ名を入力します。

パスワード : システム管理ソフトウェアへログインするユーザのパスワードを入力します。

なお、システムにあらかじめ登録されているユーザとパスワードは以下のとおりです。

ユーザ名 : Admin

パスワード : Admin

3.2.システム管理者用メンテナンスメニュー

3.2.1 システム管理者メニュー

システム管理ソフトウェアにログインすると、以下のようなメニュー（一覧）が表示されます。ユーザは、これらの項目から目的の項目を選択します。



上記画面の項目は以下のとおりです。

健診機関情報メンテナンス

特定健診ソフトウェアで利用する健診機関のメンテナンスを行います。

システム管理ユーザー情報メンテナンス

システム管理ソフトウェアで利用するユーザ情報のメンテナンスを行います。

システム DB バックアップ

システム管理に用いる DB のバックアップおよび復元を行います。

バージョンボタン

メインバージョン(MainVersion x. x. x) モジュールバージョン(Module x. x. x) スキーマバージョン(Schema x. x. x) データバージョン(DBData x. x. x)を掲載したスプラッシュ画面を表示します。

ログイン画面に戻る

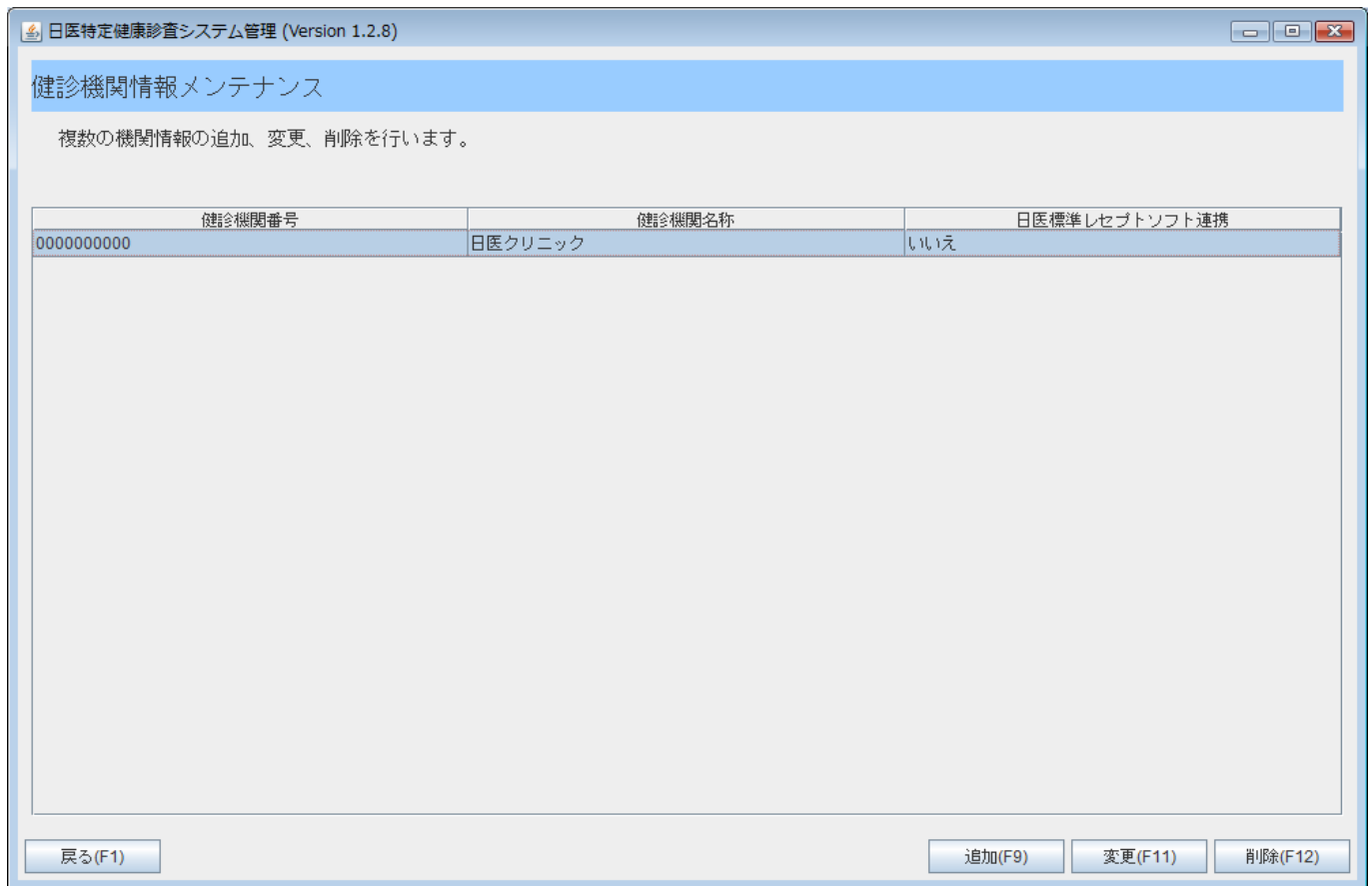
ログイン画面に戻ります。

終了ボタン

システム管理やメンテナンスを終了します。アプリケーションが終了します。

3.3.健診機関情報メンテナンス

システム管理者用メンテナンスメニューで健診機関情報メンテナンスを選択すると、以下のような画面が表示されます。ユーザはこの画面に従って複数機関メンテナンスを行います。



健診機関番号	健診機関名称	日医標準レセプトソフト連携
0000000000	日医クリニック	いいえ

※ フォーカスは「Enter」キーを押下すると遷移します。一覧内のフォーカス遷移は「↑」「↓」キー押下で行います。

※ 一覧内で「Enter」キーを押下すると「追加・編集」画面に遷移します。

※ 「Ctrl」キー+「Tab」キーを押下する事で一覧から「追加」ボタンにフォーカス遷移します。

上記画面の項目は以下のとおりです。

健診機関一覧

現在登録されている健診機関の一覧です。

追加ボタン

健診機関の追加を行います。

変更ボタン

選択された健診機関情報の変更を行います。

削除ボタン

選択された健診機関を削除します。

戻るボタン

複数機関情報メンテナンスを終了します。

なお、健診機関一覧が表示されているとき、その機関のセルをクリックすると、次のような画面に示すように、表示されている健診機関を選択することができます。

変更ボタンおよび削除ボタンは、この状態になったときだけ機能します。

登録する健診機関の番号を間違えた場合には削除してから登録しなおする必要があります。
※その際、すでにデータが登録されている場合には、データもすべて削除されます。

3.3.1.健診機関追加

複数機関メンテナンス画面で、追加ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。ユーザはこの画面にしたがって健診機関の追加を行います。

機関情報メンテナンス | 追加・編集

機関情報の追加を行います。値を編集後、登録ボタンを押して下さい。
医師会等でとりまとめて送付される場合以外は、送付元機関番号には、健診機関番号と同じ番号を入れてください。

機関情報

特定健診機関番号 (半角数字10桁)
 送付元機関番号 (半角数字10桁以下)
 (請求事務代行含む)
 名称 (全角20文字以内)
 郵便番号 (半角数字7桁)
 所在地
 地番方書 (所在地と地番方書を合わせて、全角40文字以内)
 電話番号 (半角数字11桁以下)

日レセ連携情報

日医標準レセプトソフトと連携する ☐ はい ☒ いいえ

IPアドレス (IPv4形式)
 ポート番号 (半角数字6桁以下)
 データベース名 (半角英数字のみ)
 プロトコル (半角数字のみ)
 データベースのユーザID (半角英数字のみ)
 データベースユーザのパスワード (半角英数字のみ)
 日レセのユーザID (半角英数字のみ)
 日レセのパスワード (半角英数字のみ)
 文字列のエンコーディング (半角英数字のみ)
 患者IDのフォーマット 先頭0埋めをする ☐ はい ☒ いいえ
 患者IDの桁数 桁

接続テスト

凡例 入力必須項目 入力不可能項目

戻る(F1) 登録(F12)

上記の画面の項目は以下のとおりです。

必須項目に関してはフォームの色が黄色になっています。

「機関情報」

特定健診機関番号

登録する特定健診機関番号を入力します。特定健診機関番号はあらかじめ各機関にてご確認ください。

送付元機関

電子的交換ファイルアーカイブの送付元機関番号を入力します。通常、登録する特定健診機関番号を入力します。

名称

登録する健診機関の名称を入力します。

郵便番号

ハイフン無し半角数字のみで入力します。

登録済の郵便番号マスタから自動検索し、所在地欄に該当の住所が反映されます。

※郵便番号マスタは Ver1.2.8 から適応されており、市町村の合併等で変更があった場合、適宜更新されます。

所在地

郵便番号で自動検索された住所が反映されます。

※該当する住所が無かった場合、手入力します。

地番方書

登録する健診機関の地番・方書を入力します。

※英数字も「全角」で、ハイフンは「ー(長音)」で入力します。

電話番号

登録する健診機関の電話番号を入力します。

日医標準レセプトソフトと連携する「日レセ」と連携する場合は、「はい」を選んで以下の項目を設定指定ください。以下の項目は日レセと連携する場合のみ入力します。

※ 連携には日医標準レセプトソフトでの設定が必要です。

詳細は別冊「日レセ連携手順書」をご参照下さい。

「日レセ関係情報」

IP アドレス

日レセサーバの I P アドレスを入力します。

ポート番号

日レセサーバのポート番号を入力します。通常は「5432」です。

データベース名

日レセサーバにあるデータベース名を入力します。通常は「orca」です。

プロトコル

通常は「1」を入力します。(1:7.X, 6.4 2:6.3 3:6.2)

データベースのユーザ I D

日レセサーバのデータベースに接続するユーザ I Dを入力します。通常は「orca」です。

データベースユーザのパスワード

日レセサーバのデータベースに接続するユーザのパスワードを入力します。

日レセ連携手順書での作業時に設定したパスワードを入力してください。

通常は「orca123」です。

日レセのユーザ I D

日レセサーバのデータベースに接続するユーザ I Dを入力します。通常は「ormaster」です。

日レセのパスワード

日レセサーバのデータベースに接続するユーザのパスワードを入力します。

日レセのセットアップ時に設定したパスワードを入力してください。

通常は「ormaster123」です。

文字列のエンコーディング

通常は「UTF-8」を入力します。

患者IDのフォーマット、患者IDの桁

患者ID番号の先頭を0埋めするか選択する。

例) 桁数を8桁にしたい場合：12345 → 00012345

※ 日レセの設定が完了したら確認のため「接続テスト」のボタンを押し、接続に成功の旨のメッセージが表示されることを確認してください。

入力が完了したら、「登録」ボタンを押した後、「戻る」ボタンを押します。

接続テスト

日レセと連動する際に、上記の設定を確認するために使用します。

※日医標準レセプト側の設定については公式サイトを参考に願います (2008/05/16)

「ボタン」

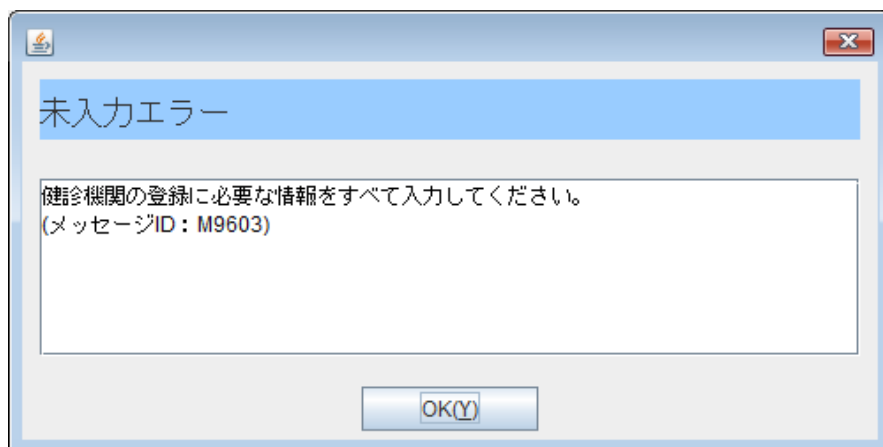
登録ボタン

入力された情報がDBに登録されます。

戻るボタン

健診機関追加を終了します。入力された情報は登録されません。

健診機関に登録する際は、地番方書以外のすべての項目を入力してください。すべての項目を入力しないで登録ボタンを押すと、以下のようなエラーが表示されます。



3.3.2. 日医標準レセプトソフトとの連携

日医特定健康診査システム管理 (Version 1.2.8)

機関情報メンテナンス | 追加・編集

機関情報の追加を行います。値を編集後、登録ボタンを押して下さい。
医師会等でとりまとめて送付される場合以外は、送付元機関番号には、健診機関番号と同じ番号を入れてください。

機関情報		日レセ連携情報	
特定健診機関番号	0000000000 (半角数字10桁)	日医標準レセプトソフトと連携する	<input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
送付元機関番号 (請求事務代行含む)	0000000000 (半角数字10桁以下)	IPアドレス	192.168.2.247 (IPv4形式)
名称	日医クリニック (全角20文字以内)	ポート番号	5432 (半角数字6桁以下)
郵便番号	0500074 (半角数字7桁)	データベース名	orca (半角英数字のみ)
所在地	北海道1-14-14	プロトコル	1 (半角数字のみ)
地番方書		データベースのユーザID	orca (半角英数字のみ)
電話番号	0143433550 (半角数字11桁以下)	データベースユーザのパスワード	orca (半角英数字のみ)
		日レセのユーザID	ormaster (半角英数字のみ)
		日レセのパスワード	ormaster (半角英数字のみ)
		文字列のエンコーディング	UTF-8 (半角英数字のみ)
		患者IDのフォーマット	先頭0埋めをする <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ
			患者IDの桁数 8 桁
			接続テスト(C)

凡例 入力必須項目 入力不可能項目

戻る(F1) 登録(F12)

3.3.3. 健診機関情報変更

複数機関メンテナンス画面で、健診機関を選択した状態で変更ボタンを押すと、健診機関追加画面に、あらかじめ入力した情報がセットされた状態で表示されます。ユーザはこの画面で健診機関情報の変更を行います。

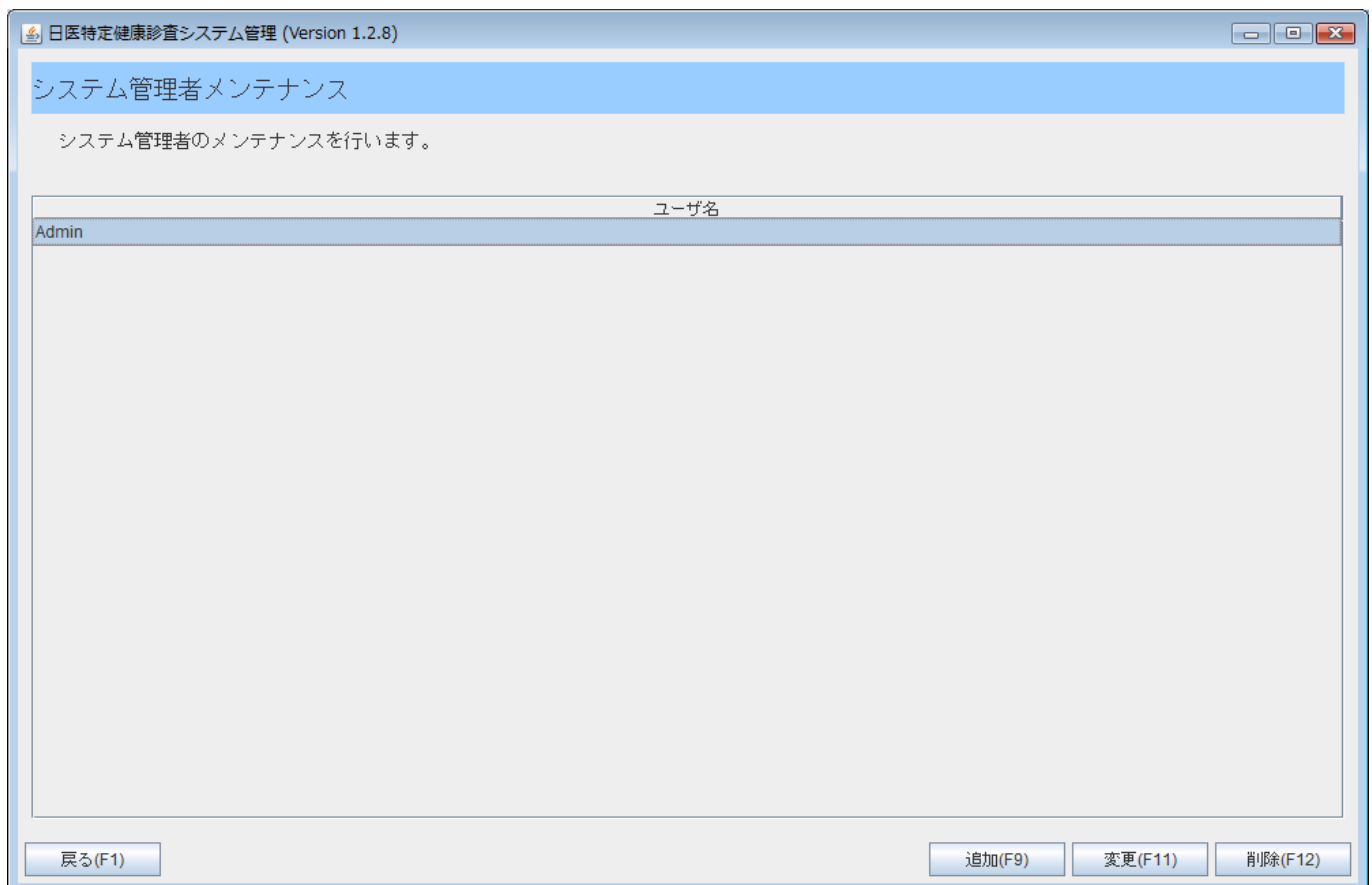
3.3.4. 健診機関削除

複数機関メンテナンス画面で、健診機関を選択した状態で削除ボタンを押すと、選択された健診機関を削除します。

3.4.システム管理ユーザ情報メンテナンス

システム管理者用メンテナンスメニューでシステム管理ユーザ情報メンテナンスを選択すると、以下のような画面が表示されます。

システム管理ユーザ情報メンテナンスでは、システムを不用意に利用されないために、利用者ごとにユーザを登録します。



すでに登録されているユーザ名の一覧が画面に表示されます。表示されたユーザはセルをクリックすることで選択状態にすることができます。

上記画面の項目は以下のとおりです。

追加ボタン

システム管理ユーザを登録します。

変更ボタン

選択されたユーザの情報を変更します。

削除ボタン

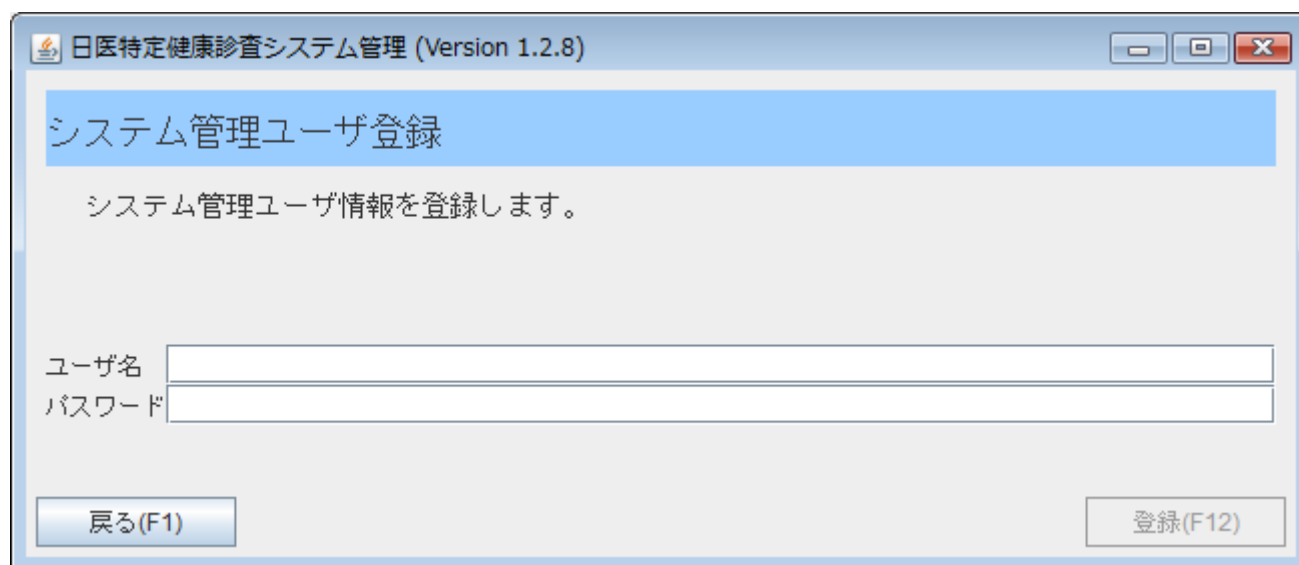
選択されたユーザの情報を削除します。

戻るボタン

システム管理者ユーザ情報メンテナンスを終了します。

3.4.1. システム管理ユーザ追加

システム管理ユーザ情報メンテナンス画面で追加ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。



日医特定健康診査システム管理 (Version 1.2.8)

システム管理ユーザ登録

システム管理ユーザ情報を登録します。

ユーザ名

パスワード

戻る(F1) 登録(F12)

上記の画面の項目は以下のとおりです。

ユーザ名

登録するユーザ名を入力します。

パスワード

登録するユーザに対応するパスワードを入力します。

登録ボタン

入力された情報を DB に登録します。ユーザ名、パスワードが入力された状態でなければ選択することができません。

戻るボタン

システム管理ユーザ情報登録を終了します。入力された情報は登録されません。

3.4.2. システム管理ユーザ情報変更

システム管理ユーザ情報メンテナンス画面で、ユーザを選択した状態で変更ボタンを押すと、以下の画面のように、ユーザ名があらかじめ入力された状態で表示されます。



この画面では、パスワードのみ変更することができます。

登録ボタン

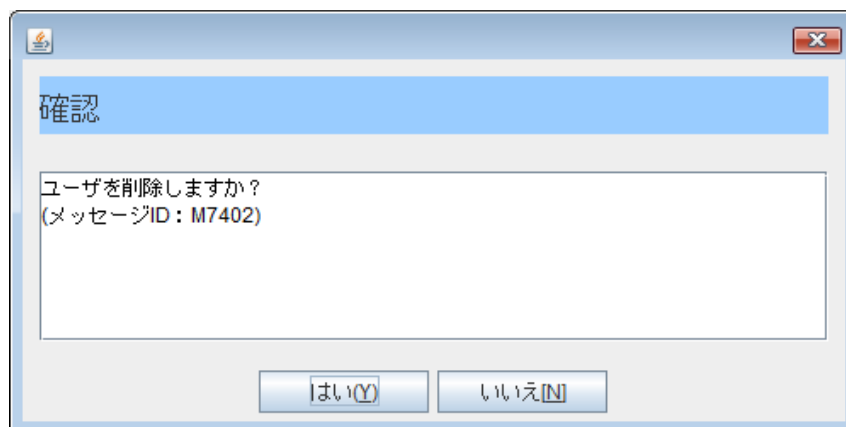
入力された情報を DB に登録します。パスワードが入力された状態でなければ選択することができません。

戻るボタン

システム管理ユーザ情報変更を終了します。入力された情報は登録されません。

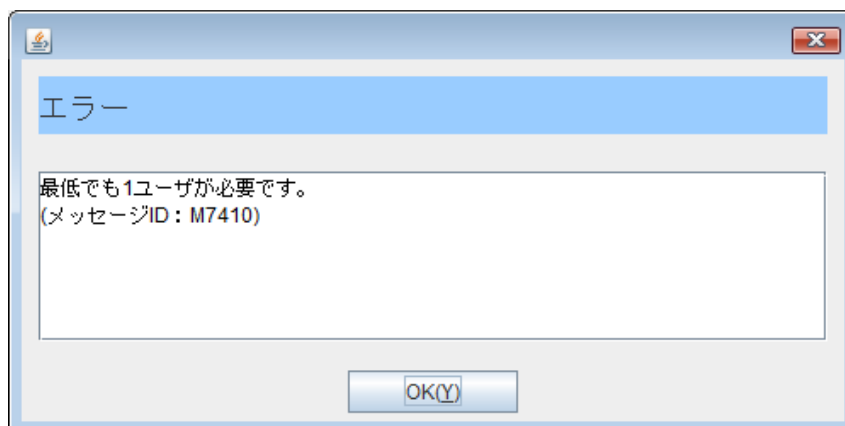
3.4.3. システム管理ユーザ削除

システム管理ユーザ情報メンテナンス画面で、ユーザを選択した状態で削除ボタンを押すと、選択されたユーザ情報を削除します。その際、以下のような確認メッセージが出ます。



この画面で、「はい」を押すと、削除が実行されます。

ただし、システム管理ユーザは最低限一人いなければならないため、最後の一人は削除することができません。その際、以下のようなエラーメッセージが表示されます。



この画面で「OK」を押すと、ユーザー一覧に戻ります。

3.5.システムDBバックアップ

3.5.1.システムDBバックアップ画面

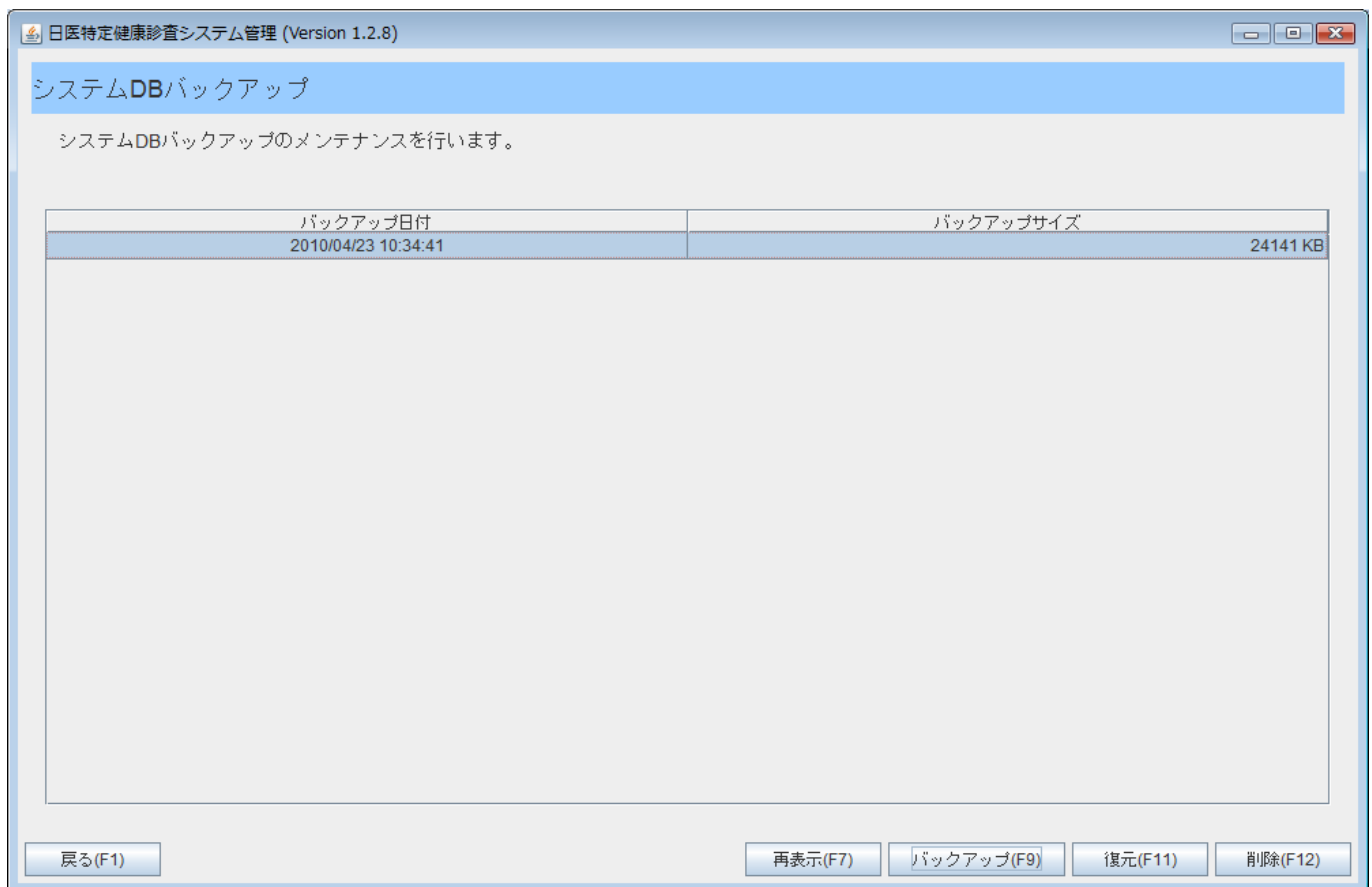
システム管理者用メンテナンスメニューでシステム DB バックアップを選択すると、以下のような画面が表示されます。

ユーザはこの画面に従ってシステム DB バックアップおよび復元を行います。

システム Db バックアップ機能は、ある時点での DB のコールドコピーを作成するものです。ホットダンプではありません。Firebird はひとつの DB を、ひとつのファイルシステム上のファイルとして保持しています。この機能は、その特徴を利用し、DB のバックアップを容易に行うための機能です。

バックアップされたDBファイル（拡張子FDBのファイル）はインストールディレクトリ以下の「./Backup/System/バージョン_YYYYMMDDHHMMSS/³」フォルダに保存されます。

バックアップされるファイル名は、すべて「System.FDB」です。



すでにバックアップされているシステム DB の一覧が画面に表示されます。表示された DB はセルをクリックすることで選択状態にすることができます。

上記画面の項目は以下のとおりです。

再表示

バックアップされているシステム DB の一覧を再表示します。

³ YYYY・西暦4桁、MM・月2桁、DD・日付2桁、HH・時間2桁、MM・分2桁、SS・秒2桁

バックアップ

システム DB のバックアップを行います。

復元

一覧から選択された DB を復元します。

削除

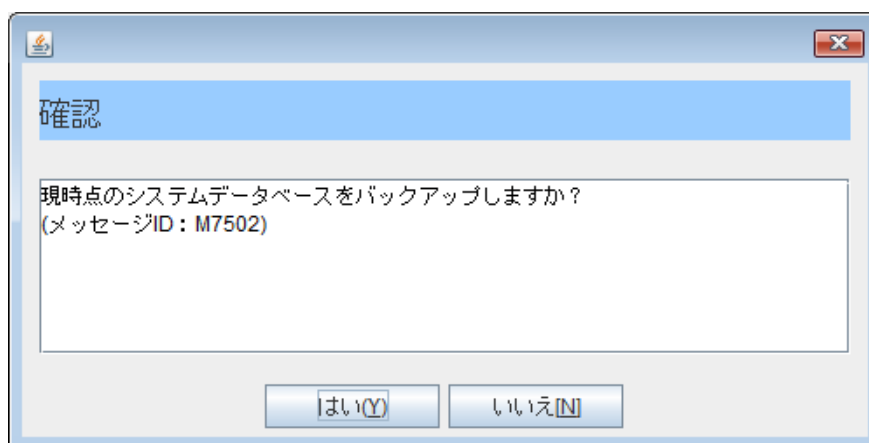
一覧から選択された DB を削除します。

戻る

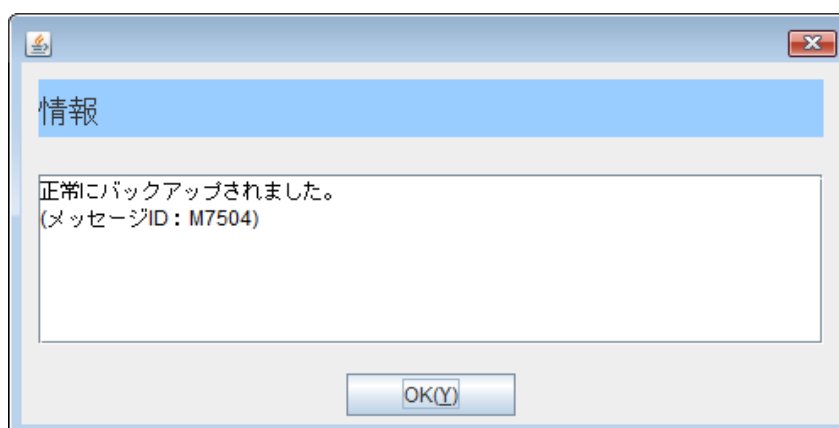
システム DB バックアップを終了します。

3.5.2. システムDBバックアップ

システム DB バックアップ画面で、バックアップボタンを押すと、以下の確認ダイアログが表示されます。



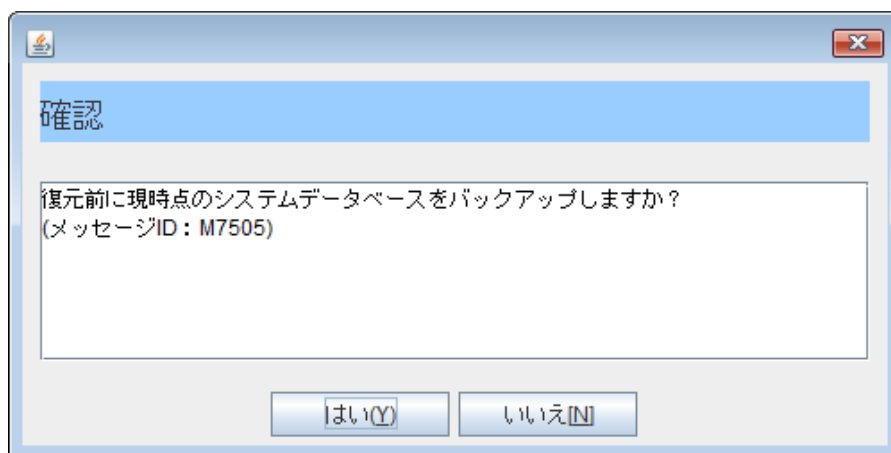
この画面で、「はい」を押すと、システム DB のバックアップが実行されます。正常にバックアップが完了すると、以下のようなメッセージが表示されます。



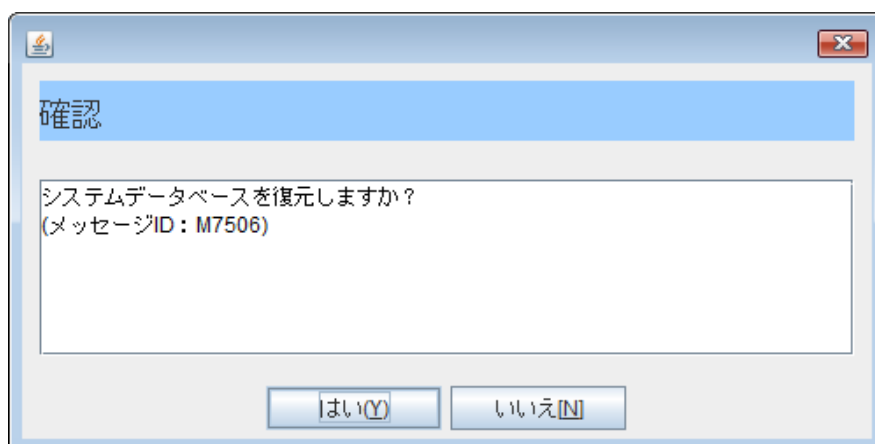
この画面で、「OK」ボタンを押すと、システム DB バックアップに戻ります。

3.5.3. システムDBの復元

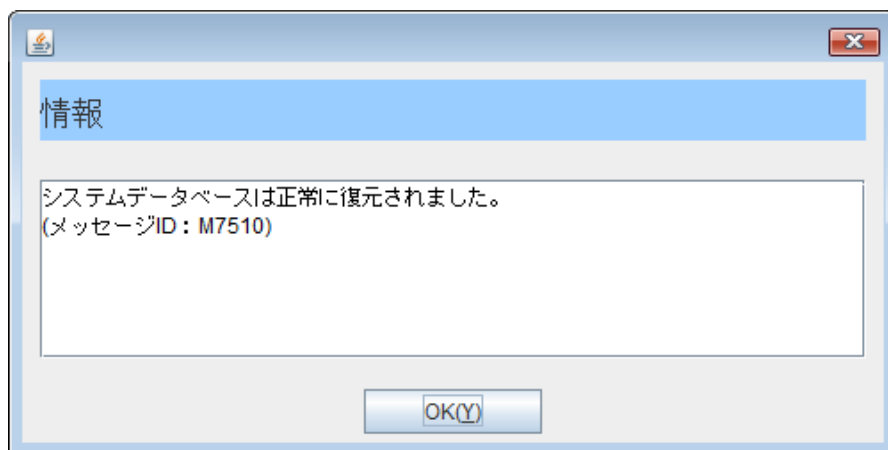
システムDBバックアップ画面で、バックアップされているDBを選択した状態で復元ボタンを押すと、選択されたシステムDBを復元します。その際、以下のような確認メッセージが出ます



この画面で、「はい」を押すと、復元する前に現在のシステムDBのバックアップを行います。その後、対象のシステムDBに切り替えられます。その後、以下の確認ダイアログが出ます。

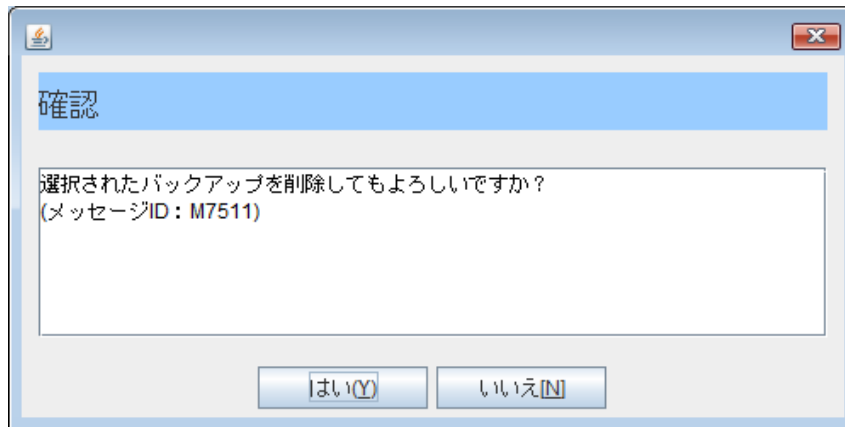


この画面で、「はい」を押すと、システムDBの復元が実行されます。正常に復元が完了すると、以下のようなメッセージが表示されます。

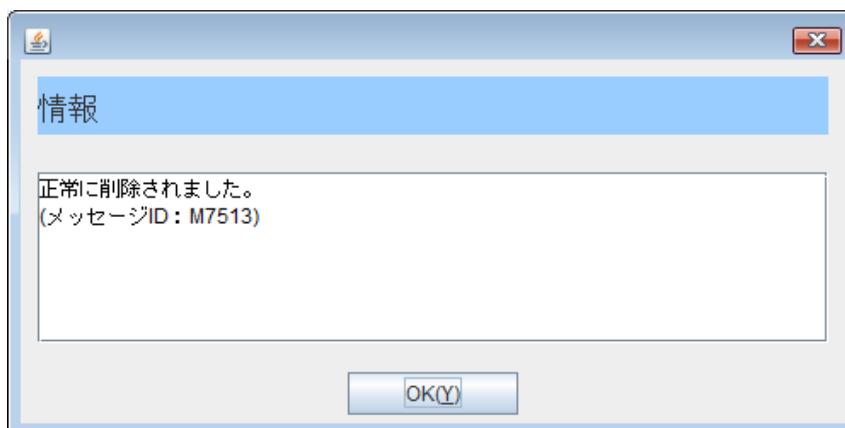


3.5.4.バックアップ済みDBの削除

システムDBバックアップ画面で、バックアップされているDBを選択した状態で削除ボタンを押すと、選択されたシステムDBを削除します。これは、バックアップファイルが増えた際、古いものを削除する時に使います。その際、以下のような確認メッセージが出ます。

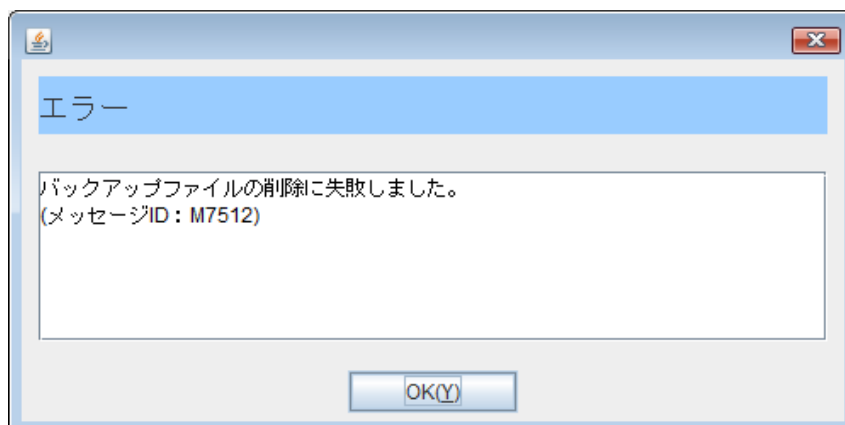


この画面で、「はい」を押すと、選択されたバックアップファイルの削除を実行します。正常に削除が完了すると、以下のようなメッセージが表示されます。



削除するバックアップファイルが、OS や他のアプリケーションなどから何らかの形でロックされている場合、バックアップファイルの削除に失敗します。

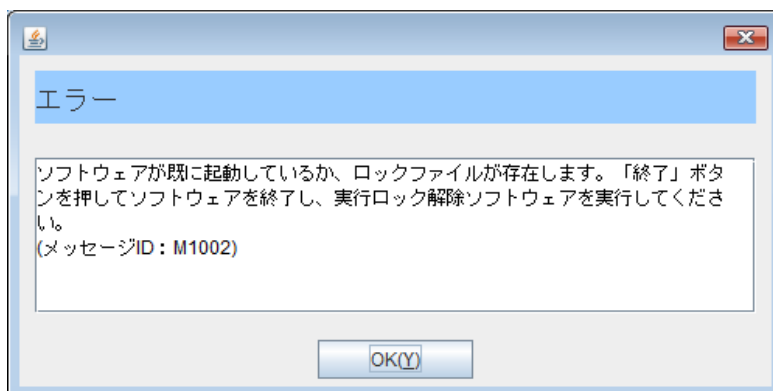
この際、以下のようなメッセージが表示されます。



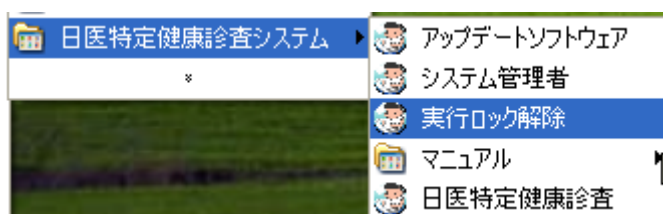
なお、バックアップファイルの削除に失敗した場合、システム管理ソフトウェアの動作へは一切影響はありません。

3.6. 「ソフトウェアは既に起動されています。」と表示される場合の対応

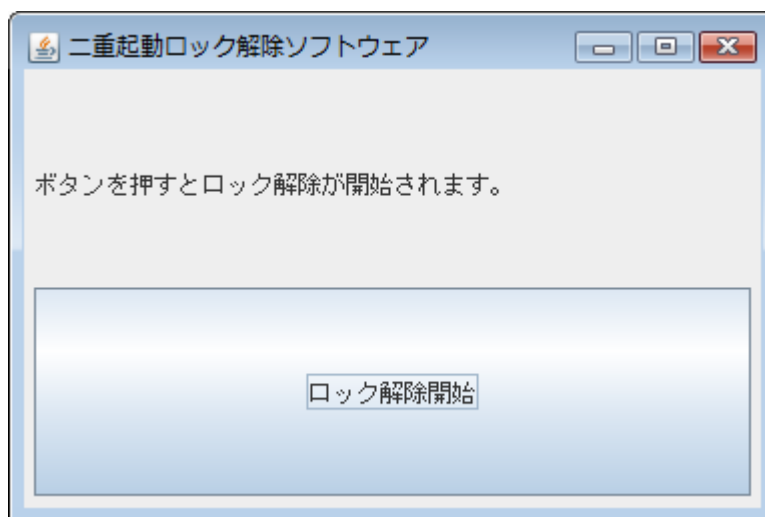
システム起動時に「ソフトウェアは既に起動されています。」と下記の画面が表示されることがあります。



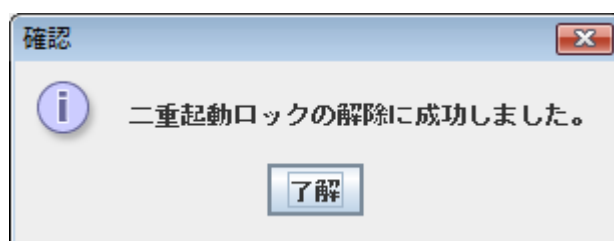
この場合は上記画面にて「OK」ボタンを押していただき、システムを終了させてください。その後、日医特定健康診査システムの実行ロック解除ソフトウェアを選択してください。



下記画面が表示されますので、ロック解除開始のボタンを押してください。



二重起動ロックの解除に成功しました。と表示されればシステムの起動が可能になります。



※ システムが異常終了した場合や、ハングアップした場合に、二重起動防止用ロックファイルが残ったままになります。そのため、次回起動時にロックファイルがあると二重起動していると判断して、「ソフトウェアは既に起動されています。」とメッセージが表示されます。

実行ロック解除ソフトウェアにて二重起動防止用ロックファイルを削除することにより、正常に起動できるようになります。

4. 入力 of 簡略

操作をする上で、ファンクションキーやTABキーなどのショートカットキーを利用することにより、メニュー選択・データ登録などを行うことができます。

4.1. ショートカットキー

4.1.1. ファンクションキー

画面下部の処理ボタンに記載されているファンクションキーを押下すると、各機能を行うことができます。

「ログイン」

ログイン画面

キー	機能
F1	システム終了
F7	環境設定
F9	バージョンを表示
F12	システムログイン

環境設定

キー	機能
F1	キャンセル
F12	設定の確定

「メインメニュー」

キー	機能
F1	システム終了
F2	ログイン画面に戻る
F12	バージョンを表示

「1. 受診券入力（個人情報登録）」

受診券入力（個人情報登録）

キー	機能
F1	前の画面へ戻る
F2	入力データをクリア
F5	入力票印刷画面を表示
F6	受診券整理番号のデータ呼出
F12	登録

受診者特定一覧

キー	機能
F1	前の画面へ戻る
F12	受診者を選択

「2-1. 健診・問診結果データ入力」

健診・問診結果データ一覧

キー	機能
F1	前の画面へ戻る
F3	結果のみ削除
F4	受診券を削除
F5	入力票印刷画面を表示
F6	受診券入力画面を表示
F7	選択中の受診券を呼出
F9	依頼書印刷画面を表示
F11	結果複製
F12	結果入力画面へ遷移

健診・問診結果データ入力

キー	機能
F1	前の画面へ戻る
F2	入力データをクリア
F12	登録

所見リスト選択

キー	機能
F1	キャンセル
F11	所見項目を選択
F12	確定

「2-2. 検査データ取り込み」

外部検査結果データ取り込み

キー	機能
F1	前の画面へ戻る
F4	検査データを取込む

「3. メタボリックシンドローム判定・階層化」

メタボリックシンドローム判定・階層化

キー	機能
F1	前の画面へ戻る
F7	メタボリックシンドローム判定・階層化
F9	通知票印刷画面を表示
F11	説明用印刷
F12	結果データ画面へ遷移

健診・問診結果データ表示

キー	機能
F1	前の画面へ戻る
F7	前のデータへ遷移
F9	次のデータへ遷移
F11	通知票印刷画面を表示
F12	結果データ修正画面へ遷移

「4. 日次処理（請求）」

日次処理（請求）

キー	機能
F1	前の画面へ戻る
F9	日次請求の確定
F11	請求リスト印刷画面を表示
F12	請求データ編集画面へ遷移

請求データ編集

キー	機能
F1	前の画面へ戻る
F11	金額の再計算
F12	登録

「5. 月次処理（確定/HL7 出力）」

月次処理（確定/HL7 出力）

キー	機能
F1	前の画面へ戻る
F7	月次請求の確定
F9	HL7 出力
F11	請求リスト印刷画面を表示

「6. マスタメンテナンス」

マスタメンテナンスメニュー

キー	機能
F1	前の画面へ戻る

「6-1. 健診項目情報メンテナンス」

健診項目マスタメンテナンス | 編集

キー	機能
F1	前の画面へ戻る
F4	データの取込
F5	データの書出
F12	登録

「6-2. 保険者情報メンテナンス」

保険者情報メンテナンス

キー	機能
F1	前の画面へ戻る
F4	データの取込
F5	データの書出
F9	追加画面へ遷移
F11	編集画面へ遷移
F12	保険者情報を削除

保険者情報メンテナンス | 追加

キー	機能
F1	前の画面へ戻る
F2	入力データをクリア
F12	登録

保険者情報メンテナンス | 編集

キー	機能
F1	前の画面へ戻る
F2	保険者情報入力データをクリア
F7	単価履歴情報入力データをクリア
F9	単価履歴情報を削除
F11	保険者情報を登録
F12	単価履歴情報を登録

「6-3. 健診パターンメンテナンス」

健診パターンメンテナンス

キー	機能
F1	前の画面へ戻る
F4	データの取込
F5	データの書出
F6	追加画面へ遷移
F7	パターン名編集画面へ遷移
F9	パターン編集画面へ遷移
F11	パターン複製画面へ遷移
F12	健診パターンを削除

健診パターン名 | 追加・編集

健診パターン | 複製

キー	機能
F1	前の画面へ戻る
F12	登録

健診パターン | 編集

キー	機能
F1	前の画面へ戻る
F11	操作取消
F12	登録

「6-4. 支払代行情報メンテナンス」

支払代行情報メンテナンス

キー	機能
F1	前の画面へ戻る
F4	データの取込
F5	データの書出
F9	支払代行機関追加画面へ遷移
F11	支払代行機関編集画面へ遷移
F12	支払代行機関を削除

支払代行情報メンテナンス | 追加・編集

キー	機能
F1	前の画面へ戻る
F2	入力データをクリア
F12	登録

「6-5. 機関情報メンテナンス」

機関情報メンテナンス

キー	機能
F1	前の画面へ戻る
F12	健診パターンを削除

「6-6. 経年管理メンテナンス」

経年マスタメンテナンス

キー	機能
F1	前の画面へ戻る
F9	名寄せ
F11	編集画面へ遷移
F12	削除

経年マスタメンテナンス | 編集

キー	機能
F1	前の画面へ戻る
F12	登録

「6-7. 所見マスタメンテナンス」

所見マスタメンテナンス

キー	機能
F1	前の画面へ戻る
F4	データの取込
F5	データの書出
F9	所見追加画面へ遷移
F11	所見編集画面へ遷移
F12	所見を削除

所見マスタメンテナンス | 追加・編集

キー	機能
F1	前の画面へ戻る
F12	登録

「アップデートソフトウェア」

アップデートソフトウェア

キー	機能
F9	アップデート実行
F11	プロキシ設定
F12	終了

プロキシサーバ設定

キー	機能
F3	キャンセル
F12	適用

例)

日医特定健康診査システム (Version 1.2.6) [日医クリニック - 0000000000]

受診券入力 (個人情報登録)

受診者の情報を入力し、「登録」ボタンを押して情報を登録します。日レセ、登録済みデータから受診者情報を取得できます。

患者ID (日レセ連携) 日レセ読込(N)

(日レセフォーマット)

受診券整理番号 (半角数字11桁)

氏名 (カナ) (全角のみ50文字以内)

交付日 (半角数字8桁)

有効期限 (半角数字8桁)

受診者情報

郵便番号 (半角数字7桁)

住所 (↓番号は半角数字のみ) (↑全角のみ100文字以内)

自宅電話番号 FAX番号 携帯電話番号

E-Mail 携帯E-Mail

契約情報 (保険者は半角数字8桁以内、支払代行機関は半角数字8桁)

保険者 <新規追加>

支払代行機関

契約取りまとめ機関名 (全角のみ50文字以内)

保険証情報

被保険者証等記号 (全角のみ20文字以内)

被保険者証等番号 (全角のみ20文字以内)

氏名 (漢字) (全角のみ50文字以内)

氏名 (通称) (全・半角50文字以内)

生年月日 (年度年齢) 歳 (日レセフォーマット)

男女区分 ☐ 1: 男性 ☐ 2: 女性 (1または2)

負担金額・割合 (金額は半角数字6桁以内、割合は小数点1桁以内)

	受診者の窓口負担	金額または割合	保険者負担上限額
基本的な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円
詳細な健診	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円
追加健診	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円
人間ドック	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/> 円

その他の健診による負担金額 円 (半角数字9桁以下)

単価情報 委託料単価区分 (1: 個別健診 2: 集団健診)

単価 (基本的な健診)	単価 (貧血検査)	単価 (心電図検査)	単価 (眼底検査)	単価 (人間ドック)
<input type="text"/> 円	<input type="text"/> 円	<input type="text"/> 円	<input type="text"/> 円	<input type="text"/> 円

凡例 入力必須項目 重要項目 青字 ORCA連携で検索に使用する項目 ピンク DB呼出で検索に使用する項目

※被保険者証等番号は、HL7 を出力するためには必須です。

戻る(F1) クリア(F2) 入力票印刷(F5) データ呼出(F6) QR 登録(F12)

4.1.2. 数字キー

「メインメニュー」「マスタメンテナンス」「システムメンテナンス」の機能名末尾に表示されている数字を利用することにより、各機能へと遷移できます。

キー	機能
1～8	[「ALT」キー＋数字]で機能画面へ遷移

例)

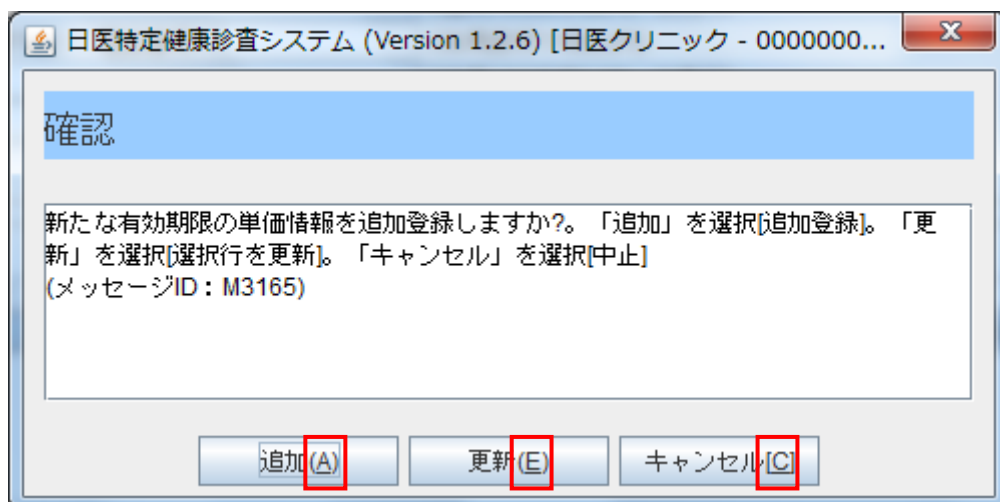
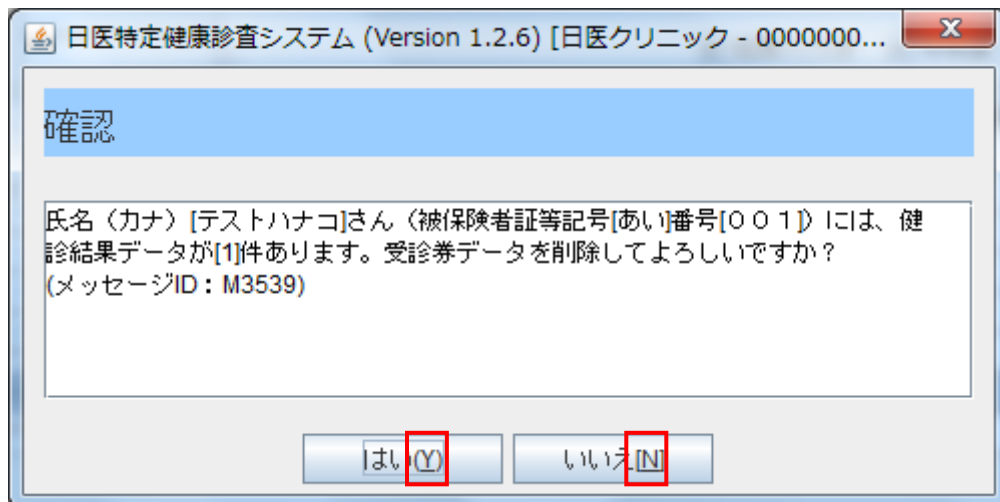


4.1.3. 英字キー

[「ALT」 キー＋英字]で各機能を行うことができます。

キー	機能
A	追加
	全て上書き
	全て選択
	健診パターン項目を挿入（健診パターンメンテナンスのみ）
C	キャンセル
E	更新
N	いいえ
	日レセ読込
O	ファイル参照
S	検索
	健診パターン項目を戻す（健診パターンメンテナンスのみ）
W	項目を上に移動（健診パターンメンテナンスのみ）
Y	はい
Z	項目を下に移動（健診パターンメンテナンスのみ）

例)



4.1.4. 特殊キー

「Ctrl」キー・「Tab」キー・「Enter」キーを組み合わせることにより、フォーカス移動などを行うことができます。

キー	機能
Tab	入力欄を移動
Enter	チェックボックスの ON・OFF
Ctrl+Tab	[検索欄]→[一覧]→[処理ボタン]へ遷移
Ctrl+Enter	所見入力ウィンドウの表示

例) Tab 移動

検索画面において、検索エリア(赤枠)から一覧(緑枠)へ、一覧(緑枠)から処理ボタン(黄枠)へ移動したい場合、[「Ctrl」キー+「Tab」キー]を利用すると移動することができます。

健診・問診結果データ一覧

検索条件を入力し、検索ボタンを押して受診者を検索します。
受診者を選択し、画面下部のボタンを押して各処理を開始します。

氏名(カナ) 受診券整理番号 保険者番号

性別 ☒ 男性 ☒ 女性 生年月日 年齢 ~

健診実施日 ~

判定日 ~

結果通知日 ~

☒ 結果入力済 1件 検索(S)

年度	受診券整理番号	氏名(カナ)	氏名(漢字)	生年月日	性別	入力	健診実施日
	000000000001	ニチイタロウ	日医太郎	19700401	男性	未	ああ

Ctrl+Tab

Ctrl+Tab

戻る(F1) 結果削除(F3) 受診券削除(F4) 入力票印刷(F5) 受診券追加(F6) 受診券呼出(F7) 依頼書印刷(F9) 結果複製(F11) 結果入力(F12)

5. システム管理者権限と一般ユーザ権限

特定健診ソフトウェア上では権限が二種類あり、「すべての機能にアクセスする権限」がある「システム管理者権限」と「データ入力およびその他関連する業務」を行う「一般ユーザ権限」（※システムメンテナンスメニューへのアクセスが制限）が存在します。

5.1. システム管理者

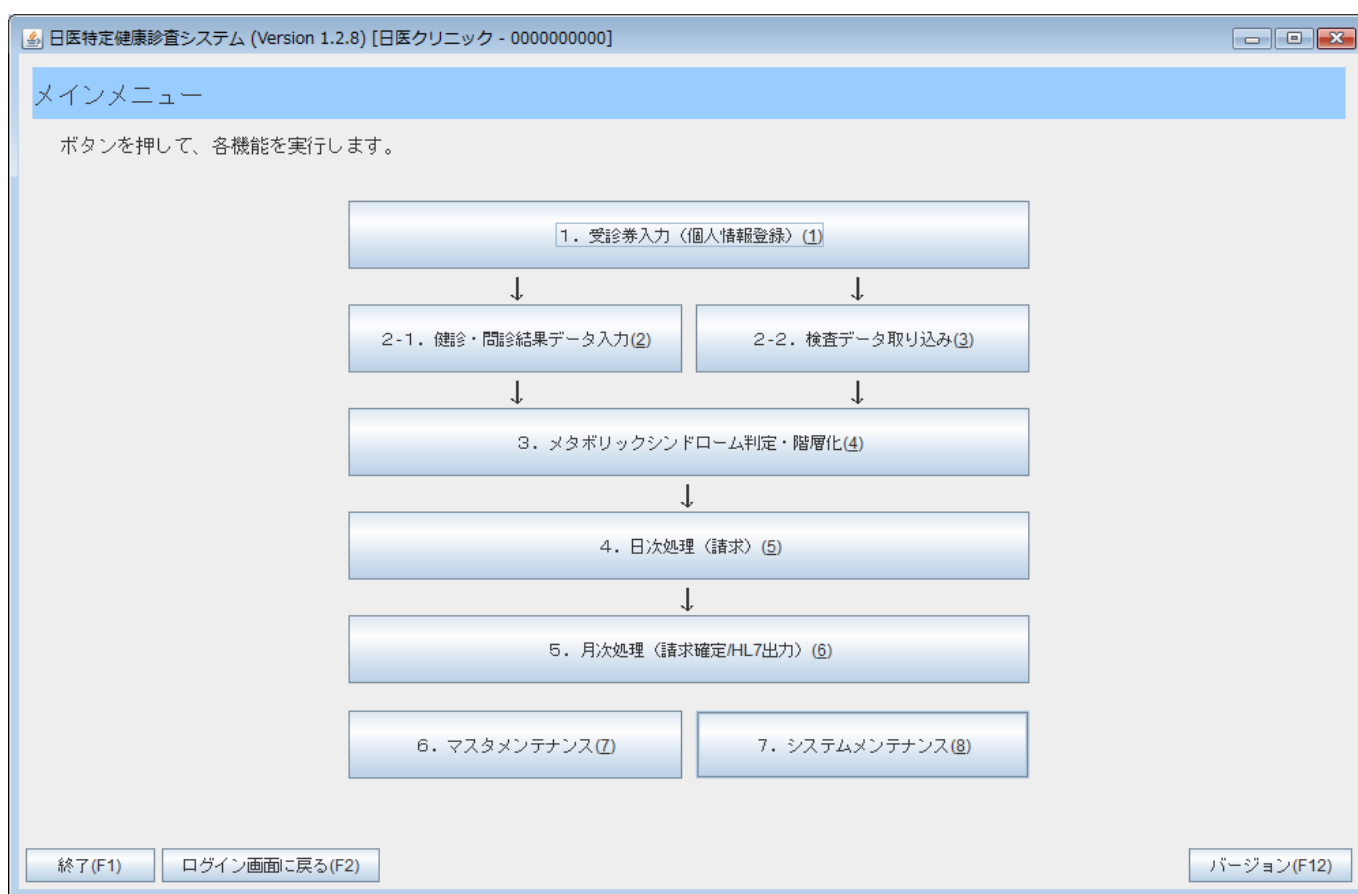
システム管理者は、特定健診ソフトウェアの「システムメンテナンスメニュー」画面から「システム利用者メンテナンス」画面にアクセスし、システム利用者の登録および編集をすることや、「バックアップ&復元」画面にアクセスし、システム全体のデータベースを対象としてバックアップと復元をすることができます。

（システム利用者メンテナンスについての詳細は、本マニュアル「[2.18. システム利用者メンテナンス](#)」、バックアップ画面&復元画面についての詳細は、本マニュアル「[2.19. バックアップ&復元](#)」をご参照ください。）

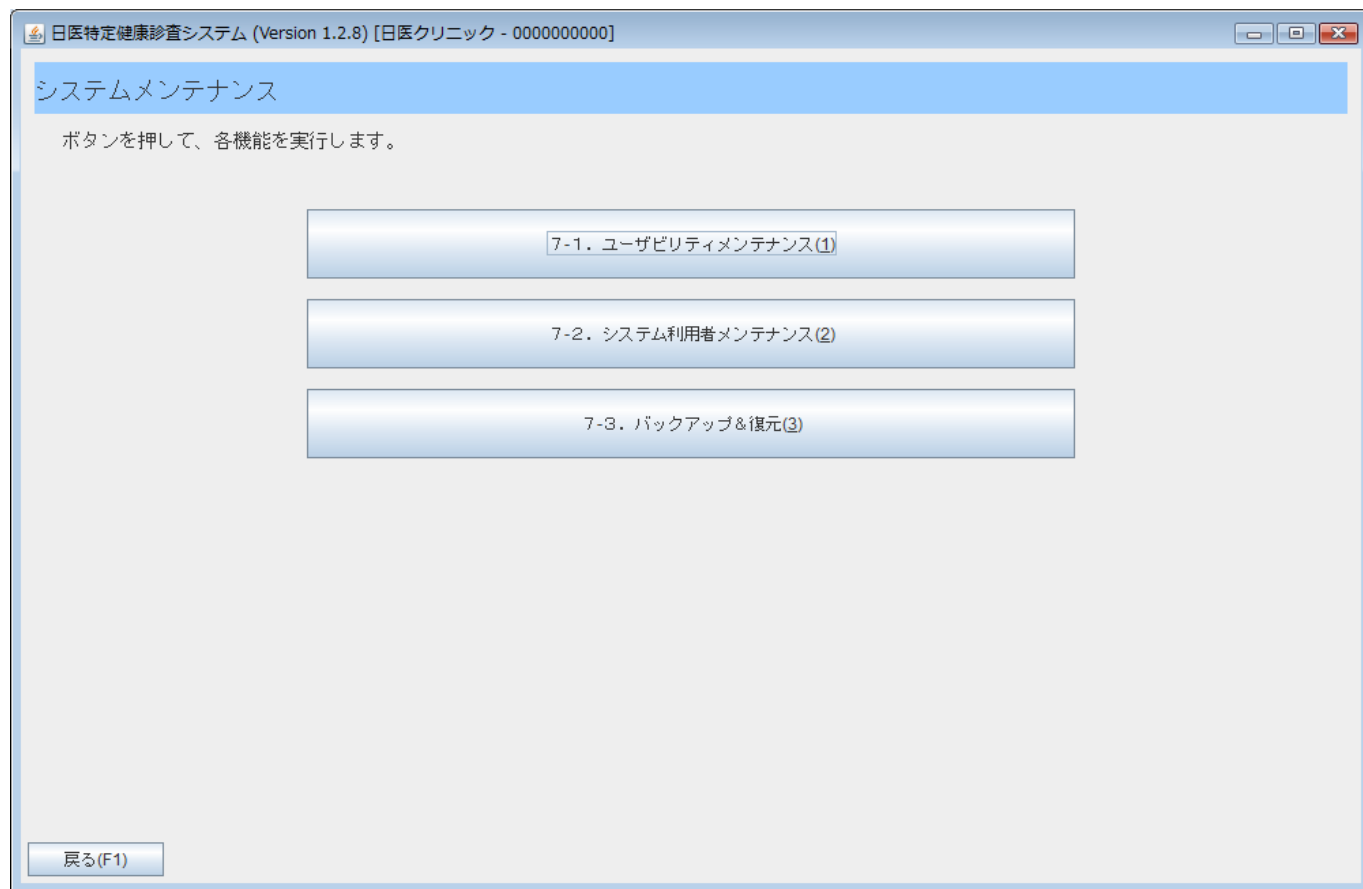
5.1.1. システム管理者でログインした場合

ログイン画面より、健診機関番号を選択し、管理者のユーザ名、パスワードを入力後、ログインボタンを押下します。

「メインメニュー」画面から「7. システムメンテナンス」画面へ遷移します。



「7-2. システム利用者メンテナンス」画面、「7-3. バックアップ&復元」画面へ遷移し、システム利用者の登録および編集や、システム全体のデータベースを対象としてバックアップと復元を行います。



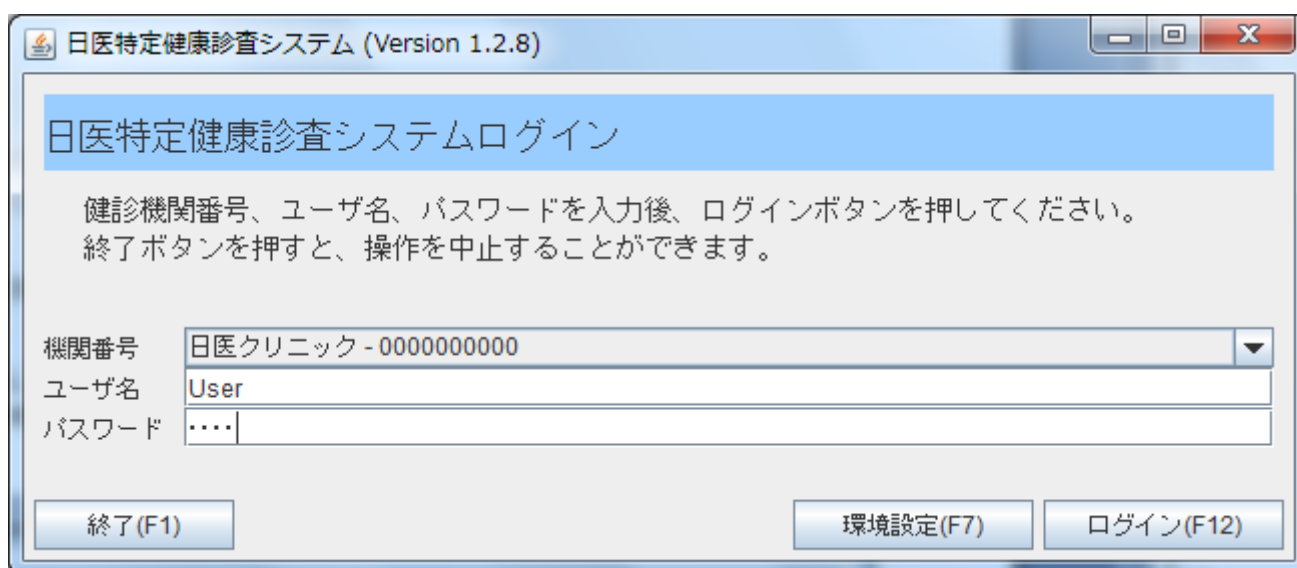
5.2. 一般ユーザ

一般ユーザは、データ入力およびその他関連する業務を行う権限のみを与えられており、システムメンテナンスの機能を扱うことはできません。

システムメンテナンス機能を利用する場合は、「システム管理者権限」で行ってください。

5.2.1. 一般ユーザでログインした場合

ログイン画面より、健診機関番号を選択し、ユーザ名、パスワードを入力後、ログインボタンを押下します。



日医特定健康診査システム (Version 1.2.8)

日医特定健康診査システムログイン

健診機関番号、ユーザ名、パスワードを入力後、ログインボタンを押してください。
終了ボタンを押すと、操作を中止することができます。

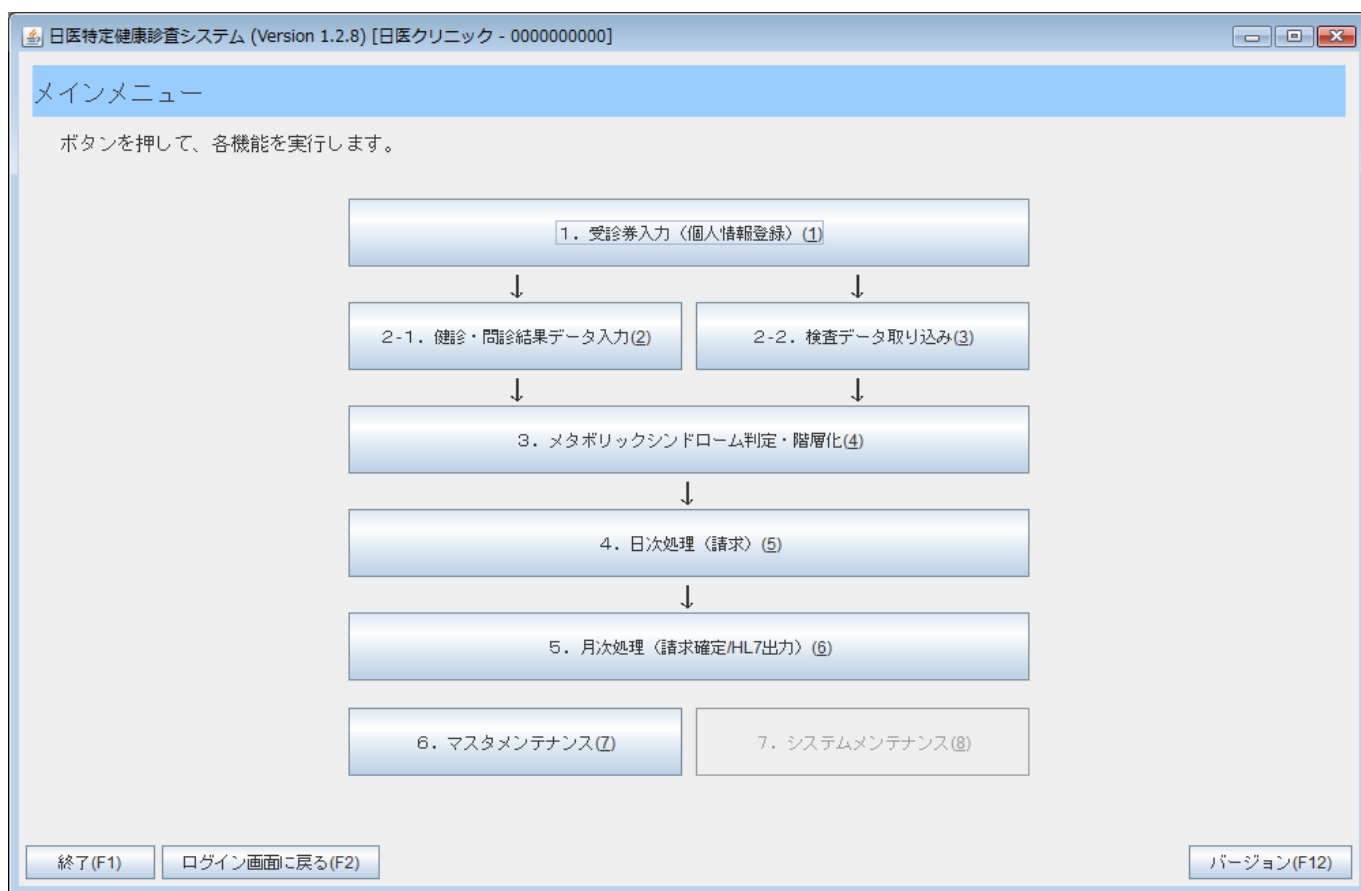
機関番号 日医クリニック - 0000000000 ▼

ユーザ名 User

パスワード

終了(F1) 環境設定(F7) ログイン(F12)

下図の通り、「メインメニュー」画面の「7. システムメンテナンス」画面が選択不可となっております。
「7-2. システム利用者メンテナンス」画面、「7-3. バックアップ&復元」画面を利用する場合は
「システム管理者権限」で行ってください。



6. アップデート（オンラインアップデート、オフラインアップデート）

管理ソフトウェアと健診ソフトウェアはオンラインまたはオフラインによるアップデートで最新バージョンへ更新できます。

※注意事項 アップデートソフトウェア実施前に事前にバックアップを取ってください。

アップデートソフトウェアを実施すると、ユーザ環境が新しいバージョンの環境に書き換わってしまいます。その為、事前にバックアップを取る事を推奨致します。

6.1. オンラインアップデート

アップデートソフトウェアの操作は、ボタンを押すだけで行えます。動作原理としては以下の通りです。

アップデートソフトウェアにより、Webサーバ(<http://ftp.orca.med.or.jp/>)より最新バージョンのファイル群をユーザ環境(NITTOKUフォルダ配下)が自動的にダウンロードされます。

最新のファイルダウンロード後、「システム管理ソフトウェア」、「特定健診ソフトウェア」を起動した時に、データベースへの更新処理が自動的に行われます。

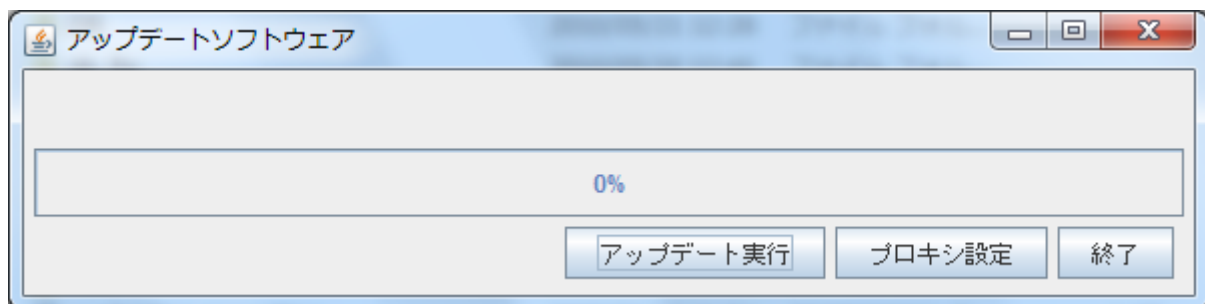
6.1.1. アップデートソフトウェアの起動

システム管理ソフトウェアを起動するには、スタートメニューから「プログラム → 日医特定健康診査システム → アップデートソフトウェア」の順に選択します。



6.1.2. アップデートソフトウェア画面

アップデートソフトウェアを起動すると、以下のような画面が表示されます。



上記画面の項目は以下のとおりです。

アップデート実行

アップデート実行ボタンを押すと、サーバより最新のアップデートファイルを取得し自動的に適用します。

プロキシ設定

ユーザが直接インターネットに接続できないプロキシサーバを利用した環境の場合、プロキシの設定を行う必要があります。

終了

アップデートソフトウェアを終了します。

6.1.3.プロキシ設定画面

アップデートソフトウェア画面でプロキシ設定ボタンを押すと、以下のような画面が表示されます。

上記画面の項目は以下のとおりです。

設定アドレス

使用するポート番号を入力します。

設定ポート

ユーザが直接インターネットに接続できないプロキシサーバを利用した環境の場合、プロキシの設定を行う必要があります。

適用

表示内容を登録します。

キャンセル

表示内容の登録をキャンセルして、プロキシ設定画面を終了します。

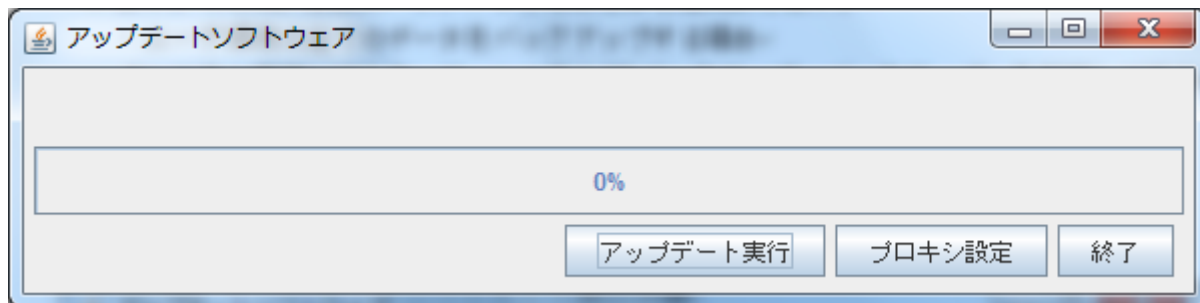
6.1.4. アップデートソフトウェア実行手順

※注意事項 アップデートソフトウェア実施前に事前にバックアップを取ってください。

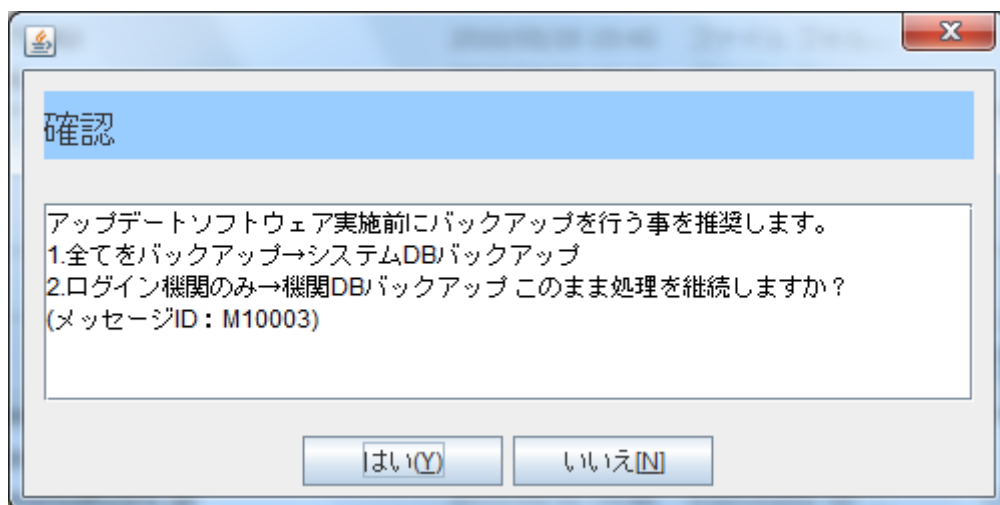
アップデートソフトウェアを実施すると、ユーザ環境が新しいバージョンの環境に書き換わってしまいます。その為、事前にバックアップを取る事を推奨致します。

- ・ユーザ環境の全てのデータをバックアップする場合
「システム管理ソフトウェア→システム DB バックアップ→バックアップ」を利用して下さい。
- ・特定の健診機関のみバックアップする場合
「特定健診ソフトウェア→機関 DB バックアップ→バックアップ」を利用して下さい。

アップデートソフトウェアを起動後、「アップデート実行」ボタンを押下します。



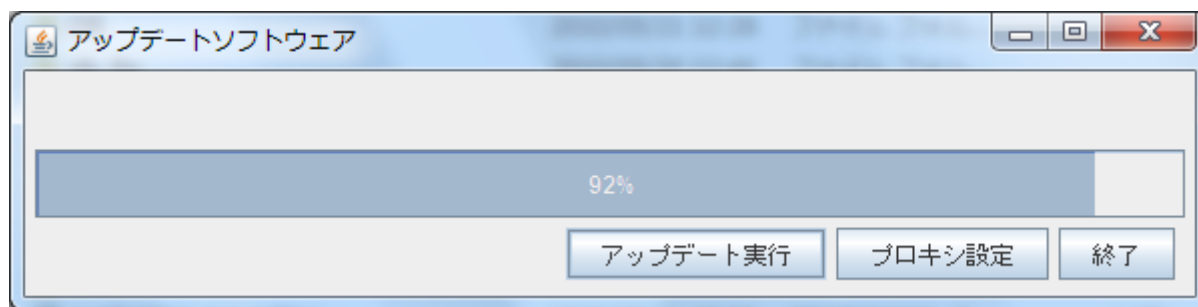
アップデートソフトウェアのアップデート実行ボタン押下時、事前にバックアップを行ったかどうかの確認メッセージを下記画面の様に表示します。



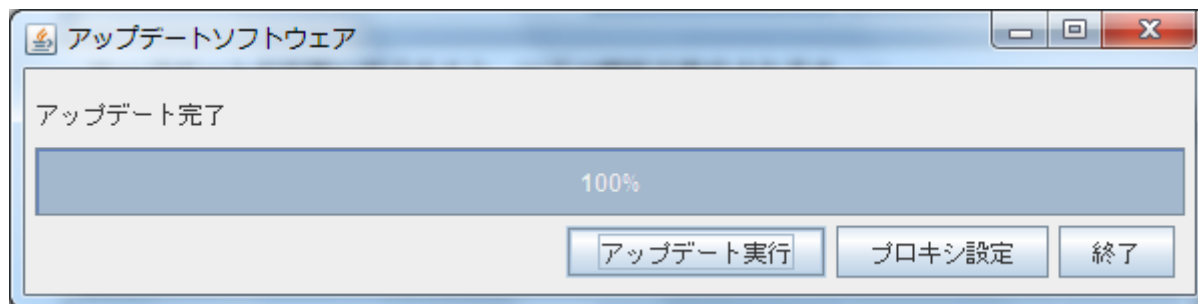
この画面で、「はい」を選択すると、アップデートを実施します。「いいえ」を選択すると、処理を中断し、アップデートソフトウェアを終了します。

上記画面で「はい」を選択するとアップデートが実行されます。

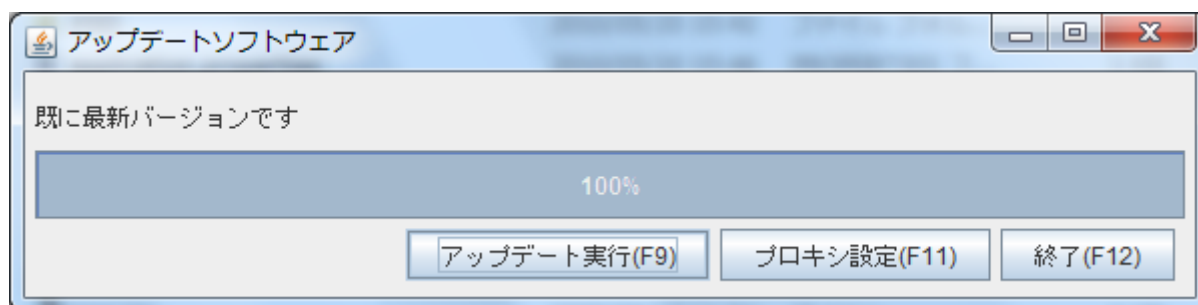
アップデート中は、以下の画面が表示されます。



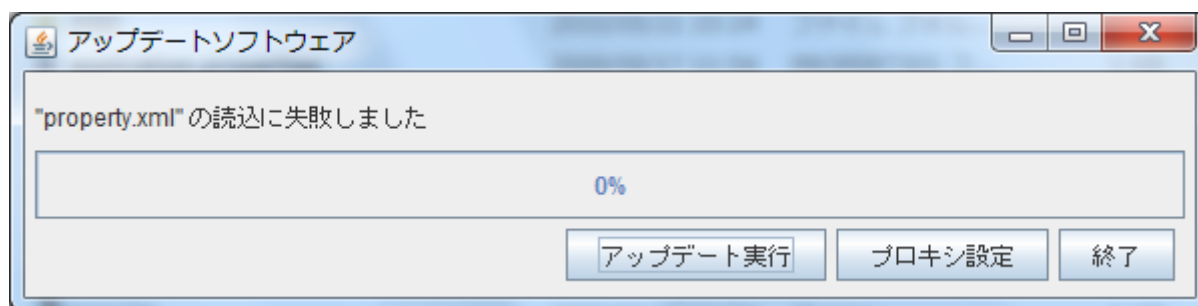
アップデートが正常に終了すると、以下の画面が表示されます。



すでに最新版の場合、以下の画面が表示されます。



アップデート中にエラーが発生した場合は、以下の画面が表示されます。



エラーメッセージを確認して、ユーザ環境の確認を行ってください。

それでもエラー発生原因が分からない時は、orcaサポートセンターまで問い合わせください。

その際、エラーメッセージの詳細や画面のキャプチャ (JPGまたはPNG形式) などと一緒に
お送りいただくと、サポートがスムーズに進みます。

6.2. オフラインアップデート

日医特定健診ソフトがインストールされたコンピュータがインターネットに接続していない場合は、オフラインアップデートを御利用下さい。

オフラインアップデートを行う場合は、別のインターネット接続可能なコンピュータにて下記（例）のオフライン用アップデートをダウンロードして、移動用の外部メディア (USB メモリ、CD-R 等) に収めて御利用下さい。

（例）http://ftp.orca.med.or.jp/pub/tokutei/dl/nittoku_offline_update_123.exe

※オフラインアップデートは Windows のみ利用可能です。

6.2.1 オフラインアップデート手順

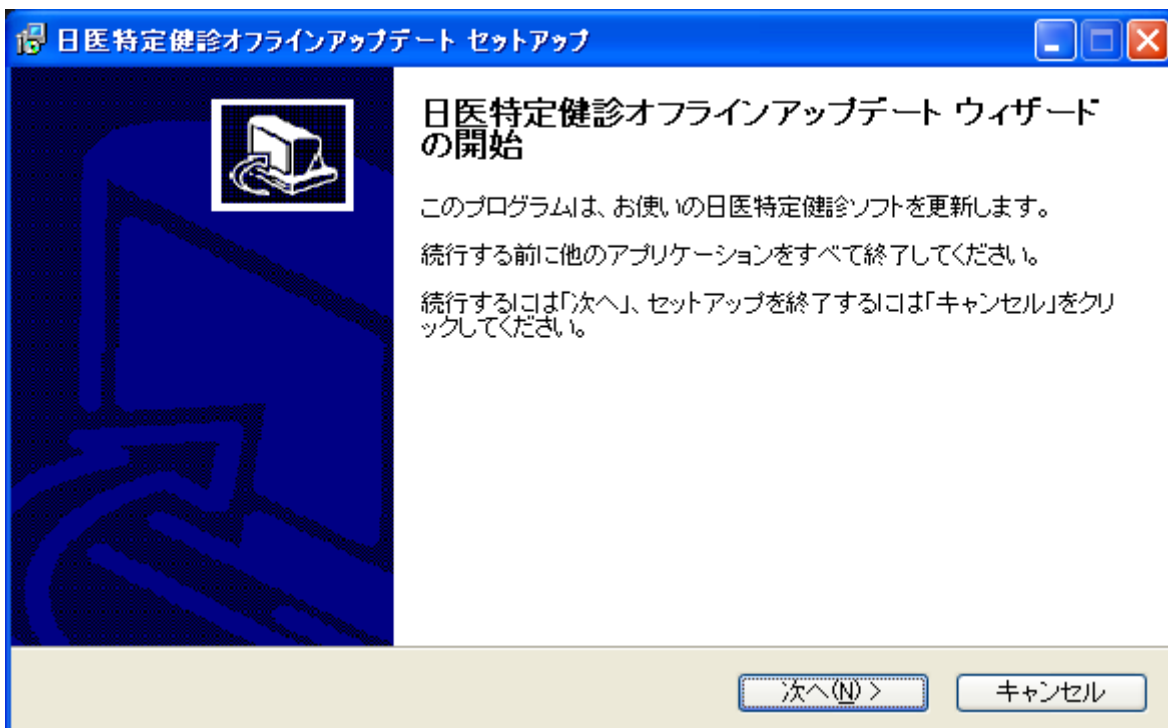
ダウンロードしたオフライン用アップデート（nittoku_offline_update_123.exe）を、アップデートする日医特定健診ソフトがインストールされたコンピュータの任意のフォルダにコピーします。



オフライン用アップデートをダブルクリックすると下図のオフラインセットアップウィザードが表示されます。

アップデートを実施する場合は「次へ」ボタンを押下します。

アップデートを中断する場合は「キャンセル」を押下します。



上記画面で「次へ」ボタンを押下すると、インストール先を指定する画面が表示されます。

アップデートを続ける場合はインストール先を指定して下図の「次へ」ボタンを押下します。

※ 通常のインストール先は予め下記のとおり設定されています。

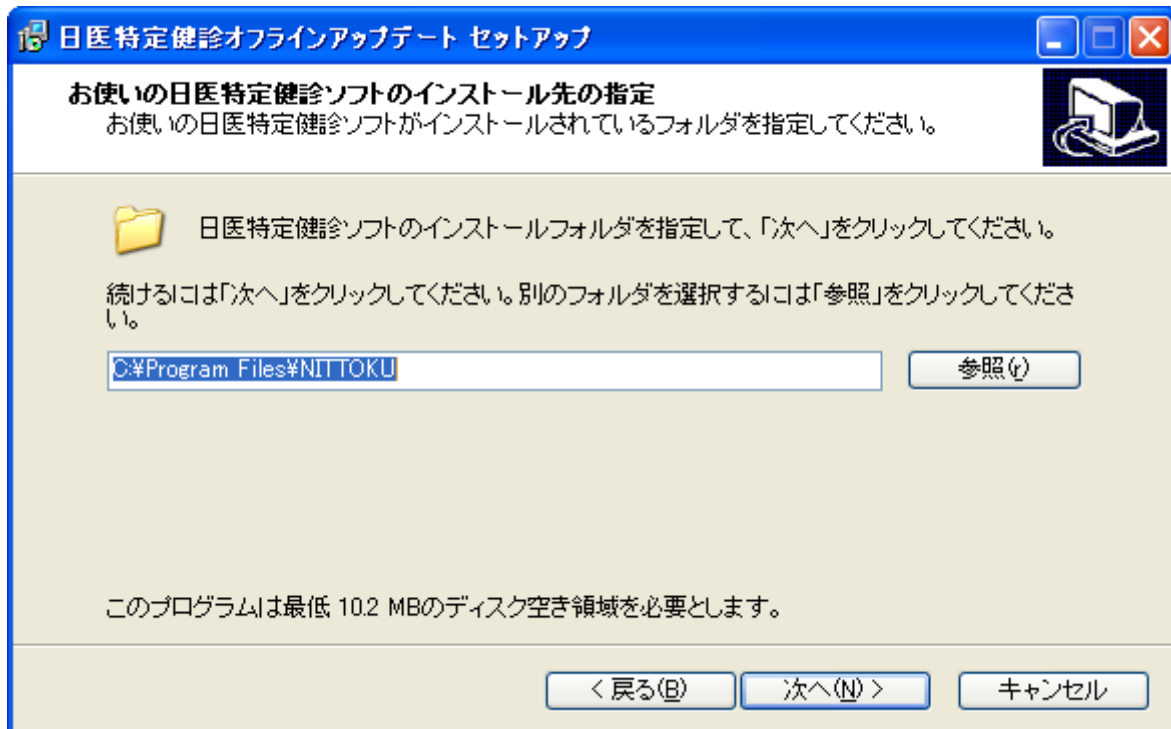
XP : C:\Program Files\NITTOKU

Vista: C:\NITTOKU

特定健診ソフト本体のインストール先を変更していなければ、そのまま「次へ」ボタンを押下してください。

アップデートを中断する場合は、「キャンセル」ボタンを押下します。

前の画面に戻る場合は「戻る」ボタンを押下します。

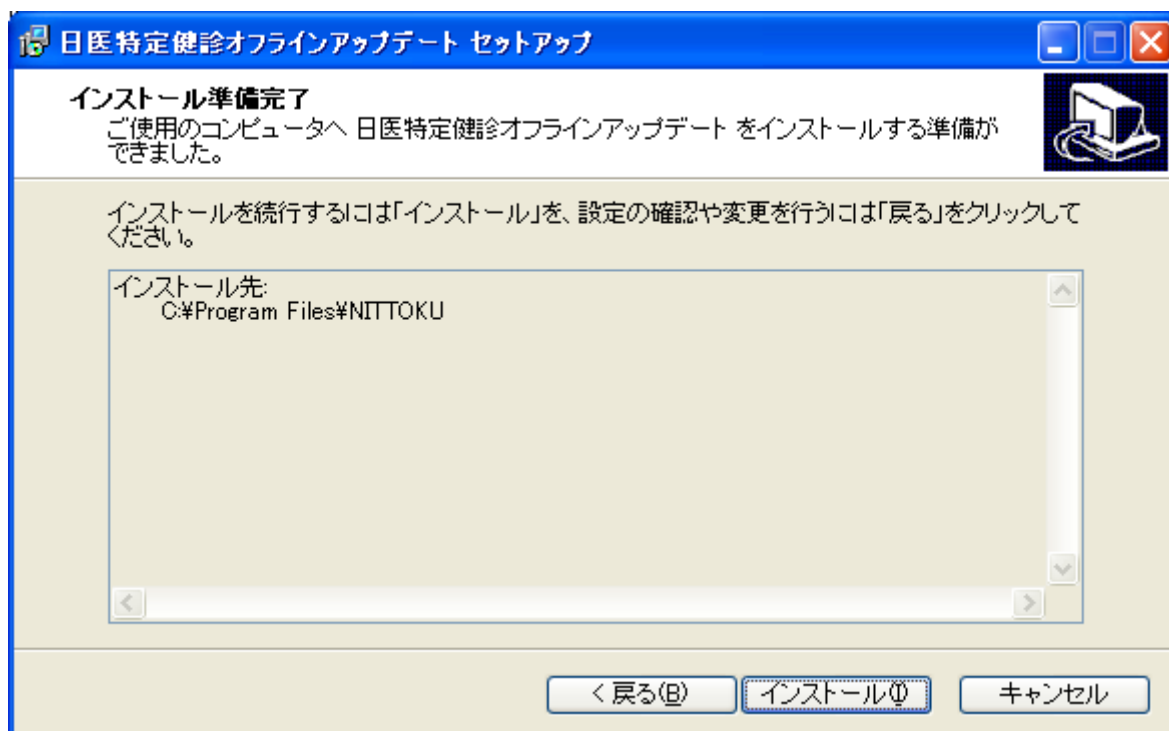


上記画面で「次へ」ボタンを押下すると、インストール先の確認画面が表示されます。

インストールを実行する場合は「インストール」ボタンを押下します。

中断する場合は「キャンセル」ボタンを押下します。

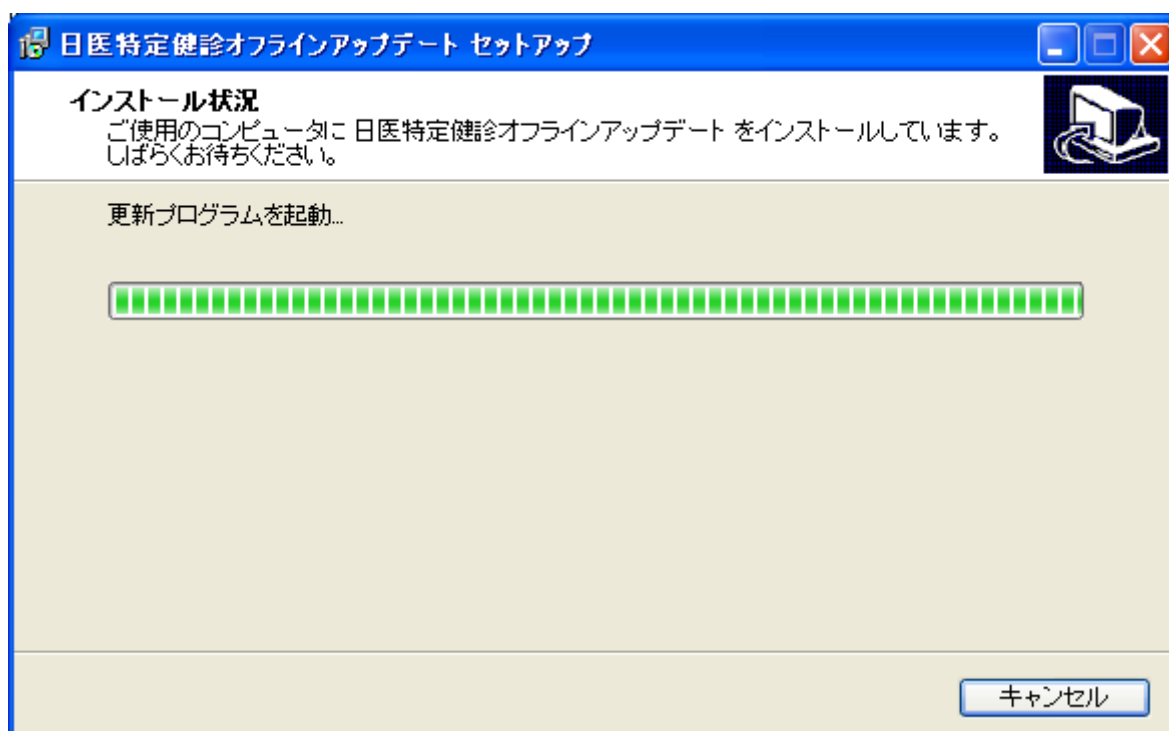
設定の確認やインストール先を変更する場合は「戻る」ボタンを押下します。



上記画面で「はい」ボタンを押下するとオフラインアップデートがインストールされます。

インストール後自動的にアップデートソフトウェアが起動しますので、[6.1.4. アップデートソフトウェア実行手順](#)のとおりアップデートしてください。

※オフラインアップデートによってローカルに配置したファイルをアップデートソフトウェアによってアップデートを実行します。



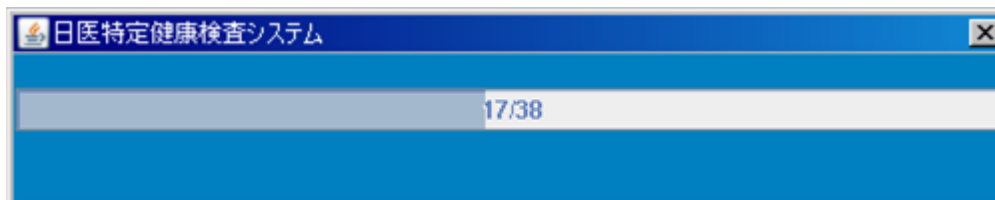
6.3. 管理ソフトウェアのアップデート

6.3.1. ソフトウェアの起動

オンラインもしくはオフラインでアップデートを実施後、3.1.1 ソフトウェアの起動に従って、システム管理ソフトウェアを起動してください。

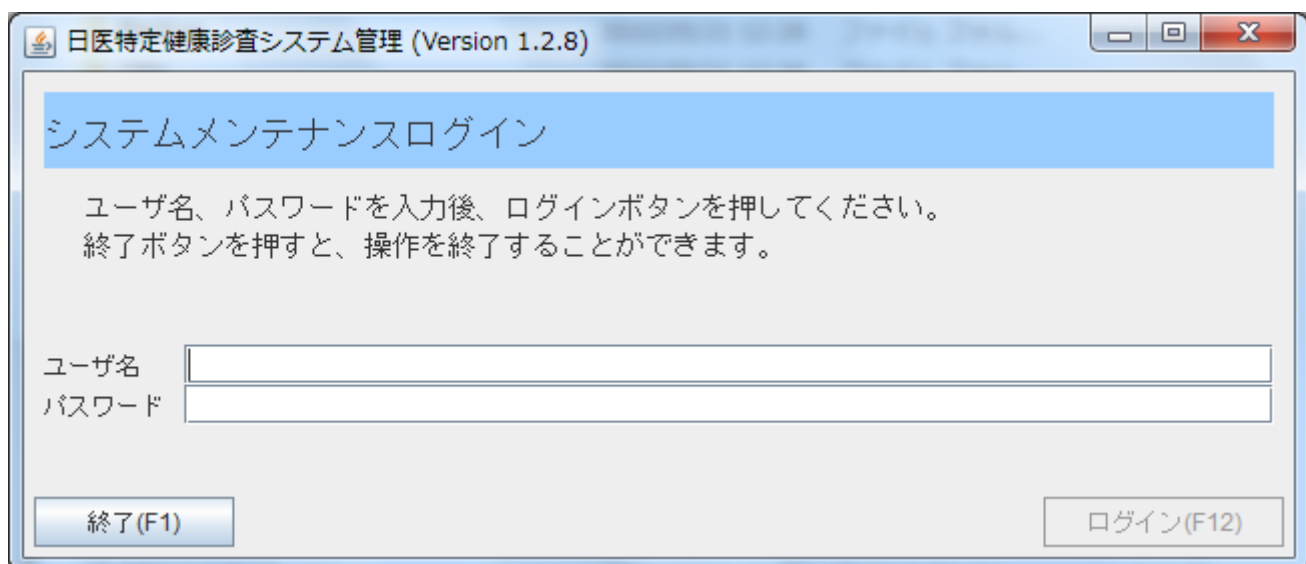
ユーザの環境がウェブ公開バージョンと比べて古い場合(例：ユーザ ver1.2.2 < 公開 ver1.2.3)

以下のプログレスバーが出現します。(ユーザの環境が最新ならば出現しない)



※(17/38 38 件分の更新があり 17 件目を更新中)

正常にログイン画面が表示されれば更新が完了です。

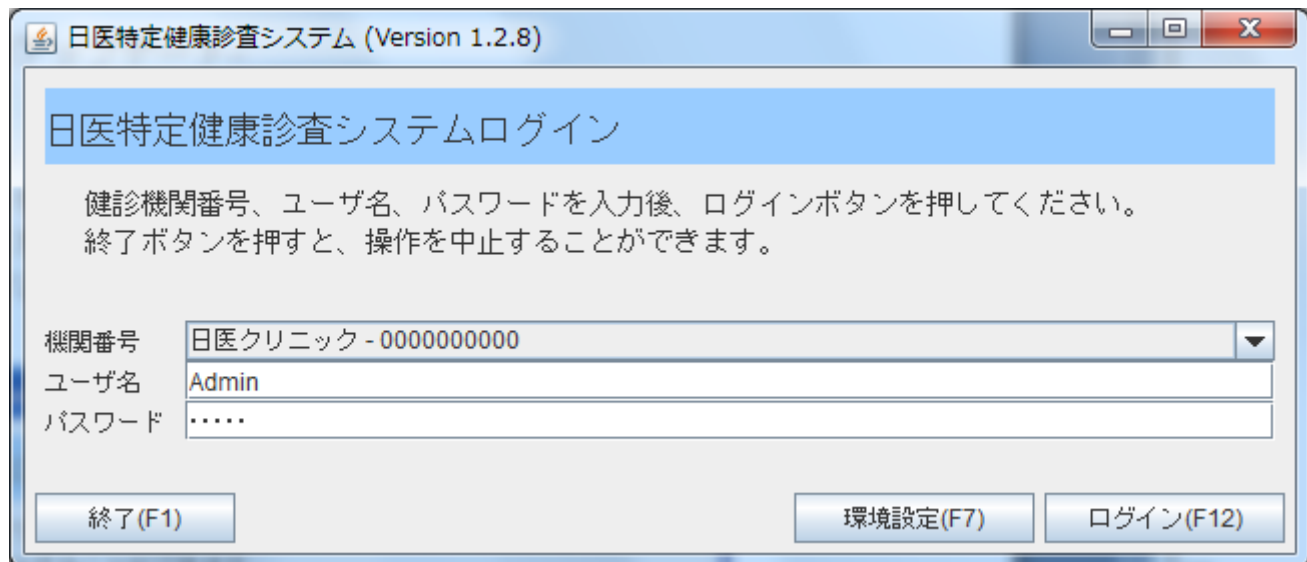


6.4. 健診ソフトウェアのアップデート

6.4.1. ソフトウェアの起動

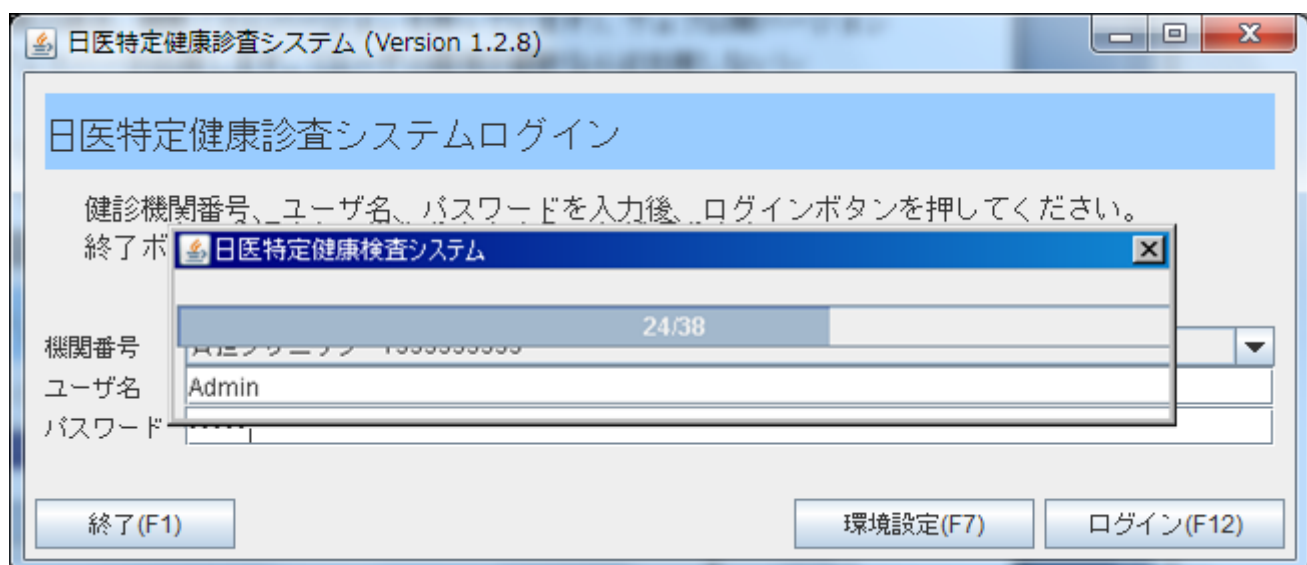
オンラインもしくはオフラインでアップデートを実施後、2.1.1 ソフトウェアの起動に従って、システム管理ソフトウェアを起動してください。

以下、ログイン画面よりログイン機関を選択してログインボタンを押下します。



ログイン機関に対して（複数機関の場合、機関ごとにバージョンを持っています）、ウェブ公開バージョンと比べて古い場合以下のプログレスバーが出現します。（ユーザの環境が最新ならば出現しない）

（例：ユーザ環境[スキーマバージョン ver1.2.2、データバージョン ver1.2.2]
公開バージョン[スキーマバージョン ver1.2.3、データバージョン ver1.2.3]）



正常にログイン画面が表示されればログインした機関に対しての更新処理が完了しています。